

2 各種調査報告書

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

在宅介護実態調査

介護人材確保に関する調査

介護サービス事業者施設等整備アンケート

目次

第1章 調査の概要等

1-1 調査の目的	90
1-2 調査の種類と実施方法	90
1-3 配付と回収状況	90
1-4 集計結果の表し方	91

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果

2-1 調査対象者について	94
2-2 調査対象者のご家族や生活状況について	98
2-3 からだを動かすことについて	103
2-4 食べることについて	107
2-5 毎日の生活について	110
2-6 地域での活動について	112
2-7 たすけあいについて	114
2-8 健康について	118
2-9 人生の最期の迎え方について	122
2-10 認知症にかかる相談窓口の把握について	124

第3章 在宅介護実態調査 集計結果

3-1 調査対象者の状況について	128
3-2 主な介護者について	144

第4章 介護人材確保に関する調査 集計結果

4-1 調査対象事業所の状況について	152
4-2 介護人材の実態について	156
4-3 介護人材の確保について	163

第5章 介護サービス事業者施設等整備アンケート 集計結果

5-1 事業所概要及び介護保険関係施設の整備意向について	176
5-2 共生型サービス整備の意向について	180
5-3 ショートステイの保険外利用について	181
5-4 認知症介護基礎研修の受講状況について	183

第1章

調査の概要等

1-1 調査の目的

本調査は、令和6年度を初年度とする「岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)(計画期間:令和6～8年度)」策定に向けて、その基礎資料とするために実施しました。

1-2 調査の種類と実施方法

調査の種類と対象者	実施方法	調査方法
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査		
市内にお住まいの65歳以上高齢者のうち認定がない者(1,000名)、要支援1・2認定者(各500名)	日常生活圏域・年齢層を均等に抽出	郵送による配付・回収 自己記入
調査期間 令和4年12月～令和5年1月		
②在宅介護実態調査		
市内にお住まい(在宅)の要支援・要介護認定者、主な介護者	無作為抽出	要介護認定調査時に間取り
調査期間 令和5年1月～4月		
③介護人材確保に関する調査		
市内112事業所	全件	電子メールによる配付・回収
調査期間 令和5年2月		
④介護サービス事業者施設等整備アンケート		
市内69介護事業者	全件	電子メールによる配付・回収
調査期間 令和5年9月		

【調査対象地区】 市内全域

1-3 配付と回収状況

調査の種類	調査票配付数	回収票数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000	1,290	64.5%
②在宅介護実態調査	260	260	100%
③介護人材確保に関する調査	112	74	66.1%
④介護サービス事業者施設等整備アンケート	69	43	62.3%

1-4 集計結果の表し方

- 設問は単一回答(1つに○)、複数回答(あてはまるものすべてに○)の2種類があります。
- 単純集計の単一回答は円グラフ(選択肢などの見やすさを考慮して一部横棒グラフもあり)、複数回答は横棒グラフで表しています。
- クロス集計では単一回答、複数回答ともに数値表(横棒グラフ)で表しています(単位:回答者数は人、横棒グラフは%)。
- 図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率(%)で表しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していません。よって、<回答者数>の「全体」と各項目の和が一致しない場合があります。
- 値や回答者数(n)が少ない項目については、グラフ中の%表記、コメントを省略しているものがあります。
- 回答者数(n)が少ない項目を比率で見ることは注意が必要です。

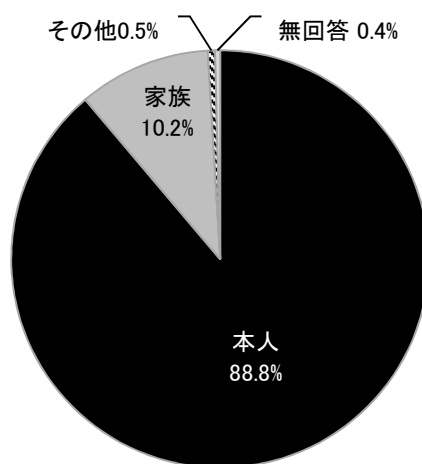
第2章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果

2-1 調査対象者について

F1 この調査票を記入するのはどなたですか

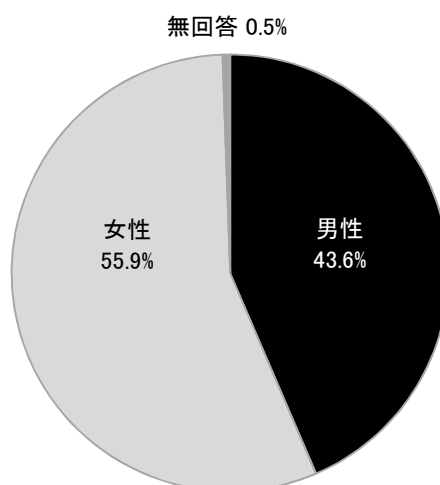
「本人」が88.8%と最も高く、「家族」が10.2%、「その他」が0.5%と続いている。



n=1,290

F2 あなたの性別をお答えください

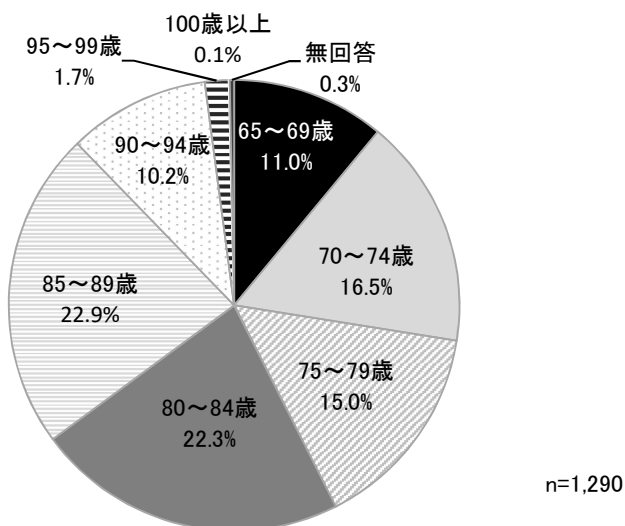
「男性」が43.6%、「女性」が55.9%となっている。



n=1,290

F3 令和4年12月1日現在のあなたの年齢をお答えください

「85～89歳」が22.9%と最も高く、次いで「80～84歳」(22.3%)、「70～74歳」(16.5%)、「75～79歳」(15.0%)、「65～69歳」(11.0%)、「90～94歳」(10.2%)と続いている。

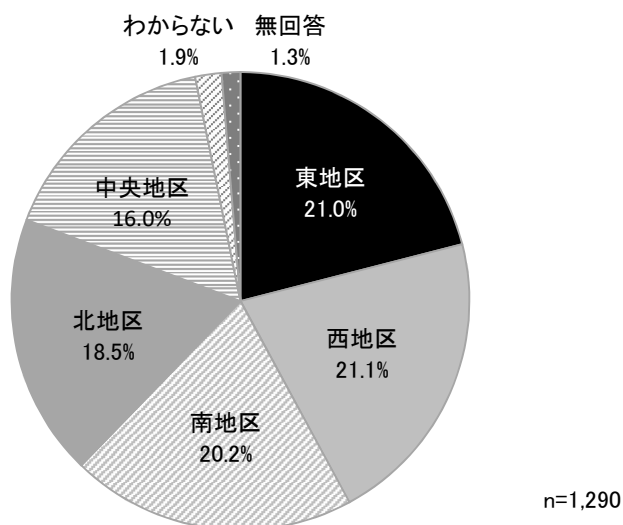


	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
65～69歳	11.0%	40.0%	—	—	8.9%	13.2%	6.7%	16.8%
70～74歳	16.5%	60.0%	—	—	12.4%	22.6%	13.0%	18.2%
75～79歳	15.0%	—	40.2%	—	12.6%	20.6%	11.1%	13.1%
80～84歳	22.3%	—	59.8%	—	23.8%	21.5%	22.1%	20.4%
85～89歳	22.9%	—	—	65.7%	27.9%	16.8%	28.4%	16.1%
90～94歳	10.2%	—	—	29.2%	12.0%	4.5%	16.3%	11.7%
95～99歳	1.7%	—	—	4.9%	2.3%	0.7%	1.9%	2.9%
100歳以上	0.1%	—	—	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
無回答	0.3%	—	—	—	0.2%	0.0%	0.5%	0.0%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
65～69歳	11.4%	11.4%	11.9%	10.0%	11.1%
70～74歳	19.9%	14.0%	15.8%	17.2%	17.4%
75～79歳	19.2%	14.0%	16.5%	14.6%	12.1%
80～84歳	21.0%	23.9%	20.0%	22.6%	24.2%
85～89歳	20.7%	26.1%	23.5%	23.8%	18.8%
90～94歳	7.0%	9.6%	11.2%	10.0%	12.6%
95～99歳	0.7%	1.1%	1.2%	1.7%	3.4%
100歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%

F4 お住まいの地区はどちらですか

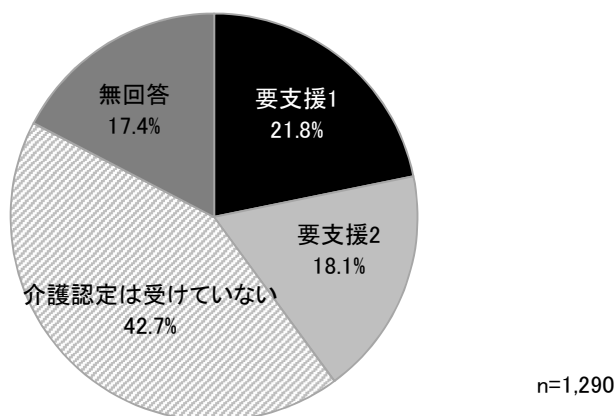
「東地区」が21.0%、「西地区」が21.1%、「南地区」が20.2%、「北地区」が18.5%、「中央地区」が16.0%となっている。



	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
東地区	21.0%	23.9%	22.6%	17.1%	23.8%	23.3%	16.3%	11.7%
西地区	21.1%	19.4%	21.4%	22.3%	19.4%	23.9%	22.1%	16.1%
南地区	20.2%	20.3%	19.7%	20.7%	18.4%	18.6%	25.0%	25.5%
北地区	18.5%	18.3%	18.5%	18.9%	17.6%	17.7%	20.7%	22.6%
中央地区	16.0%	16.6%	15.6%	16.3%	16.5%	14.3%	13.0%	21.9%
わからない	1.9%	1.1%	1.7%	2.7%	2.9%	0.9%	1.4%	2.2%
無回答	1.3%	0.3%	0.6%	2.0%	1.4%	1.3%	1.4%	0.0%

F5 現在の要介護度をお答えください

「介護認定は受けていない」が 42.7%で最も高く、「要支援1」は 21.8%、「要支援2」は 18.1%となっている。



	全体	年齢			家族構成			
		65~74歳	75~84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
要支援1	21.8%	7.3%	33.0%	38.6%	31.4%	14.8%	22.1%	11.7%
要支援2	18.1%	7.3%	21.4%	37.2%	21.1%	12.5%	23.1%	20.4%
介護認定は受けていない	42.7%	74.6%	58.3%	22.3%	28.9%	55.9%	41.3%	53.3%
無回答	17.4%	10.7%	23.1%	28.5%	18.6%	16.8%	13.5%	14.6%

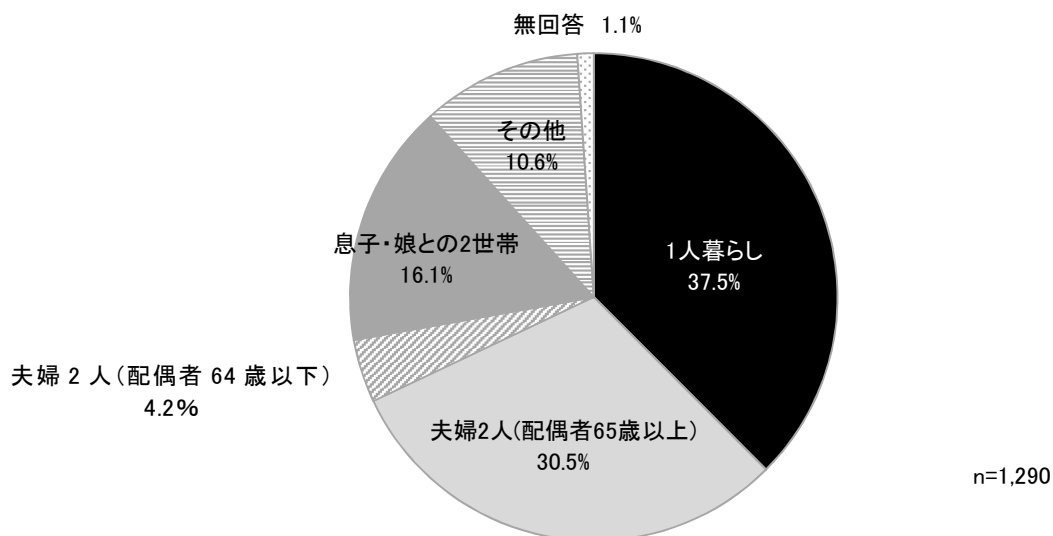
	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
要支援1	19.9%	25.4%	20.0%	22.6%	19.8%
要支援2	15.5%	20.6%	20.0%	16.7%	16.4%
介護認定は受けていない	44.3%	39.7%	44.2%	43.1%	46.4%
無回答	20.3%	14.3%	15.8%	17.6%	17.4%

2-2 調査対象者のご家族や生活状況について

問1(1) 家族構成をお教えてください

「1人暮らし」が37.5%と最も高く、次いで「夫婦2人(配偶者65歳以上)」(30.5%)、「息子・娘との2世帯」(16.1%)と続いている。

居住地域でみると、「1人暮らし」は“東地区”が42.4%、“南地区”は34.2%となっており、その差は約8ポイントある。



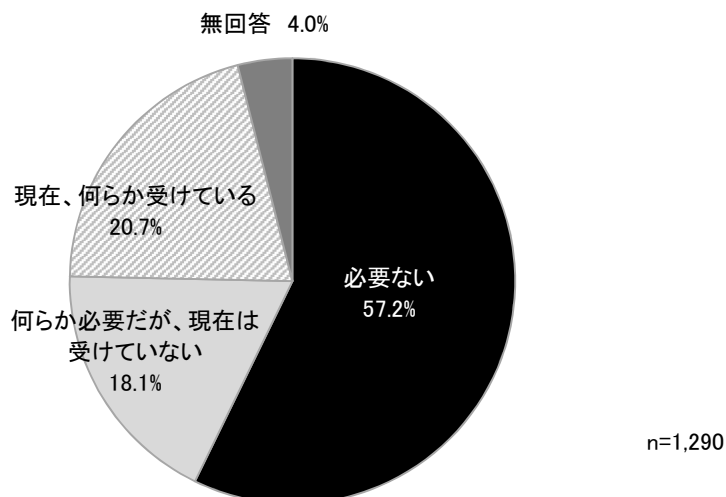
	全体	年齢		
		65～74歳	75～84歳	85歳以上
<回答者数>	1,290	355	482	449
1人暮らし	37.5%	29.0%	36.5%	45.4%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	30.5%	33.2%	37.8%	20.5%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4.2%	11.8%	1.2%	1.3%
息子・娘との2世帯	16.1%	11.5%	14.3%	21.6%
その他	10.6%	13.5%	9.5%	9.6%
無回答	1.1%	0.8%	0.6%	1.6%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
1人暮らし	42.4%	34.6%	34.2%	35.6%	38.6%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	33.9%	33.5%	26.9%	31.0%	28.0%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4.4%	5.9%	5.0%	2.1%	2.9%
息子・娘との2世帯	12.5%	16.9%	20.0%	18.0%	13.0%
その他	5.9%	8.1%	13.5%	13.0%	14.5%
無回答	0.7%	1.1%	0.4%	0.4%	2.9%

問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「必要ない」が 57.2%、「現在、何らか受けている」が 20.7%、「何らか必要だが、現在は受けていない」が 18.1%となっている。

年齢で見ると、年齢が上がるにつれて「必要ない」は減少している。

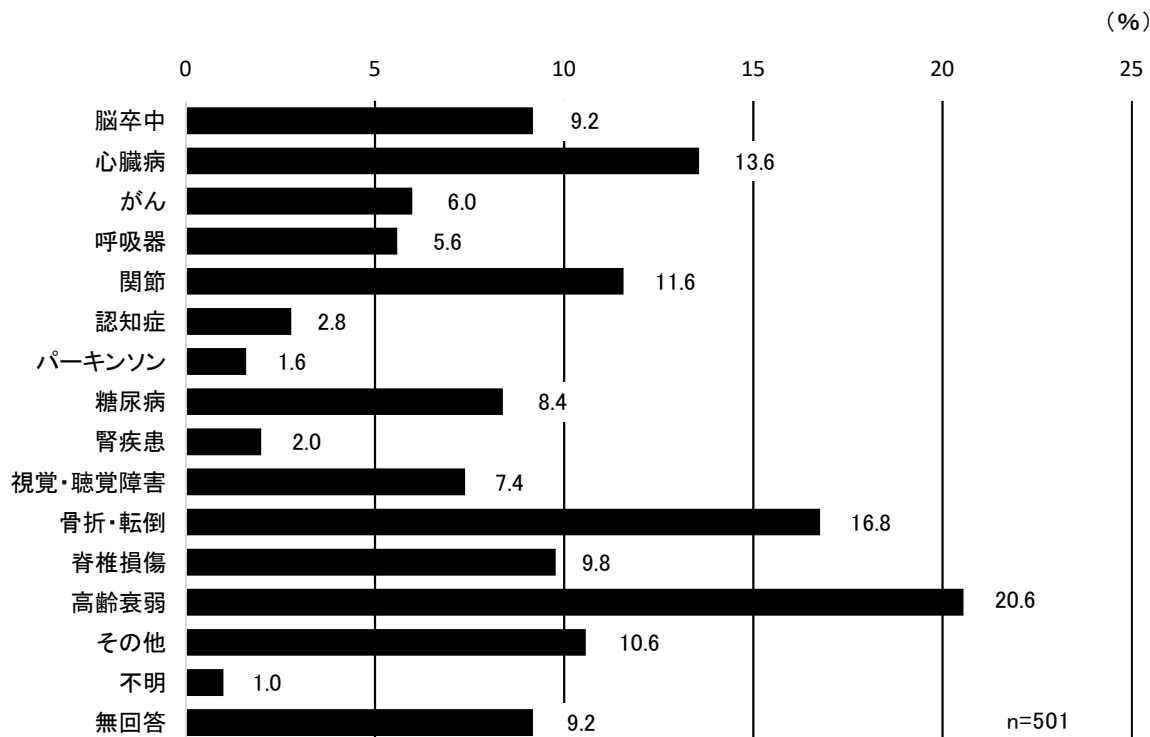


	全体	年齢			世帯構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
必要ない	57.2%	83.4%	57.9%	35.9%	47.3%	68.2%	53.8%	67.2%
何らか必要だが現在は受けていない	18.1%	6.8%	19.1%	26.1%	22.3%	15.9%	19.2%	10.9%
現在何らか受けている	20.7%	7.9%	19.5%	32.3%	26.7%	13.6%	22.6%	20.4%
無回答	4.0%	2.0%	3.5%	5.8%	3.7%	2.2%	4.3%	1.5%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
介護・介助は必要ない	58.3%	58.5%	56.2%	56.9%	59.4%
何らか必要だが現在は受けていない	18.8%	19.1%	19.6%	18.4%	14.0%
現在何らか受けている	20.7%	18.8%	20.0%	21.8%	21.3%
無回答	2.2%	3.7%	4.2%	2.9%	5.3%

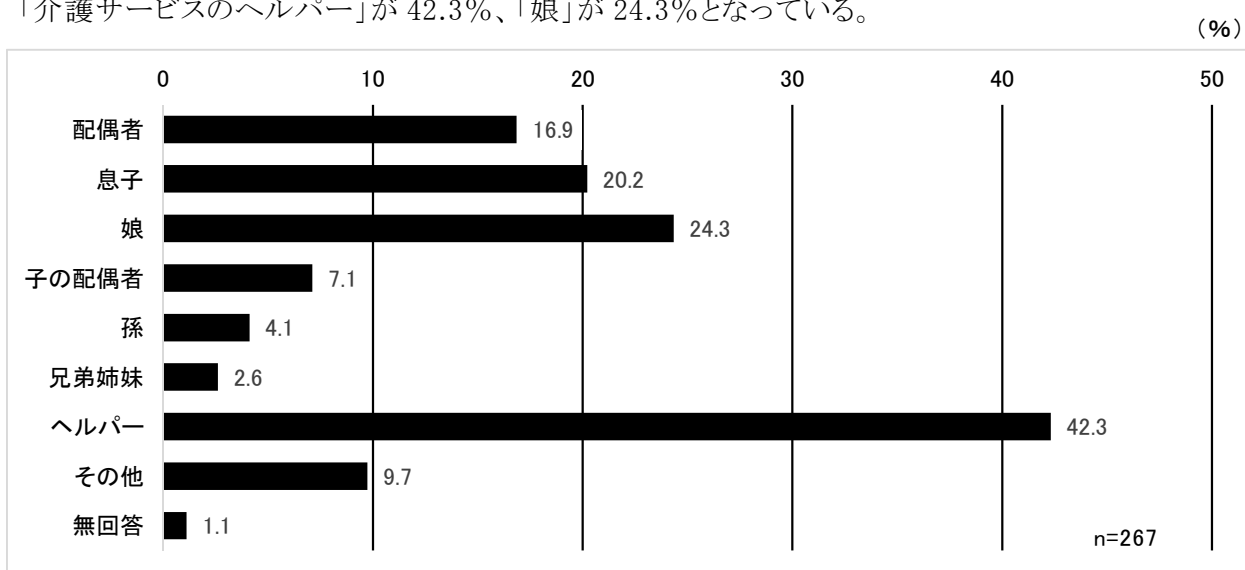
問1(2)① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(あてはまるものすべてに○)
※何らかの介護・介助が必要な人

「高齢による衰弱」が 20.6%と最も高く、次いで「転倒・骨折」(16.8%)、「心臓病」(13.6%)が続いている。



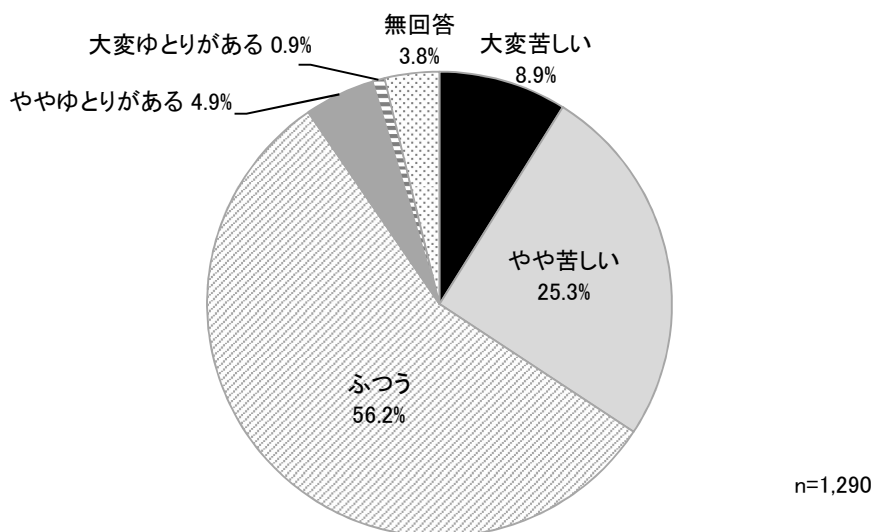
問1(2)② 主にどなたの介護、介助を受けていますか(あてはまるものすべてに○)
※現在、何らかの介護・介助を受けている人

「介護サービスのヘルパー」が 42.3%、「娘」が 24.3%となっている。



問1(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が 56.2 と最も高く、次いで「やや苦しい」(25.3%)、「大変苦しい」(8.9%)、「ややゆとりがある」(4.9%)と続いている。

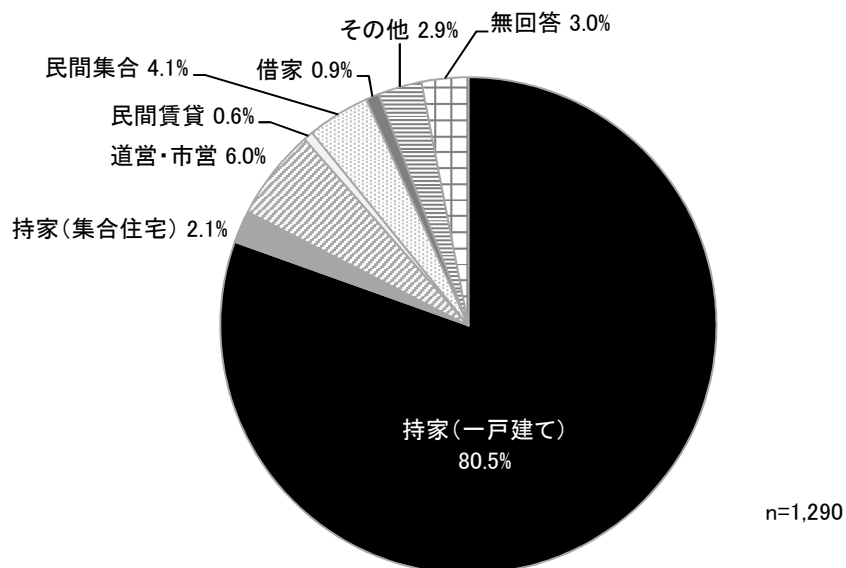


	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
大変苦しい	8.9%	10.4%	10.8%	5.6%	8.7%	7.6%	9.1%	12.4%
やや苦しい	25.3%	24.2%	28.4%	23.2%	30.4%	22.6%	20.7%	23.4%
ふつう	56.2%	54.6%	53.7%	60.1%	52.3%	59.5%	63.5%	51.8%
ややゆとりがある	4.9%	6.5%	3.5%	5.1%	3.7%	5.4%	3.4%	9.5%
大変ゆとりがある	0.9%	0.8%	0.8%	0.9%	0.8%	0.2%	1.4%	2.2%
無回答	3.8%	3.4%	2.7%	5.1%	4.1%	4.7%	1.9%	0.7%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
大変苦しい	8.5%	7.0%	9.2%	8.4%	11.1%
やや苦しい	25.5%	22.8%	25.4%	26.4%	30.0%
ふつう	53.5%	60.7%	58.8%	54.8%	52.7%
ややゆとりがある	6.6%	4.8%	3.5%	5.0%	3.9%
大変ゆとりがある	1.5%	0.4%	1.5%	0.4%	0.5%
無回答	4.4%	4.4%	1.5%	5.0%	1.9%

問1(4) お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか

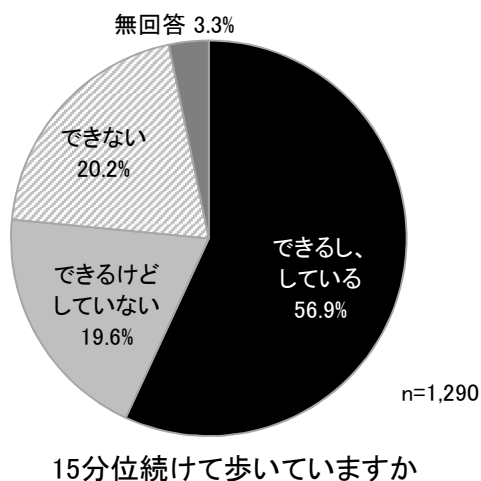
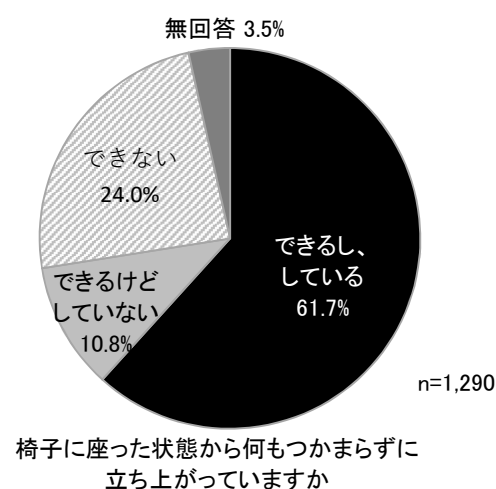
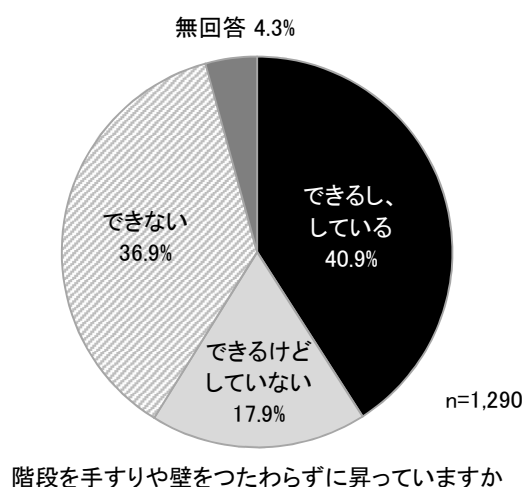
「持家(一人建て)」が80.5%を占めている。



2-3 からだを動かすことについて

- 問 2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
 問 2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
 問 2(3) 15分位続けて歩いていますか

それぞれの設問について、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた“できる”が多くを占めているが、『階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか』は、「できない」が36.9%となっている。

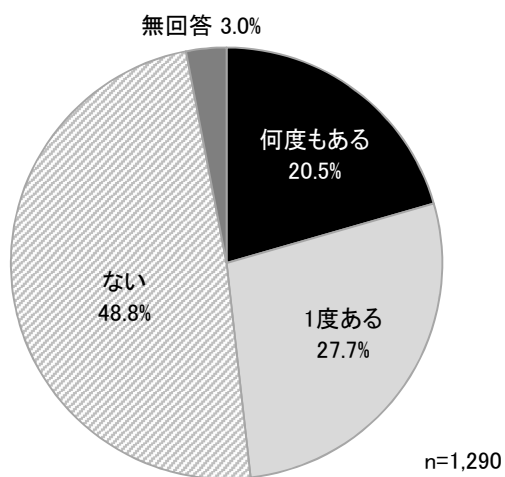


問 2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

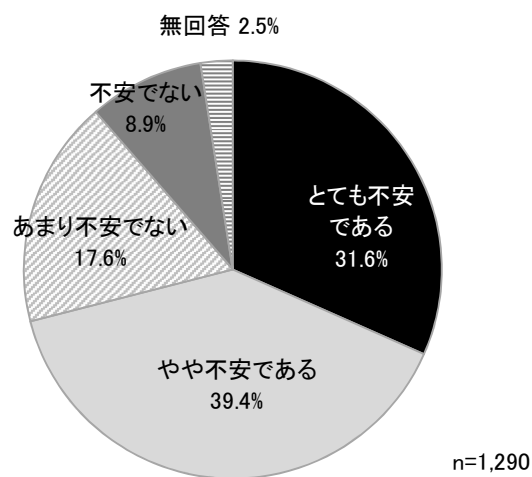
問 2(5) 転倒に対する不安は大きいですか

『過去1年間に転んだ経験がありますか』について、「何度もある」は 20.5%となっている。

『転倒に対する不安は大きいですか』について、「とても不安である」(31.6%)と「やや不安である」(39.4%)を合わせると“不安と感じている人”は約 70%を占める。



過去1年間に転んだ経験がありますか

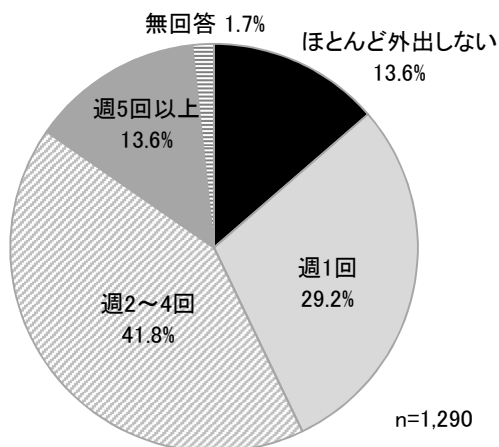


転倒に対する不安は大きいですか

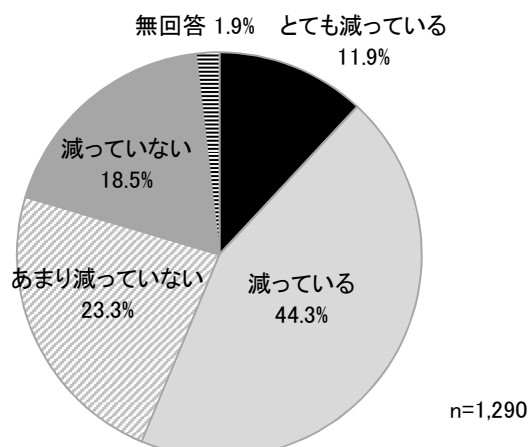
- 問 2(6) 週に1回以上は外出していますか
 問 2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか
 問 2(8) 外出を控えていますか

『昨年と比べて外出の回数は減っていますか』について、「とても減っている」(11.9%)と「減っている」(44.3%)を合わせると、“減っている人”は半数を超えている。

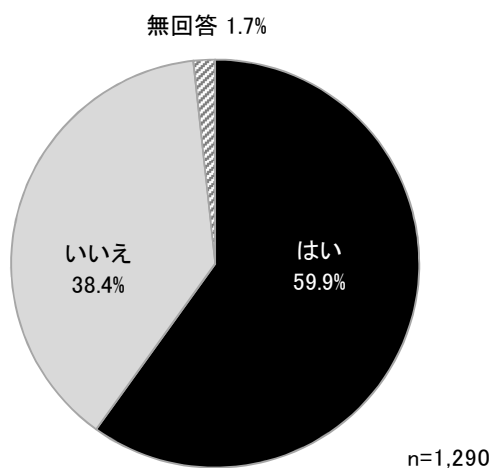
『外出を控えていますか』について、「はい」は 59.9%、「いいえ」が 38.4%となっている。



週に1回以上は外出していますか



昨年と比べて外出の回数は減っていますか

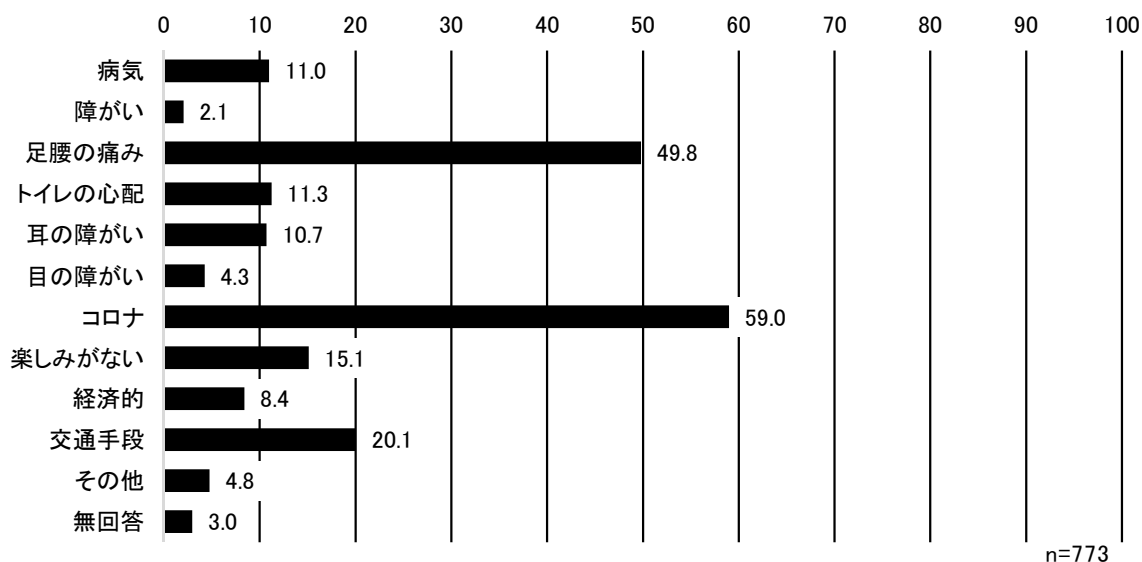


外出を控えていますか

問 2(8)① 外出を控えている理由は、次のどれですか(あてはまるものすべてに○)

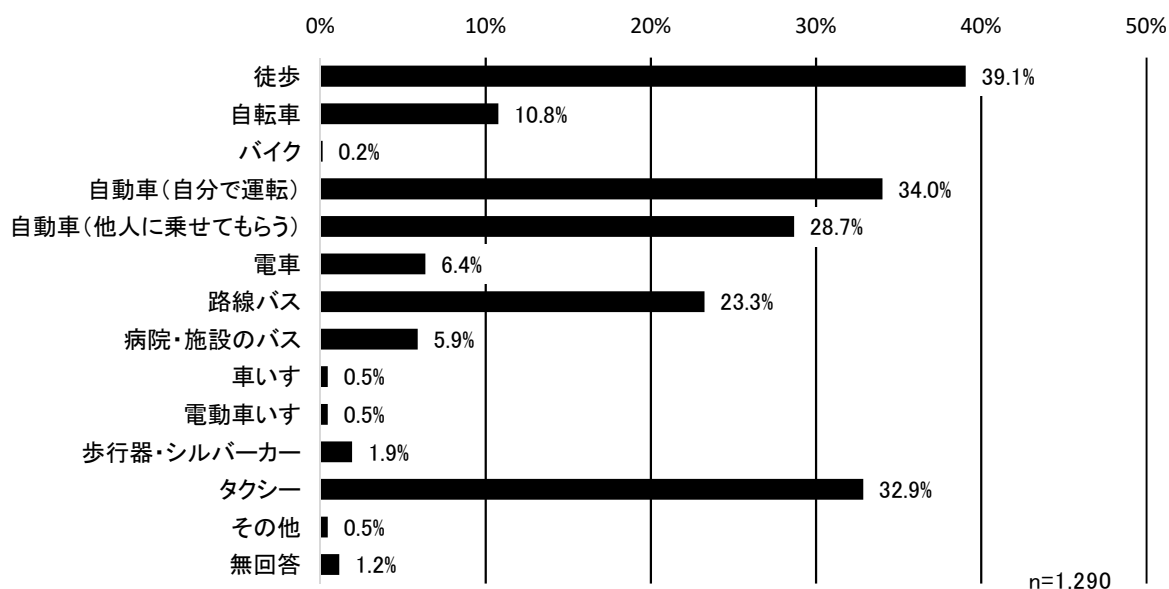
※外出を控えている人

「新型コロナウイルス」が 59.0%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が 49.8%、「交通手段がない」(20.1%)、「外での楽しみがない」(15.1%)、「トイレの心配」(11.3%)と続いている。



問 2(9) 外出する際の移動手段は何ですか(あてはまるものすべてに○)

「徒歩」が 39.1%と最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」(34.0%)、「タクシー」(32.9%)、「自動車(他人に乗せてもらう)」(28.7%)、「路線バス」(23.3%)と続いている。



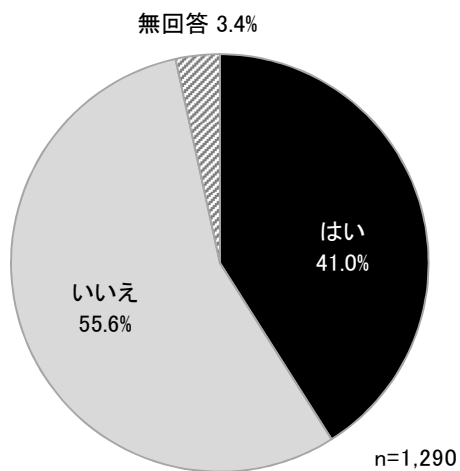
2-4 食べることについて

問 3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

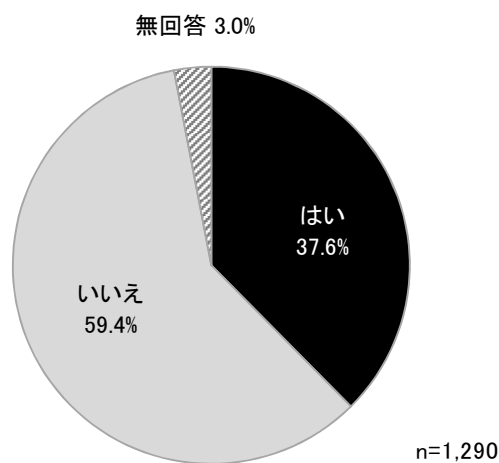
問 3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

問 3(4) 口の渇きが気になりますか

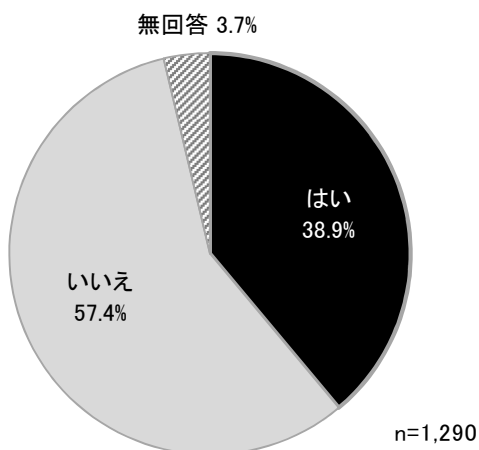
それぞれの設問について、「はい」が約 40%、「いいえ」が約 60%となっている。



半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



お茶や汁物等でむせることがありますか

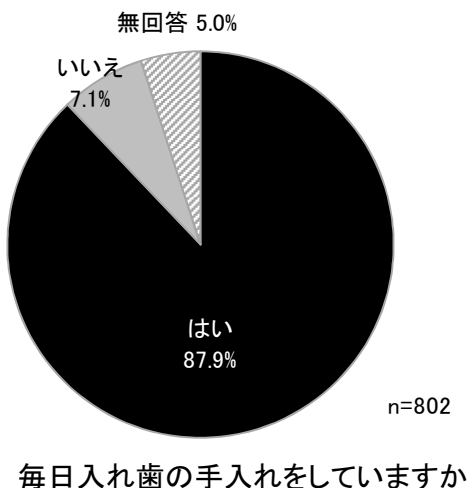
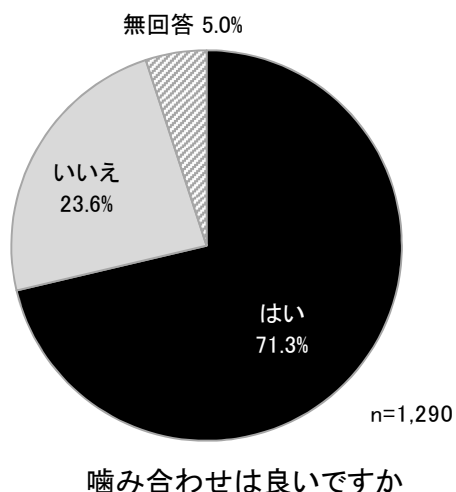
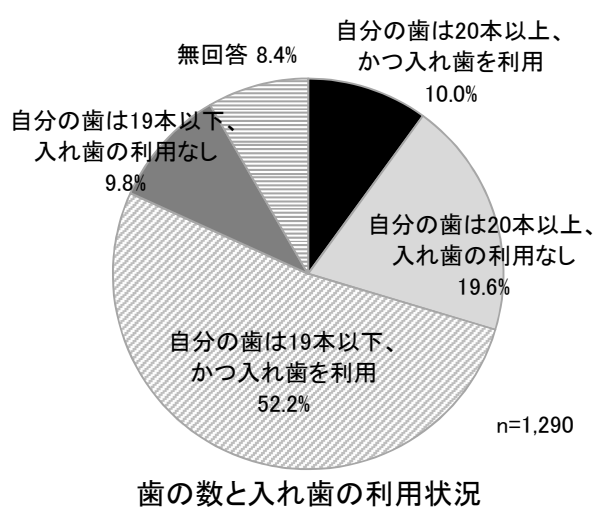
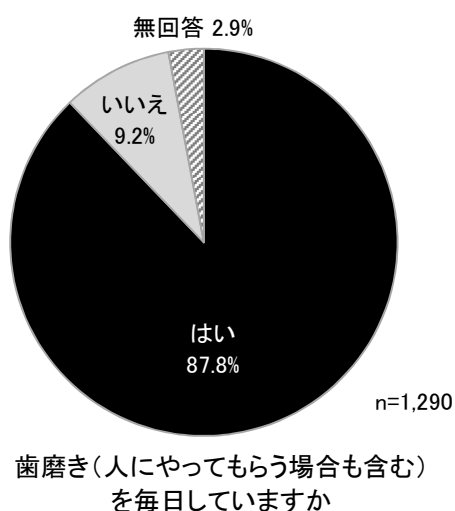


口の渇きが気になりますか

- 問 3(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか
 問 3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)
 問 3(6)① 噛み合わせはよいですか
 問 3(6)② 毎日入れ歯の手入れをしていますか
 ※入れ歯を利用している人

『歯の数と入れ歯の利用状況』について、“入れ歯を利用している”は 62.2%、“入れ歯は利用していない”は 29.4%となっている。

『噛み合わせはよいですか』について、「はい」は 71.3%となっている。

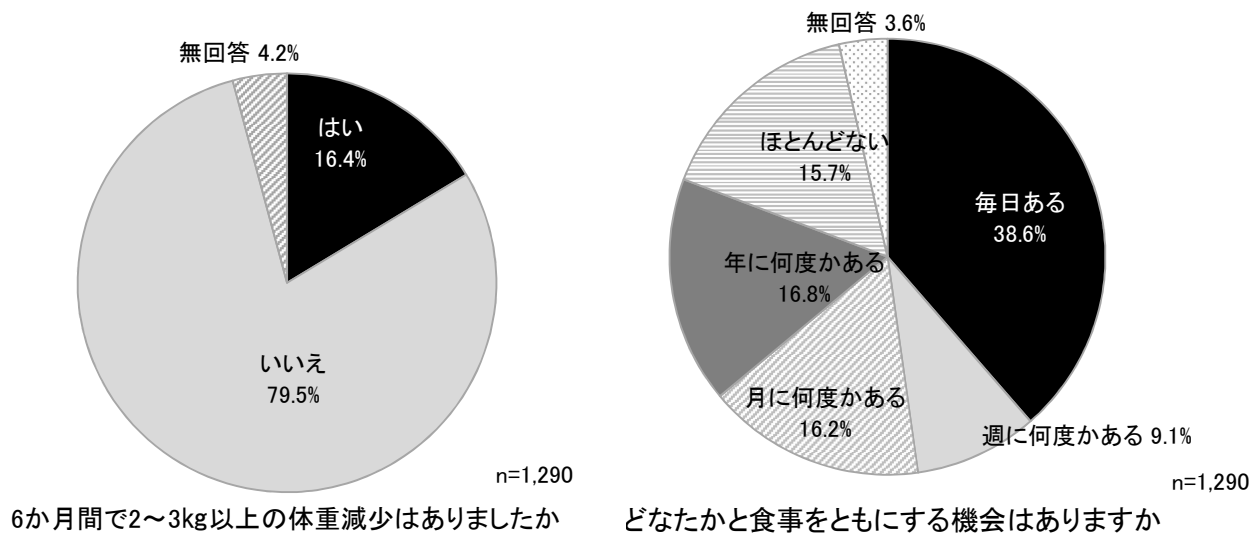


問 3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

問 3(8) どなたかと食事をとる機会がありますか

『6か月間で2～3kg以上の体重減少はありましたか』について、「いいえ」が79.5%となっている。

『誰かと食事をとる機会がありますか』について、「毎日ある」は38.6%となっている。

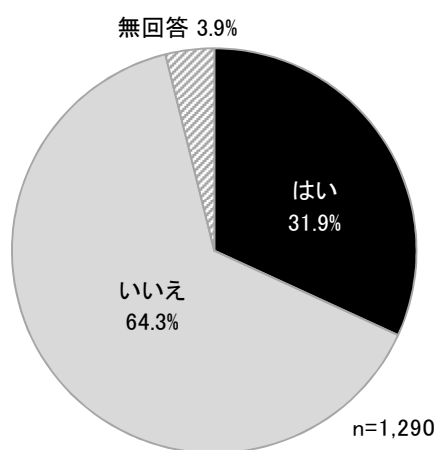
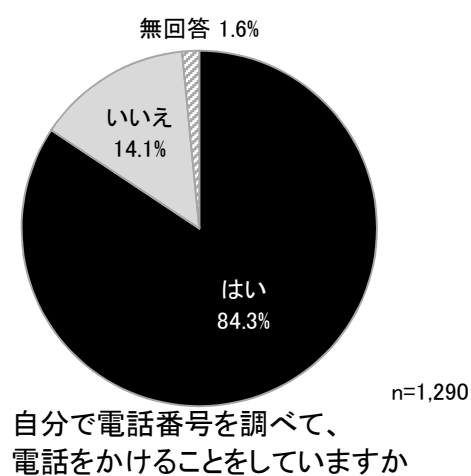
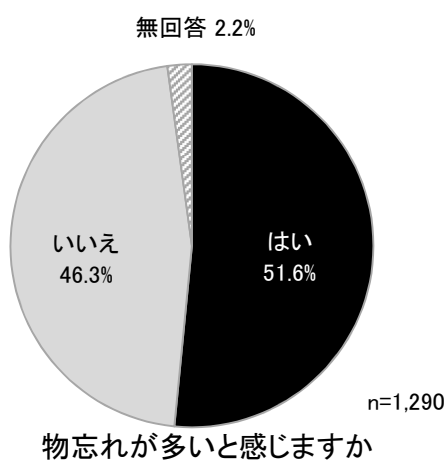


2-5 毎日の生活について

- 問 4(1) 物忘れが多いと感じますか
 問 4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
 問 4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

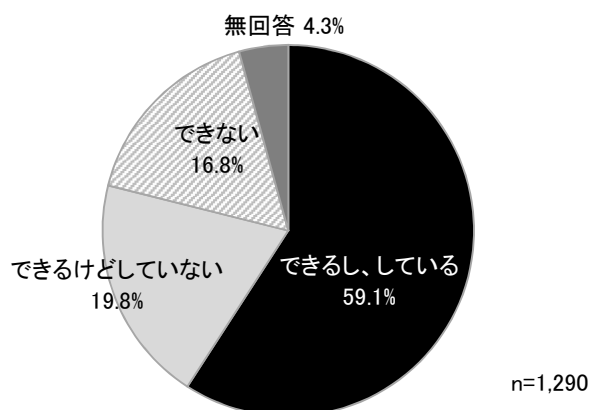
『物忘れが多いと感じますか』について、「はい」は51.6%、「いいえ」は46.3%となっている。

『今日が何月何日かわからない時がありますか』について、「はい」は31.9%となっている。

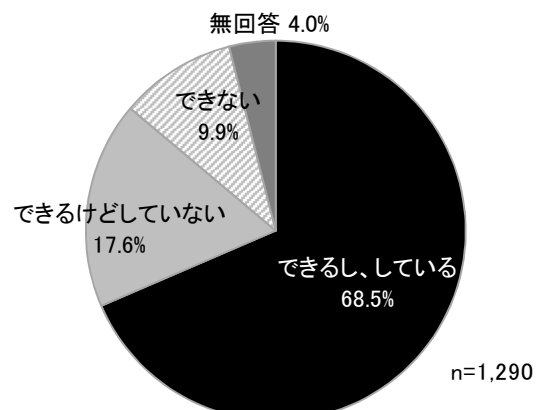


- 問 4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)
 問 4(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか
 問 4(6) 自分で食事の用意をしていますか
 問 4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか
 問 4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

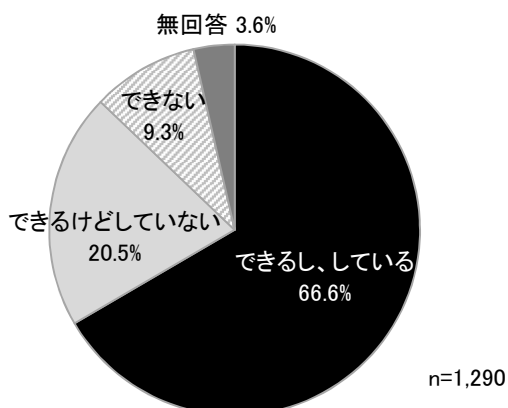
それぞれの設問について、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた“できる”が大半を占めている。



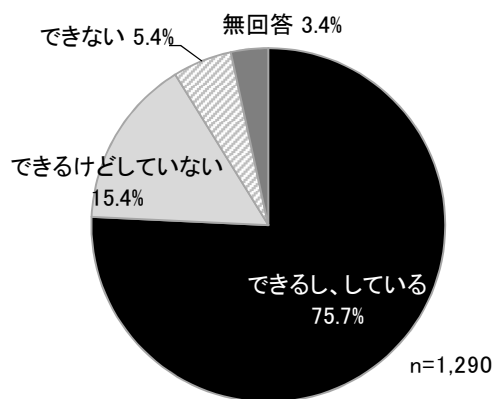
バスや電車を使って1人で外出していますか



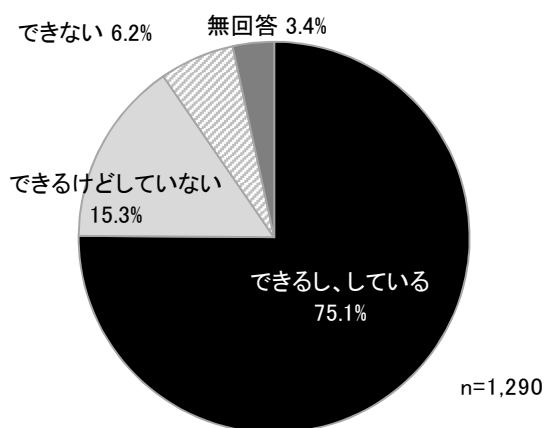
自分で食品・日用品の買い物をしていますか



自分で食事の用意をしていますか



自分で請求書の支払いをしていますか



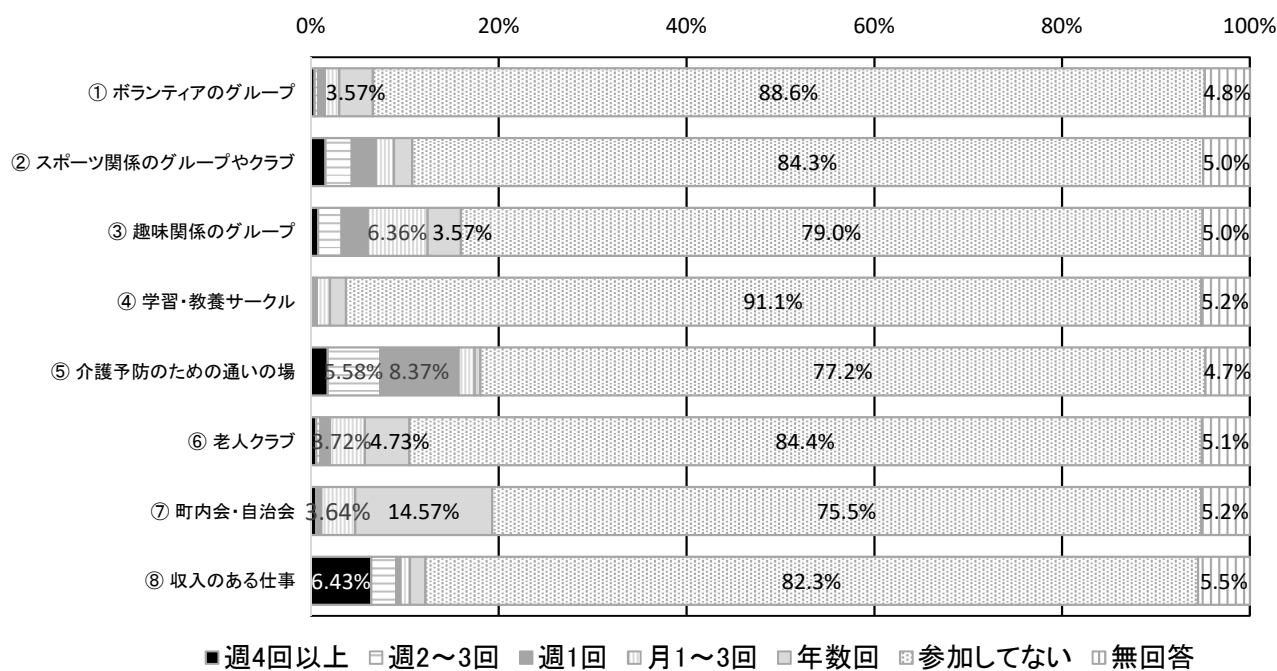
自分で預貯金の出し入れをしていますか

2-6 地域での活動について

問 5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

- ① ボランティアのグループ
- ② スポーツ関係のグループやクラブ
- ③ 趣味関係のグループ
- ④ 学習・教養サークル
- ⑤ 認知症カフェなど、介護予防のための通いの場
- ⑥ 老人クラブ
- ⑦ 町内会・自治会
- ⑧ 収入のある仕事

『③趣味関係のグループ』、『⑤介護予防のための通いの場』、『⑦町内会・自治会』は、比較的頻繁に活動している人が多くなっている。

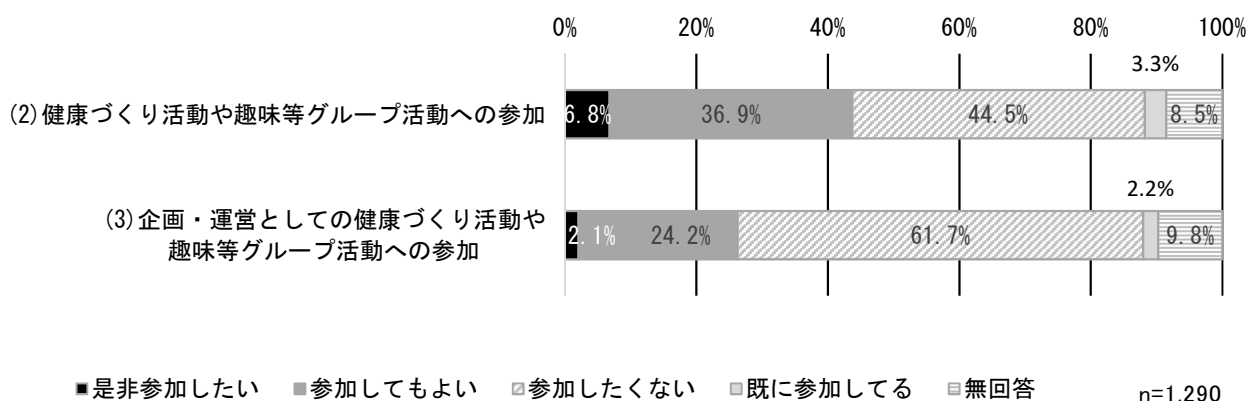


n=1,290

- 問 5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか
- 問 5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

『(2)健康づくりや趣味など地域づくり活動への参加』について、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた“参加意向のある人”は43.7%となっている。

『(3)地域づくり活動への企画・運営としての参加』について、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた“参加意向のある人”が26.3%である一方、「参加したくない」と回答した人が61.7%となっている。

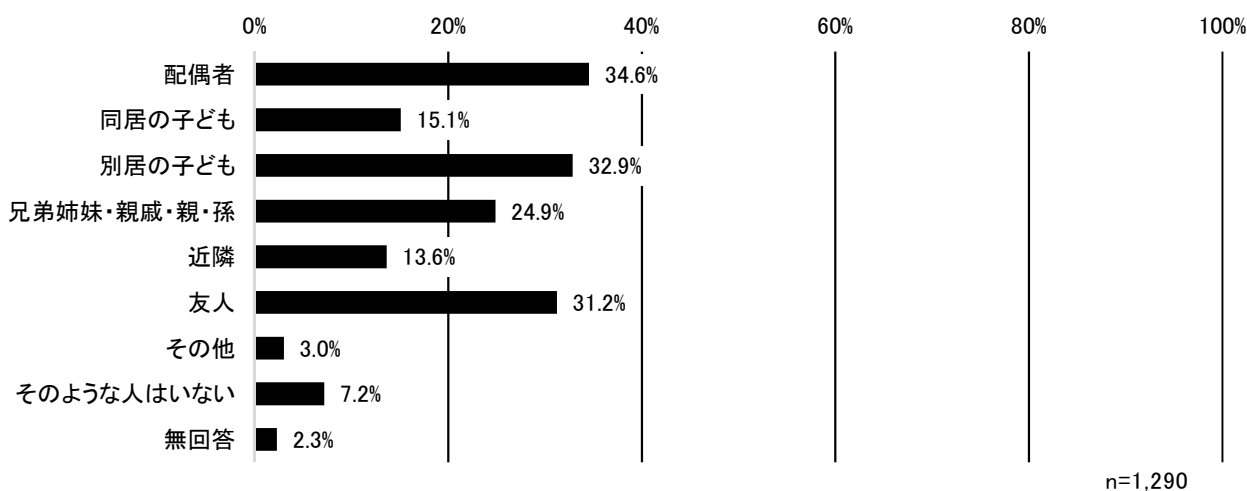


2-7 たすけあいについて

問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

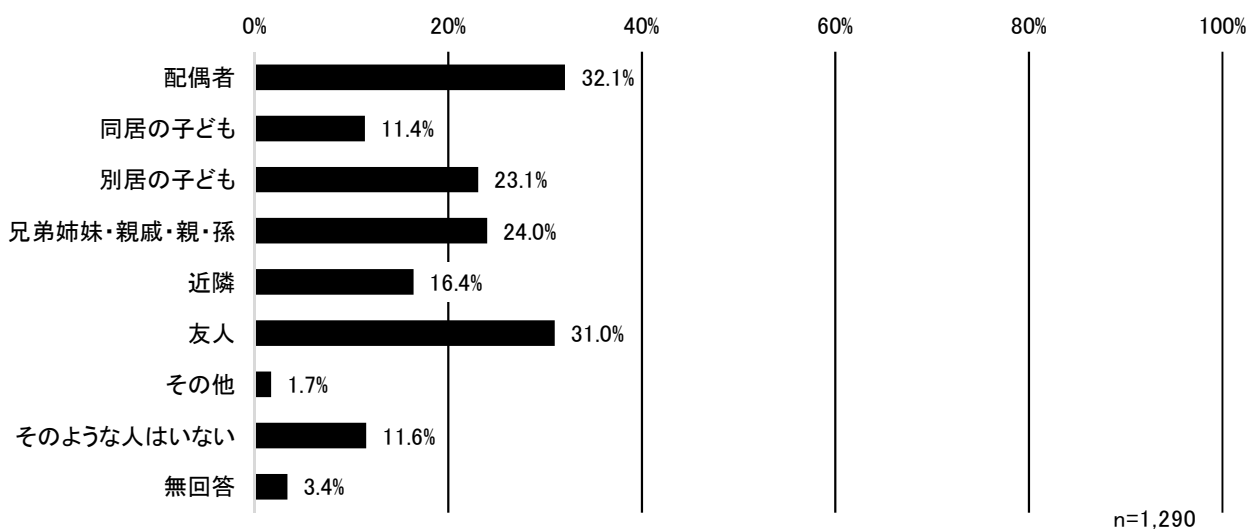
(1) あなたの心配ごとや愚痴を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が 34.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」(32.9%)、「友人」(31.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.9%)と続いている。



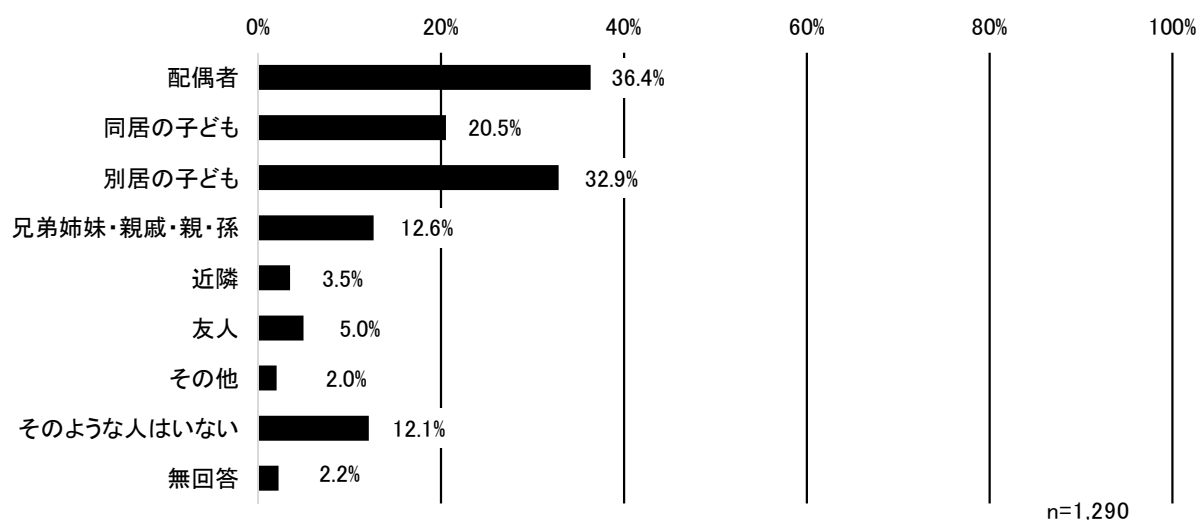
(2) 反対に、あなたが心配ごとや愚痴を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が 32.1%と最も高く、次いで「友人」(31.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.0%)、「別居の子ども」(23.1%)と続いている。



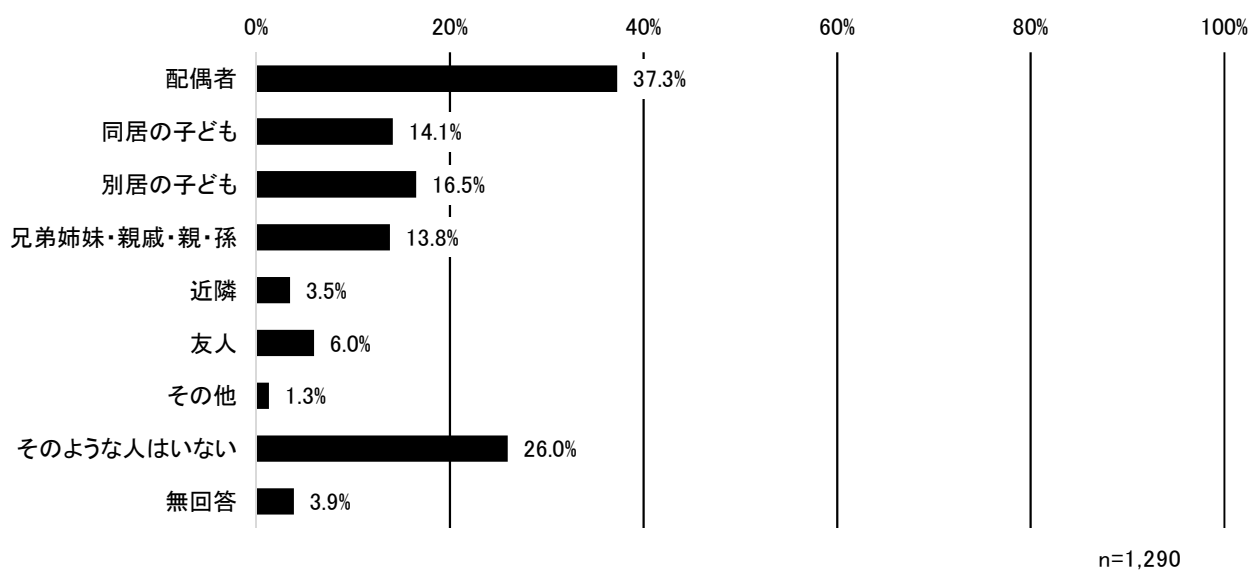
(3)あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が36.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」(32.9%)、「同居の子ども」(20.5%)と続いている。



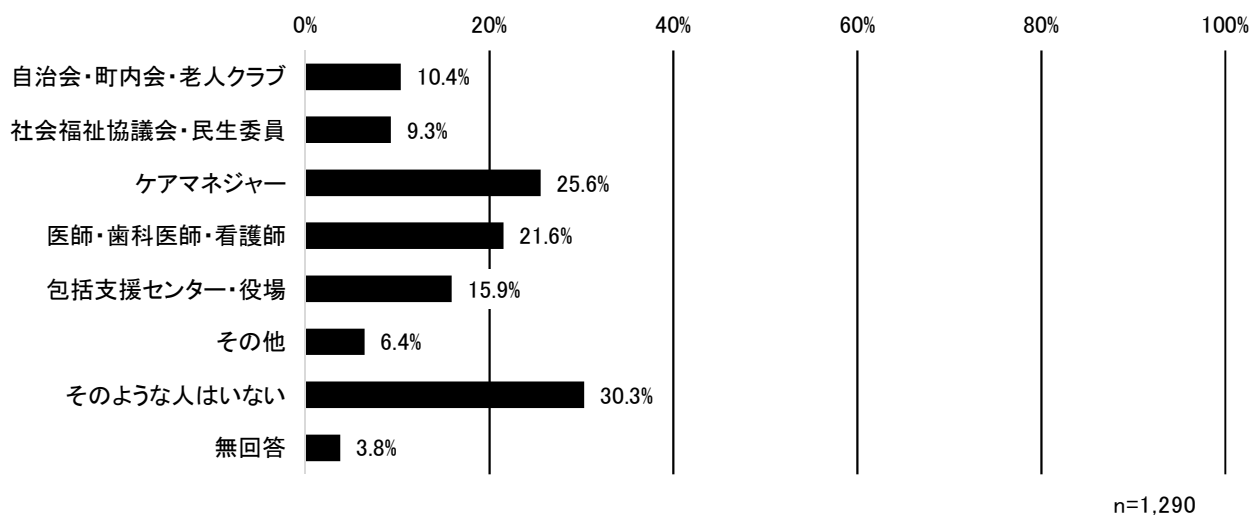
(4)反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が37.3%と最も高く、次いで「そのような人はいない」(26.0%)、「別居の子ども」(16.5%)、「同居の子ども」(14.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.8%)と続いている。



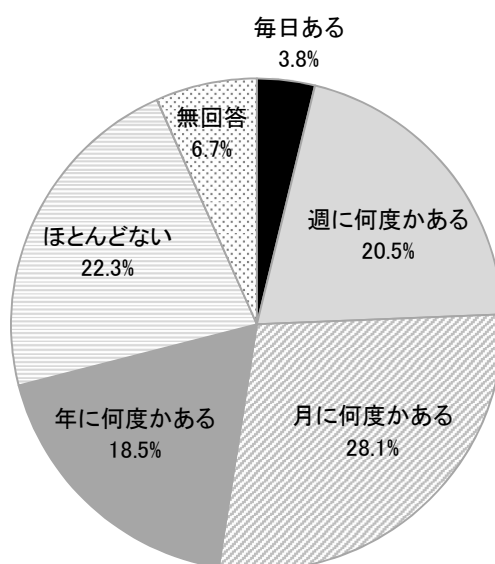
問 6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

「そのような人はいない」が 30.3%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」(25.6%)、「医師・歯科医師・看護師」(21.6%)で続いている。



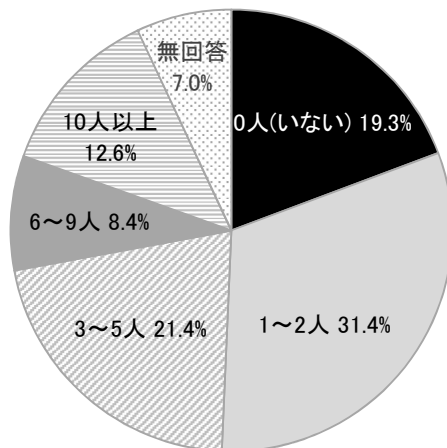
問 6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

「月に何度かある」が 28.1%と最も高く、次いで「ほとんどない」(22.3%)、「週に何度かある」(20.5%)、「年に何度かある」(18.5%)と続いている。



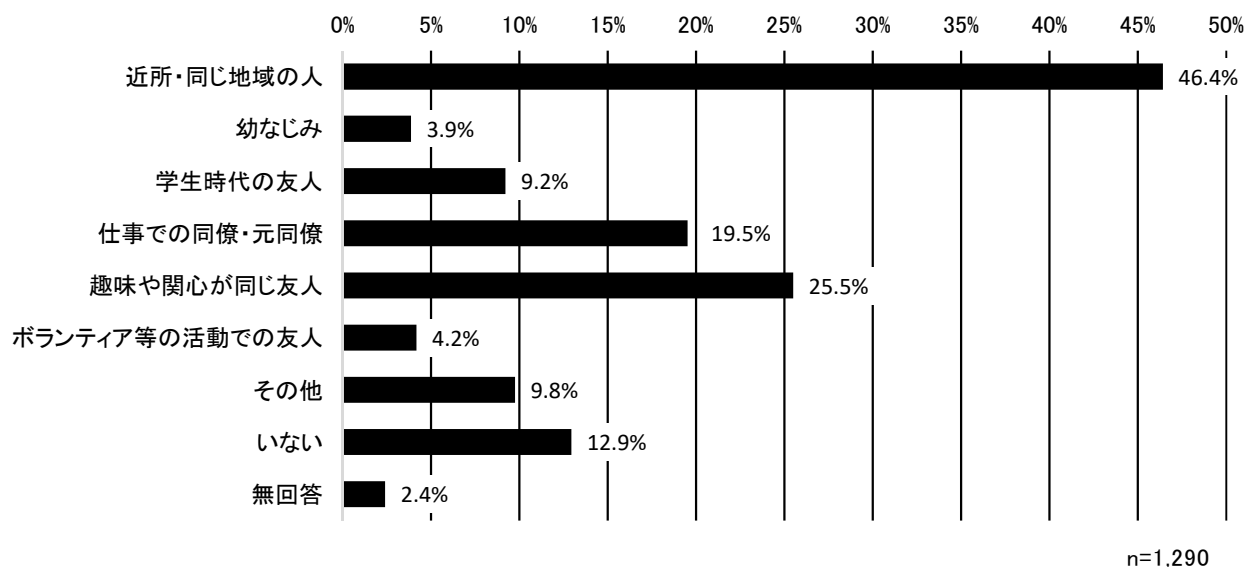
問 6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

「1～2人」が 31.4%と最も高く、次いで「3～5人」(21.4%)、「0人(いない)」(19.3%)と続いている。



問 6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(あてはまるものすべてに○)

「近所・同じ地域の人」が 46.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(25.5%)、「仕事での同僚・元同僚」(19.5%)と続いている。

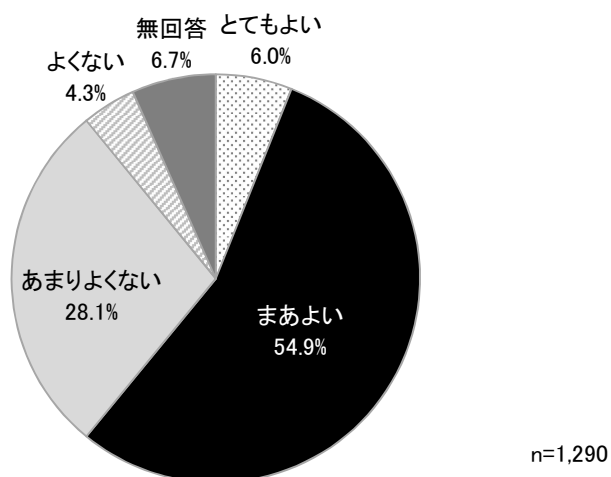


2-8 健康について

問 7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」が 54.9%と最も高く、次いで「あまりよくない」(28.1%)、「とてもよい」(6.0%)と続いている。

年齢で見ると、年齢が上がるにつれて「あまりよくない」、「よくない」は増加する傾向にある。

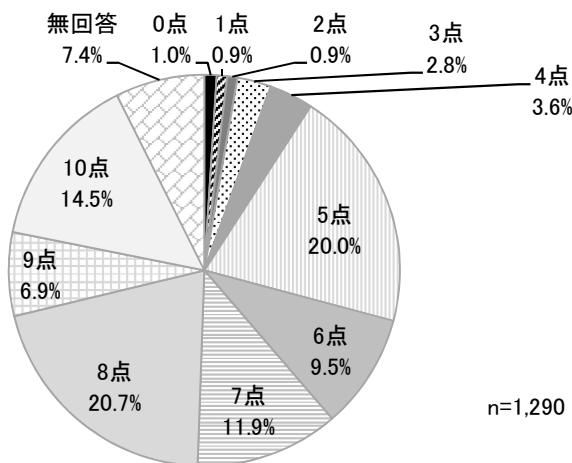


	全体	年齢			家族構成			
		65~74歳	75~84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
とてもよい	6.0%	10.4%	5.8%	2.2%	4.1%	9.4%	4.3%	4.4%
まあよい	54.9%	61.4%	54.1%	51.0%	51.2%	55.0%	56.7%	66.4%
あまりよくない	28.1%	18.3%	30.7%	33.2%	31.6%	26.2%	29.8%	18.2%
よくない	4.3%	3.4%	4.4%	4.9%	4.1%	3.4%	5.8%	5.8%
無回答	6.7%	6.5%	5.0%	8.7%	8.9%	6.0%	3.4%	5.1%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
とてもよい	6.3%	4.4%	8.5%	5.4%	4.3%
まあよい	53.9%	52.6%	56.9%	55.6%	56.5%
あまりよくない	26.2%	33.1%	24.6%	28.5%	29.0%
よくない	4.1%	5.1%	4.2%	3.3%	5.3%
無回答	9.6%	4.8%	5.8%	7.1%	4.8%

問 7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○をつけてください)

「8点」が20.7%と最も高く、次いで「5点」(20.0%)、「10点」(14.5%)、「7点」(11.9%)、「6点」(9.5%)と続いている。



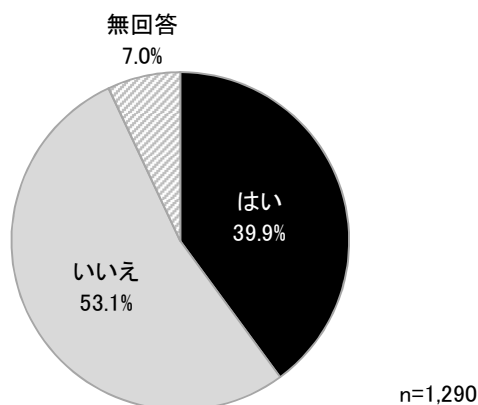
	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
0点	1.0%	0.6%	1.5%	0.9%	1.2%	1.1%	1.0%	0.0%
1点	0.9%	1.1%	0.6%	0.9%	1.0%	1.1%	0.0%	0.0%
2点	0.9%	1.7%	0.4%	0.7%	1.4%	0.7%	0.0%	0.7%
3点	2.8%	4.5%	2.1%	2.2%	3.7%	2.5%	1.4%	2.9%
4点	3.6%	2.8%	4.8%	3.1%	5.8%	2.9%	1.9%	1.5%
5点	20.0%	17.2%	21.8%	20.3%	21.5%	19.5%	17.3%	19.0%
6点	9.5%	11.5%	7.7%	10.0%	9.7%	6.5%	12.5%	14.6%
7点	11.9%	14.4%	12.2%	9.6%	10.7%	11.6%	13.5%	14.6%
8点	20.7%	18.9%	22.0%	20.7%	17.8%	26.2%	20.2%	15.3%
9点	6.9%	6.8%	7.3%	6.7%	6.2%	6.9%	8.7%	6.6%
10点	14.5%	14.1%	13.9%	15.1%	12.0%	13.6%	19.2%	19.0%
無回答	7.4%	6.5%	5.8%	9.8%	8.9%	7.4%	4.3%	5.8%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
0点	0.7%	1.5%	0.8%	0.4%	1.9%
1点	1.1%	0.0%	1.2%	1.3%	0.0%
2点	0.0%	1.8%	0.4%	0.8%	1.0%
3点	3.0%	0.7%	2.3%	3.8%	3.9%
4点	2.6%	4.4%	2.7%	4.2%	3.9%
5点	19.9%	19.9%	20.4%	20.1%	21.3%
6点	11.1%	10.3%	10.0%	8.8%	8.7%
7点	12.5%	13.6%	11.2%	11.3%	11.6%
8点	20.7%	22.1%	22.7%	19.7%	19.8%
9点	5.2%	6.3%	5.8%	8.8%	8.7%
10点	13.3%	13.6%	17.3%	13.8%	12.6%
無回答	10.0%	5.9%	5.4%	7.1%	6.8%

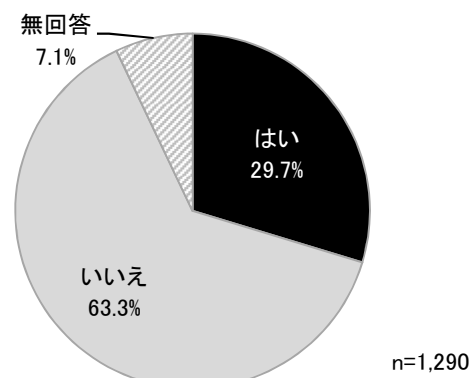
- 問 7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
- 問 7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか
- 問 7(5) タバコは吸っていますか

『この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか』について、「はい」は39.9%となっている。

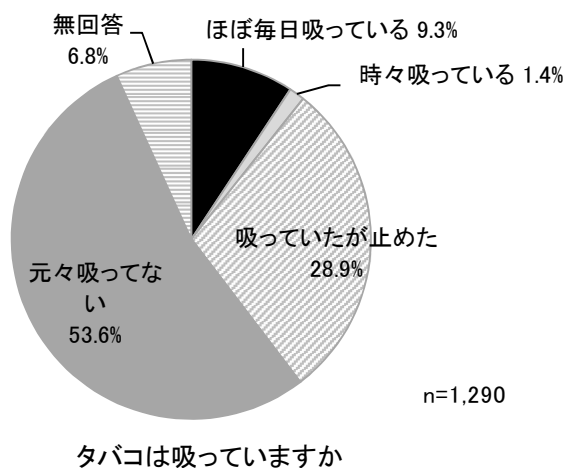
『この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか』について、「はい」は29.7%となっている。



この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



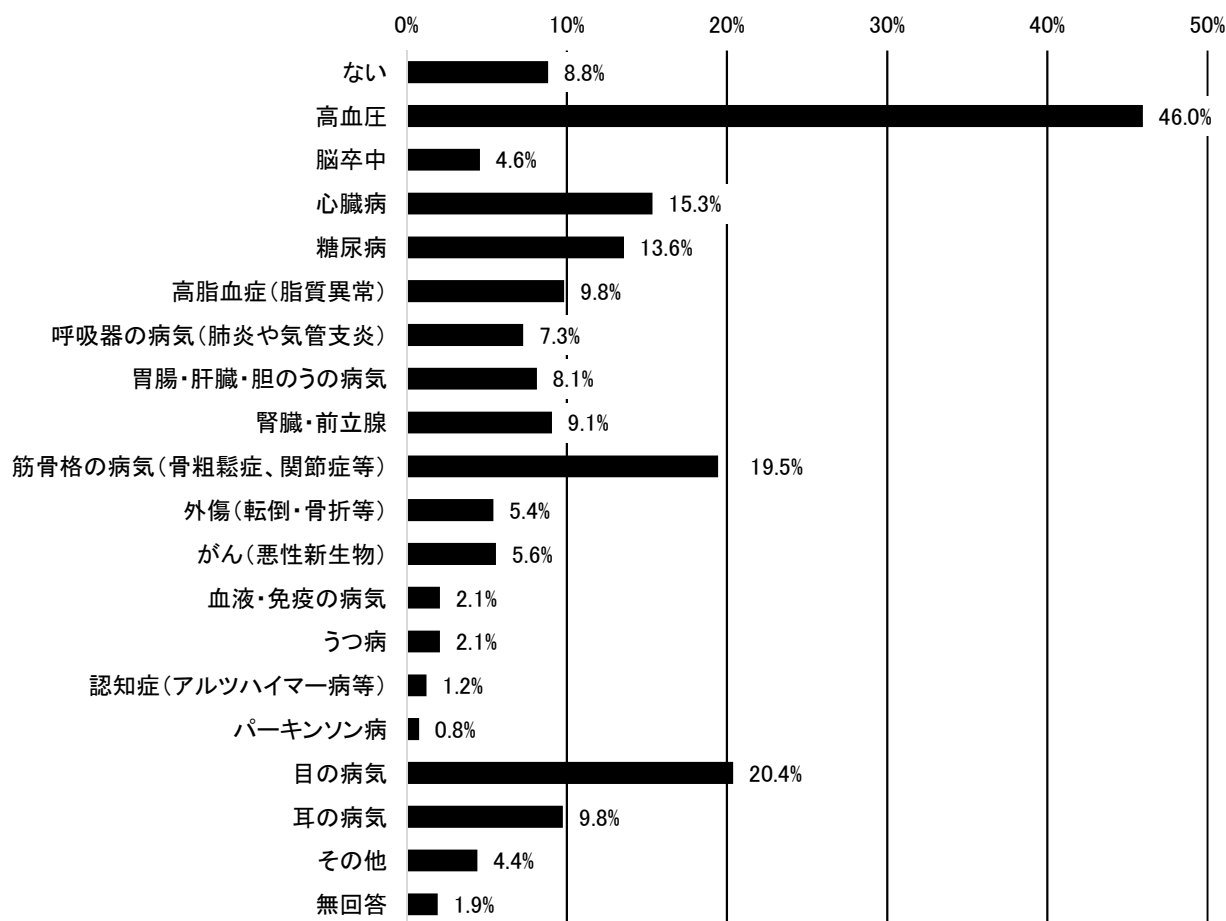
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか



タバコは吸っていますか

問 7(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(あてはまるものすべてに○)

「高血圧」が 46.0%と最も高く、次いで「目の病気」(20.4%)、「筋骨格の病気(骨粗鬆症、関節症等)」(19.5%)と続いている。

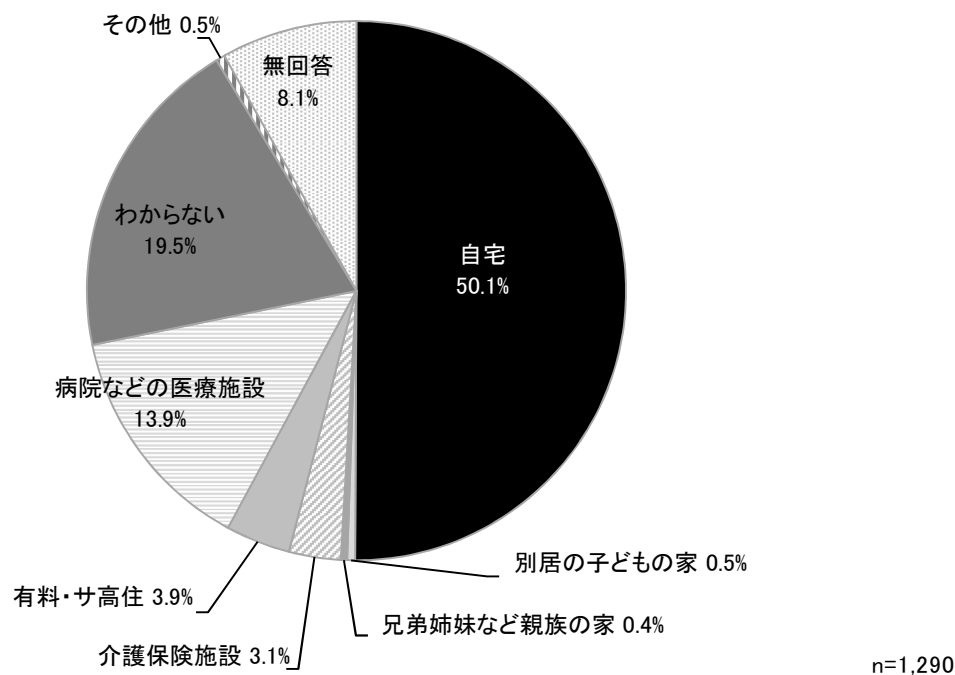


n=1,290

2-9 人生の最期の迎え方について

問 8(1) どこで最期を迎えたいですか

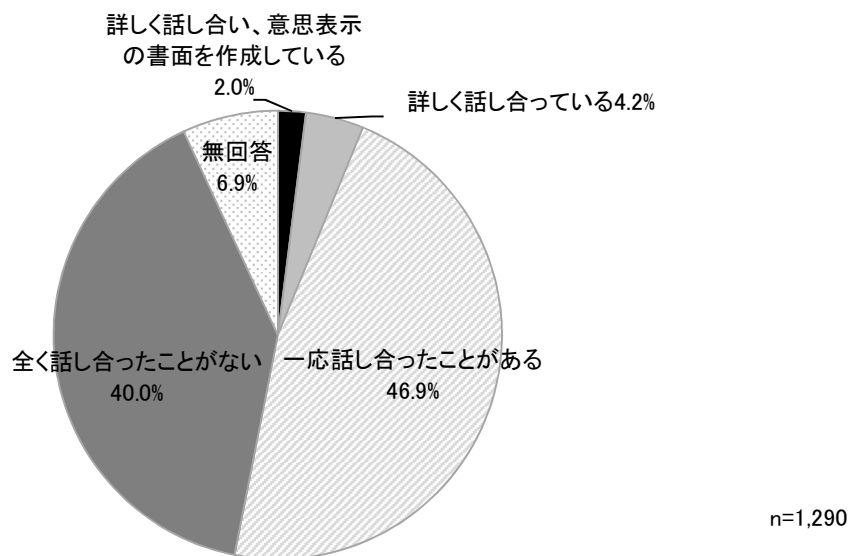
「自宅」が50.1%と最も高く、次いで「わからない」(19.5%)、「病院などの医療施設」(13.9%)と続いている。



	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
自宅	50.1%	45.9%	51.2%	51.7%	40.5%	57.3%	56.3%	51.8%
別居の子どもの家	0.5%	0.0%	0.2%	1.1%	0.6%	0.4%	0.5%	0.0%
兄弟姉妹など親族の家	0.4%	0.3%	0.6%	0.2%	0.0%	0.9%	0.5%	0.0%
介護保険施設	3.1%	3.1%	2.3%	4.0%	4.5%	2.2%	2.9%	1.5%
有料・サ高住	3.9%	2.3%	4.8%	4.2%	5.8%	2.0%	2.4%	5.8%
病院などの医療施設	13.9%	16.1%	12.4%	13.8%	14.7%	11.2%	17.8%	13.9%
わからない	19.5%	25.4%	19.9%	14.7%	22.5%	18.1%	13.5%	21.9%
その他	0.5%	0.3%	0.8%	0.4%	1.0%	0.4%	0.0%	0.0%
無回答	8.1%	6.8%	7.7%	9.8%	10.3%	7.4%	6.3%	5.1%

問 8(2) 人生の最期をどのように迎えたいか、家族と話し合ったことがありますか

「一応話し合ったことがある」が46.9%と最も高く、次いで「まったく話し合ったことがない」(40.0%)、「無回答」(6.9%)と続いている。



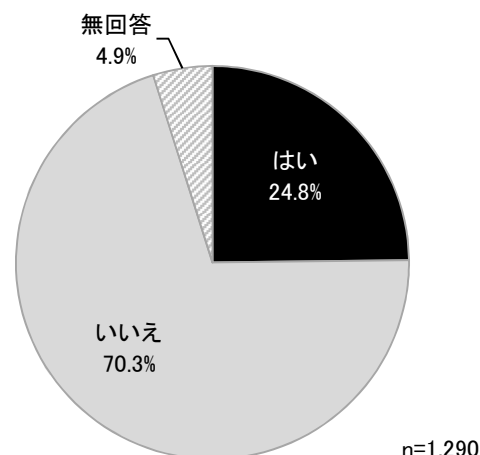
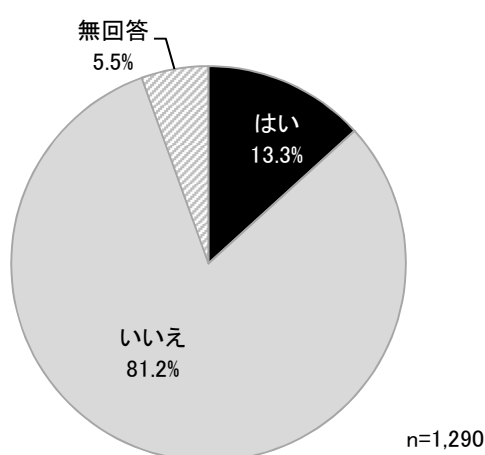
	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している	2.0%	1.7%	2.3%	2.0%	2.7%	1.6%	1.0%	2.9%
詳しく話し合っている	4.2%	2.8%	4.4%	4.9%	5.4%	2.9%	3.8%	5.1%
一応話し合ったことがある	46.9%	41.7%	50.6%	47.4%	43.0%	50.3%	51.4%	44.5%
全く話し合ったことがない	40.0%	49.3%	35.9%	36.7%	39.5%	39.4%	38.5%	44.5%
無回答	6.9%	4.5%	6.8%	8.9%	9.5%	5.8%	5.3%	2.9%

2-10 認知症にかかる相談窓口の把握について

- 問 9(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいですか
 問 9(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

『認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいですか』について、「はい」が13.3%、「いいえ」が81.2%となっている。

『認知症に関する相談窓口を知っていますか』について、「はい」が24.8%「いいえ」が70.3%となっている。



認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいですか

認知症に関する相談窓口を知っていますか

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいですか

	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
はい	13.3%	12.1%	12.4%	14.9%	8.5%	16.3%	13.5%	19.7%
いいえ	81.2%	82.8%	84.2%	76.8%	85.7%	77.6%	82.2%	76.6%
無回答	5.5%	5.1%	3.3%	8.2%	5.8%	6.0%	4.3%	3.6%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
はい	13.7%	12.5%	12.7%	12.1%	15.0%
いいえ	81.2%	83.1%	81.5%	82.4%	80.2%
無回答	5.2%	4.4%	5.8%	5.4%	4.8%

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

	全体	年齢			家族構成			
		65～74歳	75～84歳	85歳以上	1人暮らし	夫婦2人暮らし	息子・娘との2世帯	その他
<回答者数>	1,290	355	482	449	484	447	208	137
はい	24.8%	27.3%	25.3%	22.3%	18.8%	29.1%	25.0%	32.8%
いいえ	70.3%	68.7%	71.0%	70.8%	76.2%	65.3%	71.6%	63.5%
無回答	4.9%	3.9%	3.7%	6.9%	5.0%	5.6%	3.4%	3.6%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	271	272	260	239	207
はい	24.0%	28.3%	26.5%	20.9%	24.2%
いいえ	70.5%	68.0%	68.5%	74.1%	72.0%
無回答	5.5%	3.7%	5.0%	5.0%	3.9%

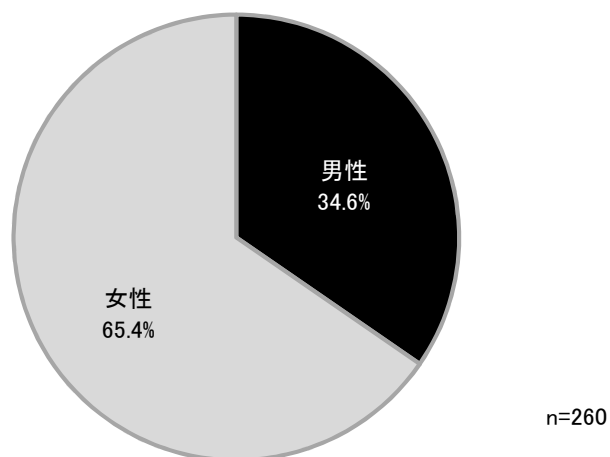
第3章

在宅介護実態調査 集計結果

3-1 調査対象者の状況について

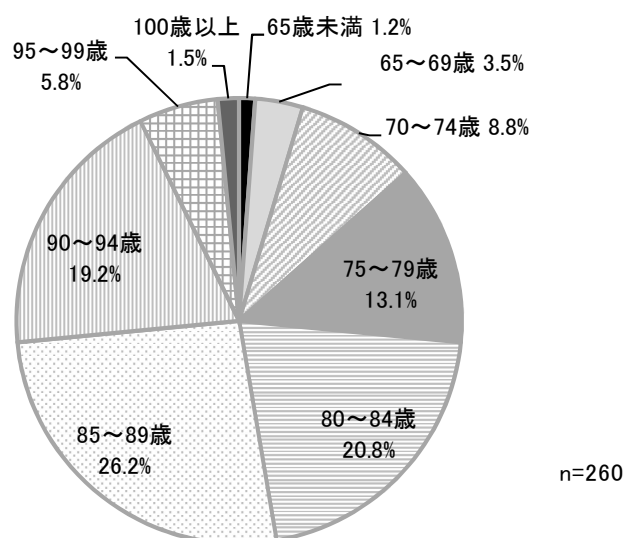
F1 性別

「男性」が 34.6%、「女性」が 65.4%となっている。



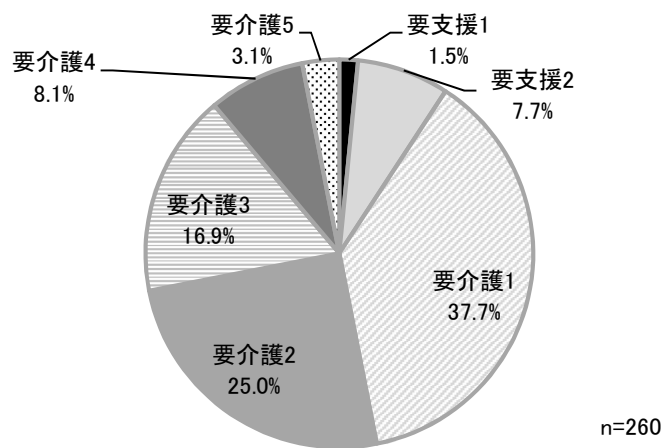
F2 年齢

「85～89 歳」が 26.2%と最も高く、次いで「80～84 歳」(20.8%)、「90～94 歳」(19.2%)、「75～79 歳」(13.1%)、「70～74 歳」(8.8%)、「95～99 歳」(5.8%)と続いている。



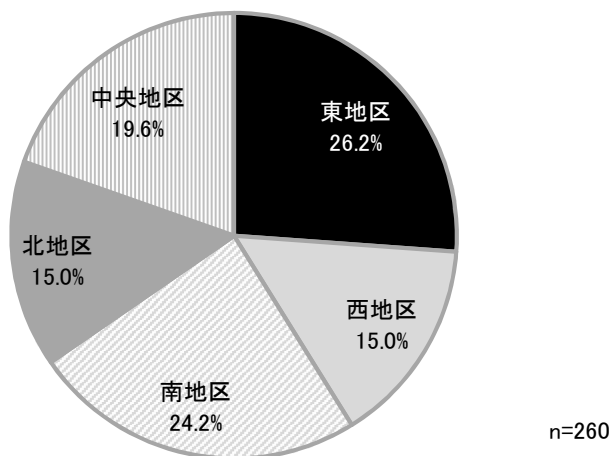
F3 要介護度

「要介護1」が37.7%と最も高く、次いで「要介護2」(25.0%)、「要介護3」(16.9%)、「要介護4」(8.1%)、「要支援2」(7.7%)と続いている。



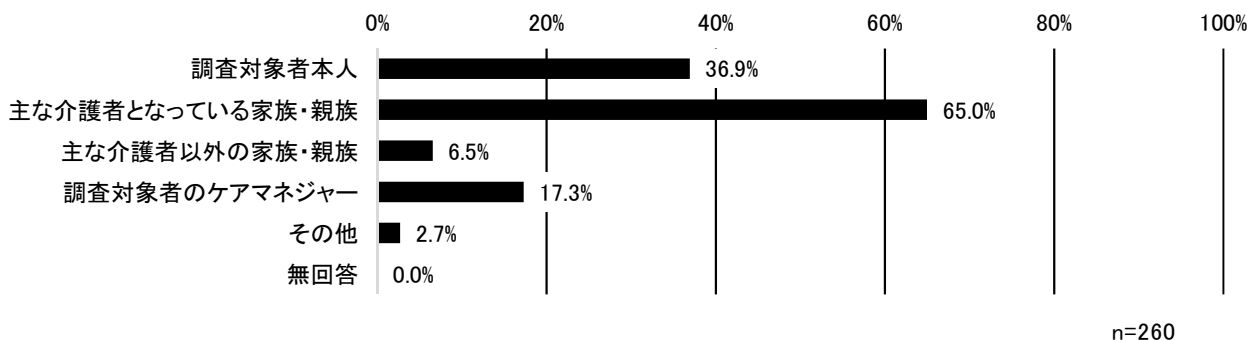
F4 居住地区

「東地区」が26.2%、「西地区」が15.0%、「南地区」が24.2%、「北地区」が15.0%、「中央地区」が19.6%となっている。



A 問1 この調査票をご記入いただいている方は、どなたですか(あてはまるものすべてに○)

「主な介護者となっている家族・親族」が 65.0%と最も高く、次いで「調査対象者本人」(36.9%)、「調査対象者のケアマネジャー」(17.3%)と続いている。

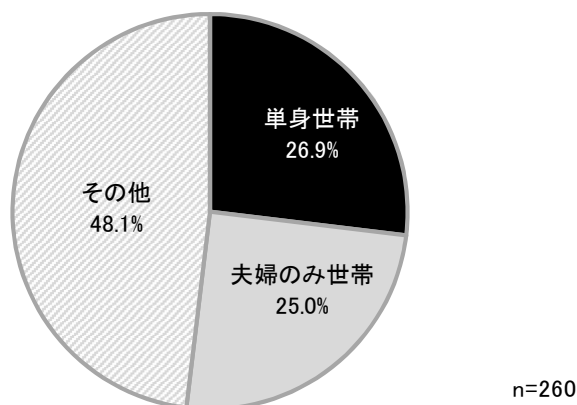


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
調査対象者本人	36.9%	37.4%	30.1%	44.3%	33.8%	34.4%
主な介護者となっている家族・親族	65.0%	63.8%	79.5%	30.0%	78.5%	77.6%
主な介護者以外の家族・親族	6.5%	4.3%	11.0%	5.7%	6.2%	7.2%
調査対象者のケアマネジャー	17.3%	19.0%	13.7%	42.9%	10.8%	6.4%
その他	2.7%	3.1%	2.7%	7.1%	0.0%	1.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
調査対象者本人	35.3%	43.6%	42.9%	25.6%	35.3%
主な介護者となっている家族・親族	57.4%	61.5%	71.4%	74.4%	62.7%
主な介護者以外の家族・親族	7.4%	15.4%	1.6%	5.1%	5.9%
調査対象者のケアマネジャー	17.6%	17.9%	19.0%	5.1%	23.5%
その他	4.4%	2.6%	0.0%	2.6%	3.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A 問2 世帯類型について、ご回答ください(1つに〇)

「単身世帯」が 26.9%、「夫婦のみ世帯」が 25.0%、「その他」が 48.1%と続いている。



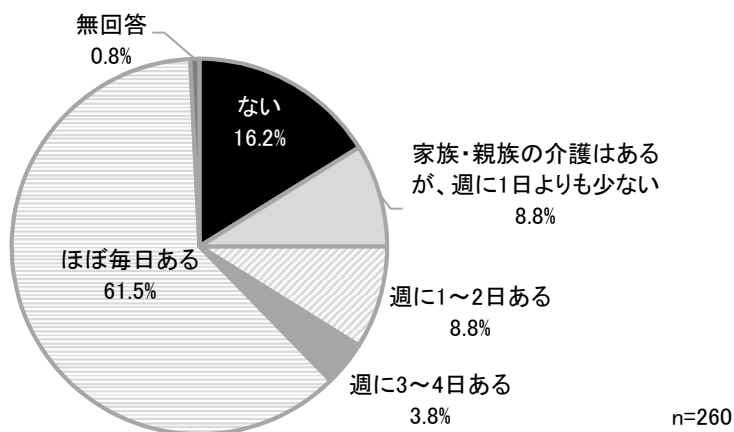
	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
単身世帯	26.9%	31.3%	11.0%	100.0%	0.0%	0.0%
夫婦のみ世帯	25.0%	22.7%	27.4%	0.0%	100.0%	0.0%
その他	48.1%	46.0%	61.6%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
単身世帯	36.8%	17.9%	15.9%	17.9%	41.2%
夫婦のみ世帯	25.0%	20.5%	22.2%	23.1%	33.3%
その他	38.2%	61.5%	61.9%	59.0%	25.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A 問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つに○)

「ほぼ毎日ある」が 61.5%と最も高く、次いで「ない」(16.2%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」及び「週に1～2日ある」(8.8%)と続いている。

要介護度でみると、“要介護3以上”の「ほぼ毎日ある」は 90.4%となっている。

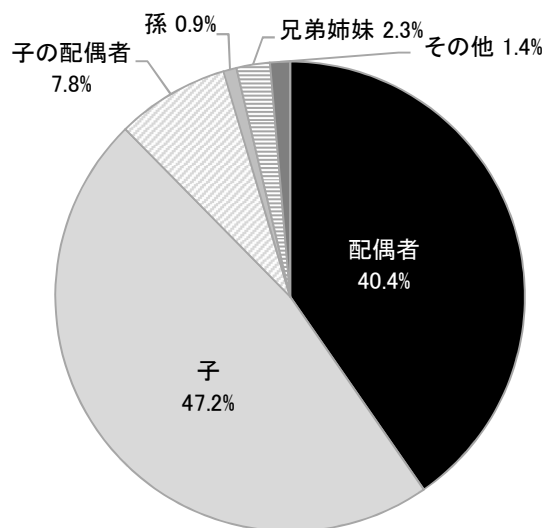


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
ない	16.2%	19.6%	6.8%	44.3%	12.3%	2.4%
家族・親族の介護はあるが、週1日よりも少ない	8.8%	9.8%	0.0%	12.9%	13.8%	4.0%
週に1～2日ある	8.8%	9.2%	2.7%	22.9%	1.5%	4.8%
週に3～4日ある	3.8%	5.5%	0.0%	4.3%	3.1%	4.0%
ほぼ毎日ある	61.5%	54.6%	90.4%	15.7%	67.7%	84.0%
無回答	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%	1.5%	0.8%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
ない	25.0%	10.3%	15.9%	10.3%	13.7%
家族・親族の介護はあるが、週1日よりも少ない	10.3%	12.8%	4.8%	5.1%	11.8%
週に1～2日ある	8.8%	7.7%	6.3%	10.3%	11.8%
週に3～4日ある	5.9%	0.0%	3.2%	5.1%	3.9%
ほぼ毎日ある	50.0%	66.7%	69.8%	66.7%	58.8%
無回答	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%

A 問4 主な介護者の方は、どなたですか(1つに○)
※介護者がいる人

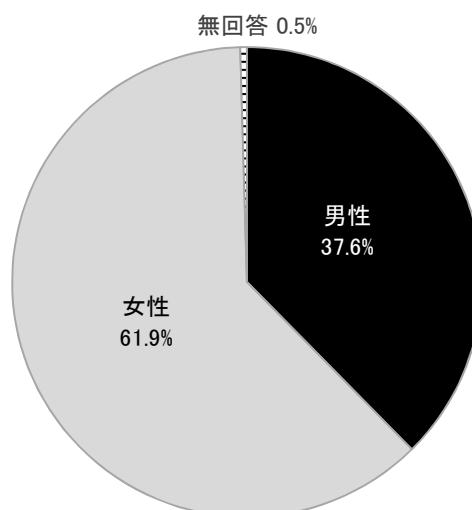
「子」が47.2%と最も高く、次いで「配偶者」(40.4%)、「子の配偶者」(7.8%)と続いている。



n=218

A 問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つに○)
※介護者がいる人

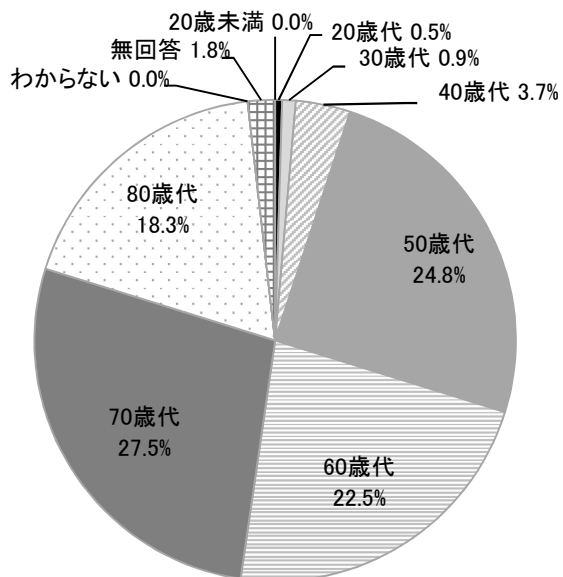
「男性」が37.6%、「女性」が61.9%となっている。



n=218

A 問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つに○)
 ※介護者がいる人

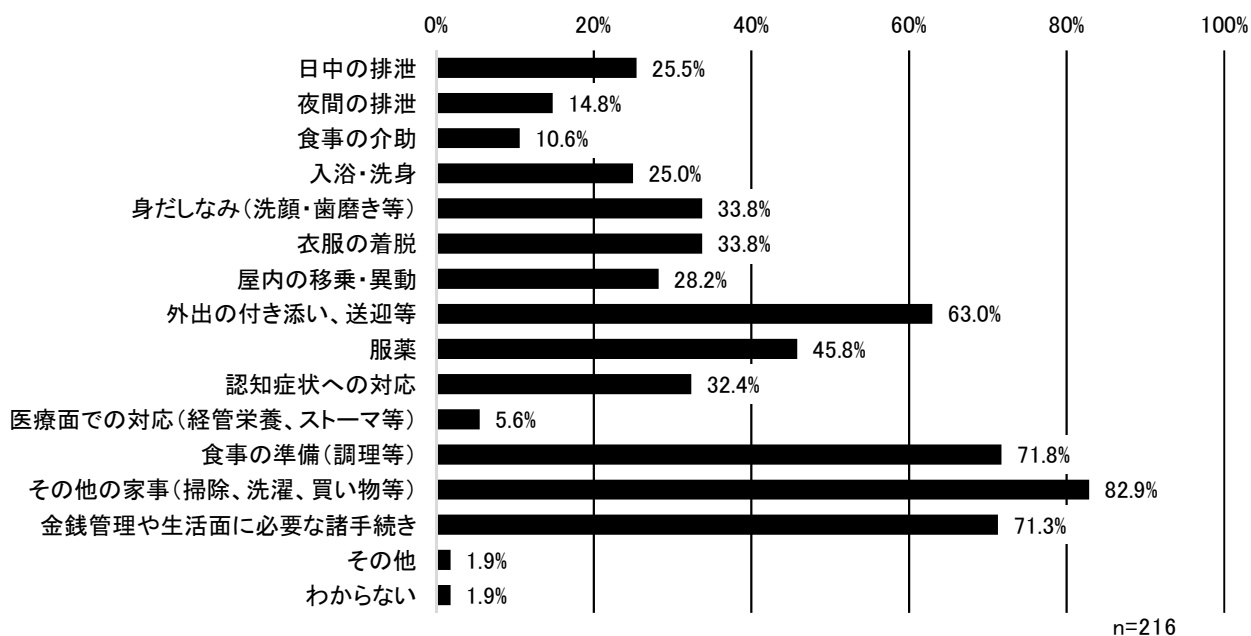
「70 歳代」が 27.5%と最も高く、次いで「50 歳代」(24.8%)、「60 歳代」(22.5%)、「80 歳代」(18.3%)、「40 歳代」(3.7%)と続いている。



n=218

A 問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
 (あてはまるものすべてに○)
 ※介護者がいる人

「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(82.9%)、「食事の準備(調理等)」(71.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(71.3%)、「外出の付き添い・送迎等」(63.0%)が 60%を超えている。



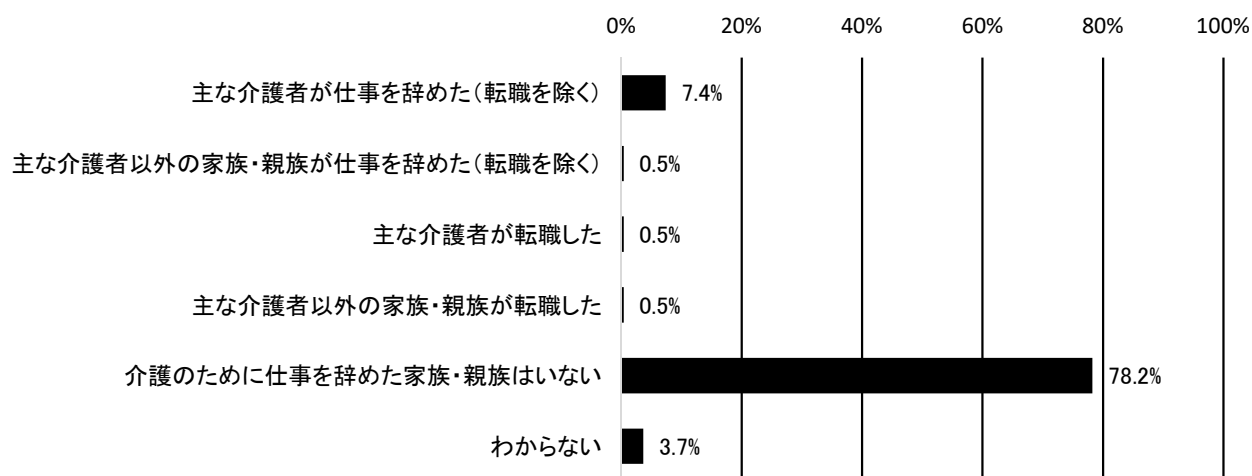
	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	216	129	68	39	56	121
日中の排泄	25.5%	7.8%	66.2%	7.7%	23.2%	32.2%
夜間の排泄	14.8%	3.1%	41.2%	7.7%	8.9%	19.8%
食事の介助	10.6%	4.7%	25.0%	5.1%	8.9%	13.2%
入浴・洗身	25.0%	22.5%	36.8%	12.8%	33.9%	24.8%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	33.8%	20.2%	69.1%	12.8%	39.3%	38.0%
衣服の着脱	33.8%	17.8%	73.5%	12.8%	32.1%	41.3%
屋内の移乗・異動	28.2%	13.2%	63.2%	15.4%	19.6%	36.4%
外出の付き添い、送迎等	63.0%	60.5%	70.6%	59.0%	62.5%	64.5%
服薬	45.8%	39.5%	70.6%	25.6%	48.2%	51.2%
認知症状への対応	32.4%	31.8%	41.2%	20.5%	30.4%	37.2%
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	5.6%	3.9%	8.8%	2.6%	5.4%	6.6%
食事の準備(調理等)	71.8%	67.4%	88.2%	25.6%	87.5%	79.3%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	82.9%	80.6%	92.6%	64.1%	85.7%	87.6%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	71.3%	66.7%	89.7%	53.8%	73.2%	76.0%
その他	1.9%	2.3%	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%
わからない	1.9%	0.8%	4.4%	0.0%	3.6%	1.7%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	51	34	53	34	44
日中の排泄	27.5%	20.6%	28.3%	23.5%	25.0%
夜間の排泄	17.6%	8.8%	13.2%	20.6%	13.6%
食事の介助	13.7%	11.8%	9.4%	8.8%	9.1%
入浴・洗身	21.6%	23.5%	22.6%	26.5%	31.8%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	41.2%	29.4%	34.0%	32.4%	29.5%
衣服の着脱	43.1%	26.5%	35.8%	32.4%	27.3%
屋内の移乗・異動	23.5%	26.5%	32.1%	32.4%	27.3%
外出の付き添い、送迎等	62.7%	55.9%	67.9%	61.8%	63.6%
服薬	47.1%	41.2%	49.1%	47.1%	43.2%
認知症状への対応	33.3%	29.4%	35.8%	38.2%	25.0%
医療面での対応(経管栄養、スーマ等)	3.9%	0.0%	7.5%	8.8%	6.8%
食事の準備(調理等)	64.7%	85.3%	79.2%	76.5%	56.8%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	82.4%	88.2%	88.7%	82.4%	72.7%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	60.8%	70.6%	71.7%	70.6%	84.1%
その他	3.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
わからない	2.0%	0.0%	1.9%	2.9%	2.3%

A 問 8 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(あてはまるものすべてに○)

※介護者がいる人
 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた人を含む

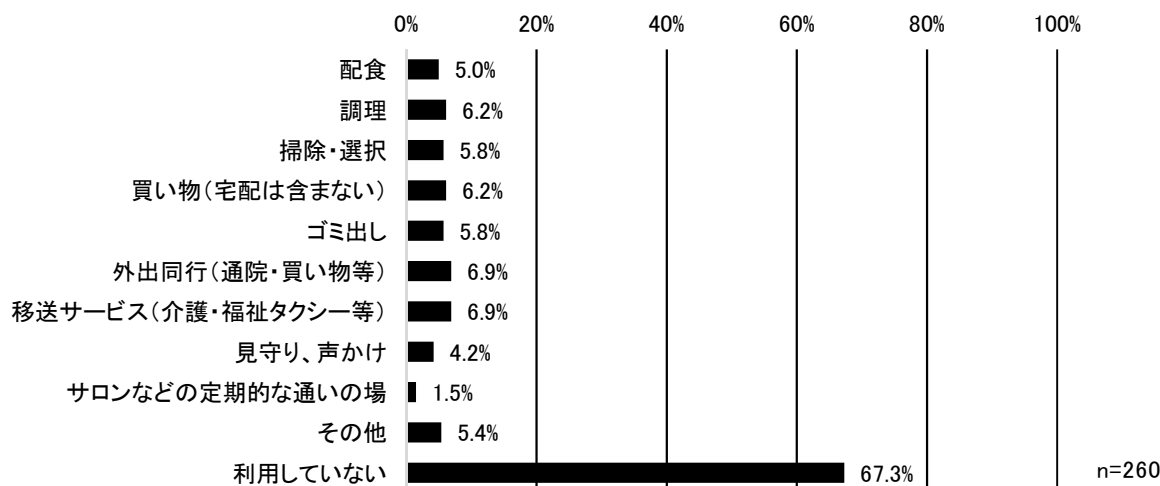
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 78.2%と最も高くなっている。



n=216

A 問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(あてはまるものすべてに○)

「利用していない」が 67.3%と最も高くなっている。それ以外では「外出同行(通院・買い物など)」、
「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 6.9%となっている。

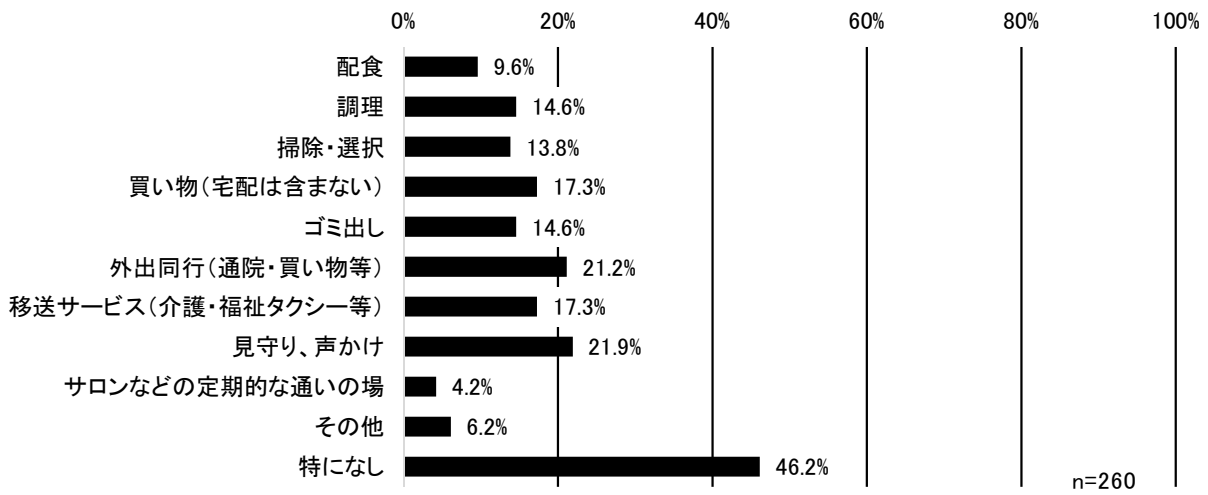


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
配食	5.0%	4.9%	5.5%	8.6%	1.5%	4.8%
調理	6.2%	6.7%	5.5%	10.0%	4.6%	4.8%
掃除・選択	5.8%	7.4%	4.1%	7.1%	4.6%	5.6%
買い物(宅配は含まない)	6.2%	6.1%	6.8%	8.6%	6.2%	4.8%
ゴミ出し	5.8%	6.7%	4.1%	8.6%	4.6%	4.8%
外出同行(通院・買い物等)	6.9%	7.4%	8.2%	10.0%	4.6%	6.4%
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	6.9%	6.1%	11.0%	5.7%	4.6%	8.8%
見守り、声かけ	4.2%	4.9%	4.1%	5.7%	3.1%	4.0%
サロンなどの定期的な通いの場	1.5%	1.8%	1.4%	1.4%	0.0%	2.4%
その他	5.4%	6.1%	4.1%	14.3%	0.0%	3.2%
利用していない	67.3%	65.6%	65.8%	55.7%	80.0%	67.2%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
配食	4.4%	5.1%	1.6%	10.3%	5.9%
調理	7.4%	5.1%	3.2%	7.7%	7.8%
掃除・選択	5.9%	5.1%	4.8%	7.7%	5.9%
買い物(宅配は含まない)	8.8%	5.1%	3.2%	7.7%	5.9%
ゴミ出し	5.9%	2.6%	4.8%	5.1%	9.8%
外出同行(通院・買い物等)	5.9%	2.6%	7.9%	7.7%	9.8%
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8.8%	7.7%	7.9%	5.1%	3.9%
見守り、声かけ	7.4%	5.1%	1.6%	2.6%	3.9%
サロンなどの定期的な通いの場	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	3.9%
その他	2.9%	2.6%	6.3%	7.7%	7.8%
利用していない	67.6%	71.8%	71.4%	66.7%	58.8%

A 問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください
(あてはまるものすべてに○)
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む

「特になし」が 46.2%と最も高く、次いで「見守り、声かけ」(21.9%)、「外出同行(通院・買い物等)」(21.2%)と続いている。

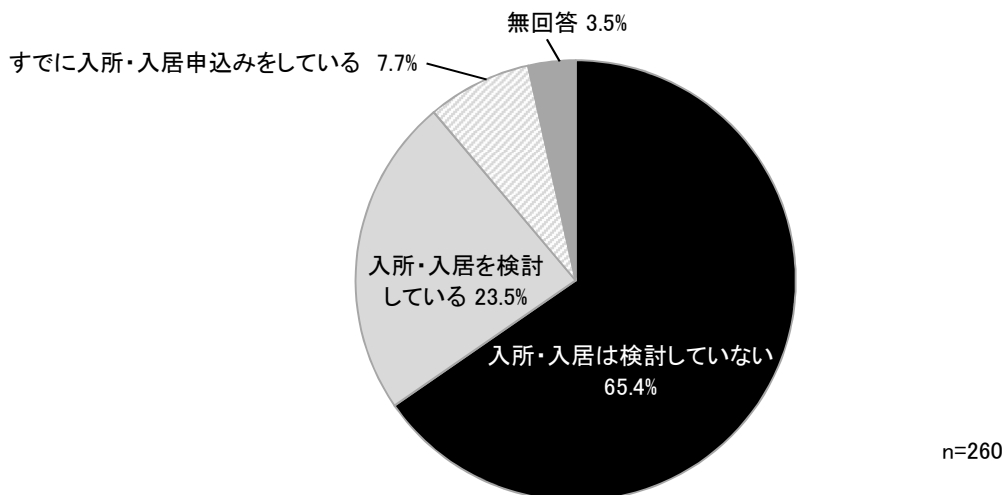


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
配食	9.6%	10.4%	9.6%	11.4%	4.6%	11.2%
調理	14.6%	15.3%	17.8%	22.9%	13.8%	10.4%
掃除・選択	13.8%	11.7%	19.2%	24.3%	9.2%	10.4%
買い物(宅配は含まない)	17.3%	18.4%	16.4%	32.9%	15.4%	9.6%
ゴミ出し	14.6%	14.7%	15.1%	30.0%	13.8%	6.4%
外出同行(通院・買い物等)	21.2%	20.2%	24.7%	31.4%	15.4%	18.4%
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	17.3%	13.5%	24.7%	20.0%	10.8%	19.2%
見守り、声かけ	21.9%	20.2%	26.0%	31.4%	18.5%	18.4%
サロンなどの定期的な通いの場	4.2%	4.9%	4.1%	5.7%	0.0%	5.6%
その他	6.2%	8.0%	4.1%	8.6%	0.0%	8.0%
特になし	46.2%	46.0%	42.5%	38.6%	56.9%	44.8%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
配食	11.8%	12.8%	7.9%	12.8%	3.9%
調理	17.6%	10.3%	14.3%	10.3%	17.6%
掃除・選択	17.6%	10.3%	9.5%	10.3%	19.6%
買い物(宅配は含まない)	23.5%	10.3%	19.0%	7.7%	19.6%
ゴミ出し	25.0%	5.1%	12.7%	7.7%	15.7%
外出同行(通院・買い物等)	25.0%	17.9%	23.8%	15.4%	19.6%
移送サービス(介護・福祉タクシー等)	17.6%	12.8%	14.3%	17.9%	23.5%
見守り、声かけ	19.1%	17.9%	25.4%	23.1%	23.5%
サロンなどの定期的な通いの場	2.9%	2.6%	4.8%	5.1%	5.9%
その他	4.4%	5.1%	11.1%	2.6%	5.9%
利用していない	48.5%	48.7%	41.3%	51.3%	43.1%

A 問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つに○)
 ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す

「入所・入居は検討していない」が 65.4%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 23.5%、「すでに入所・入居申込みをしている」は 7.7%と続いている。

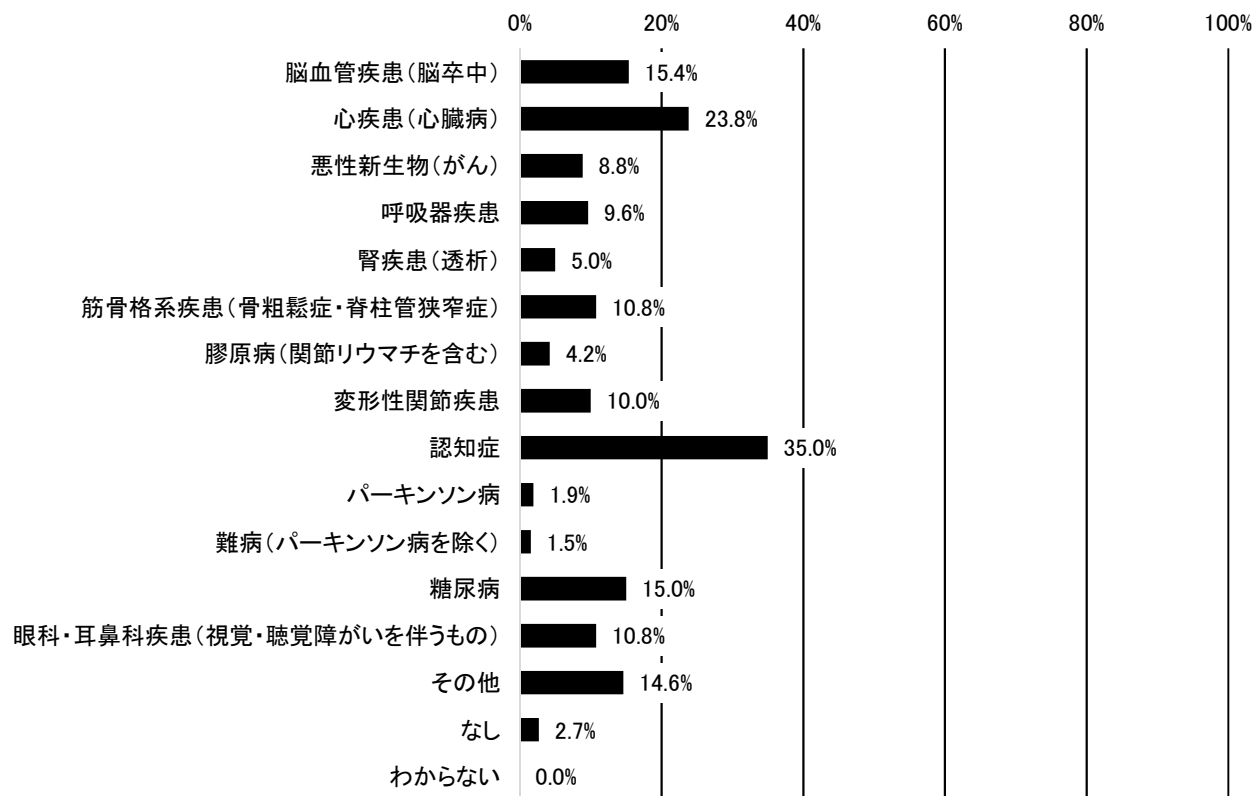


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
入所・入居は検討していない	65.4%	71.8%	45.2%	65.7%	64.6%	65.6%
入所・入居を検討している	23.5%	17.2%	42.5%	22.9%	21.5%	24.8%
すでに入所・入居申込みをしている	7.7%	8.0%	8.2%	11.4%	6.2%	6.4%
無回答	3.5%	3.1%	4.1%	0.0%	7.7%	3.2%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
入所・入居は検討していない	70.6%	64.1%	69.8%	56.4%	60.8%
入所・入居を検討している	19.1%	23.1%	25.4%	30.8%	21.6%
すでに入所・入居申込みをしている	7.4%	5.1%	3.2%	5.1%	17.6%
無回答	2.9%	7.7%	1.6%	7.7%	0.0%

A 問 12 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(あてはまるものすべてに○)

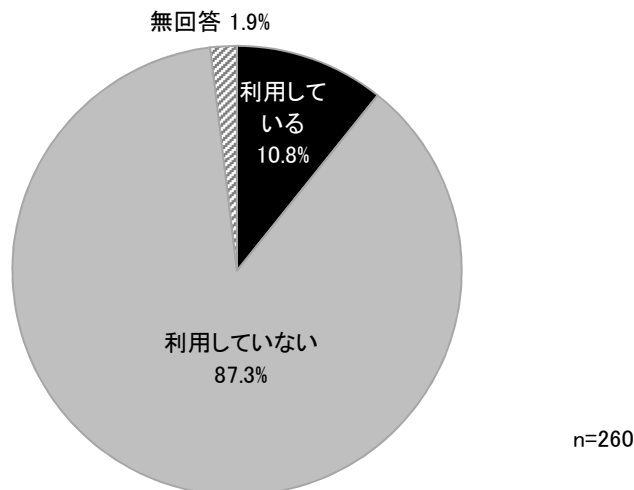
「認知症」(35.0%)、「心疾患(心臓病)」(23.8%)が20%を超えている。



n=260

A 問 13 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つに○)

「利用している」が 10.8%、「利用していない」が 87.3%となっている。

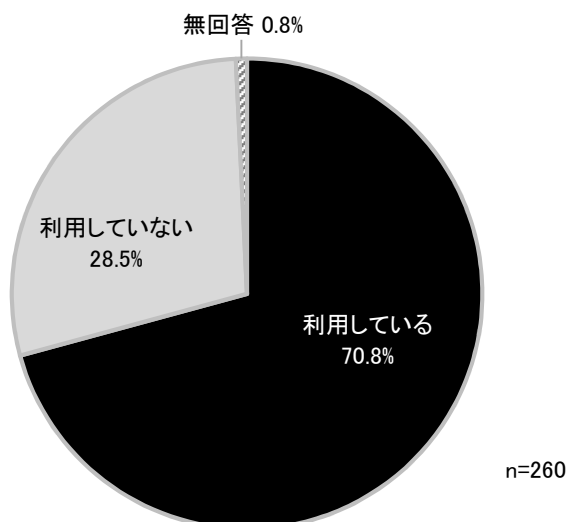


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
利用している	10.8%	8.0%	20.5%	11.4%	4.6%	13.6%
利用していない	87.3%	91.4%	75.3%	88.6%	90.8%	84.8%
無回答	1.5%	0.6%	4.1%	0.0%	4.6%	1.6%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
利用している	10.3%	7.7%	9.5%	17.9%	9.8%
利用していない	88.2%	89.7%	88.9%	76.9%	90.2%
無回答	1.5%	2.6%	1.6%	5.1%	0.0%

A 問 14 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか
(1つに○)

「利用している」が70.8%、「利用していない」が28.5%となっている。

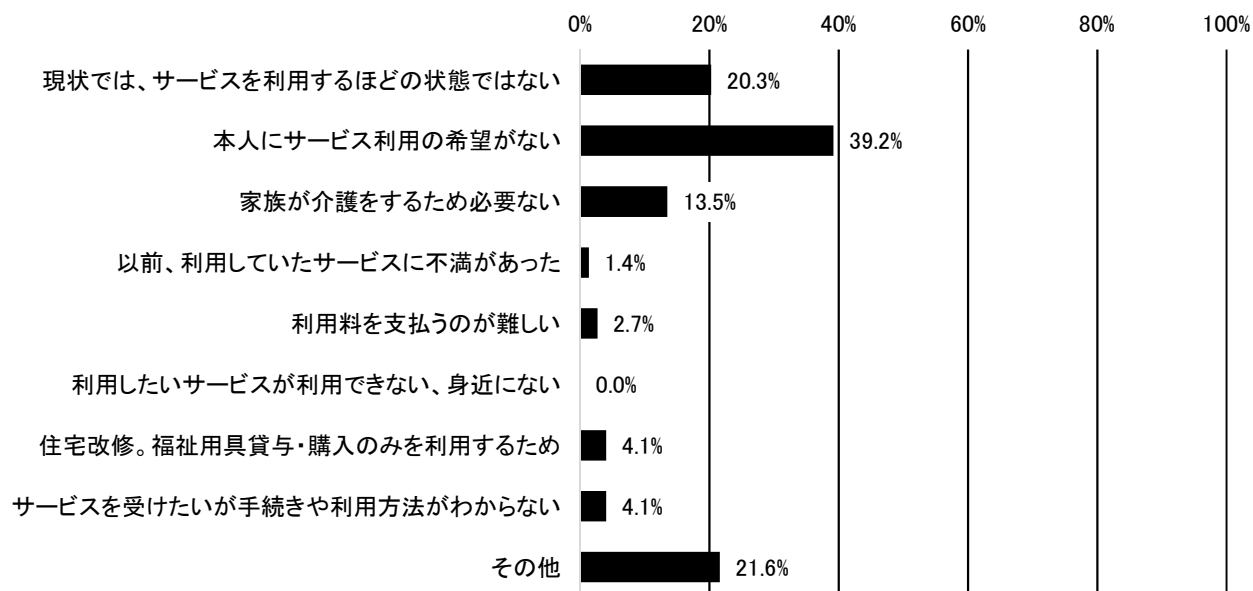


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	260	163	73	70	65	125
利用している	70.8%	69.3%	76.7%	78.6%	60.0%	72.0%
利用していない	28.5%	30.1%	21.9%	21.4%	38.5%	27.2%
無回答	0.8%	0.6%	1.4%	0.0%	1.5%	0.8%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	68	39	63	39	51
利用している	72.1%	69.2%	66.7%	74.4%	72.5%
利用していない	26.5%	30.8%	33.3%	23.1%	27.5%
無回答	1.5%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%

**A 問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)
※利用していない人**

「本人にサービス利用の希望がない」が 39.2%と最も高く、次いで「その他」(21.6%)、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(20.3%)と続いている。

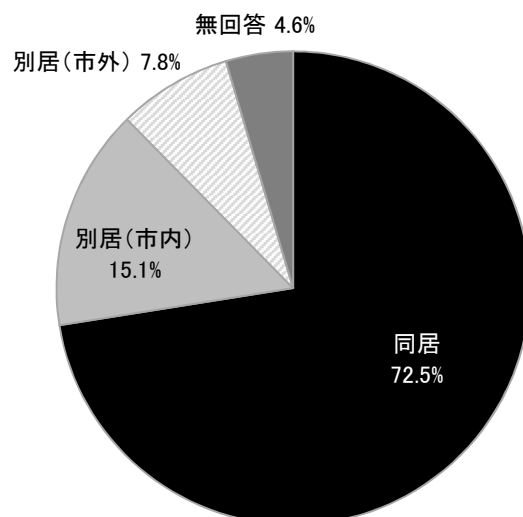


n=74

3-2 主な介護者について

B 問1 主な介護者の方はどちらにお住まいですか(1つに○)

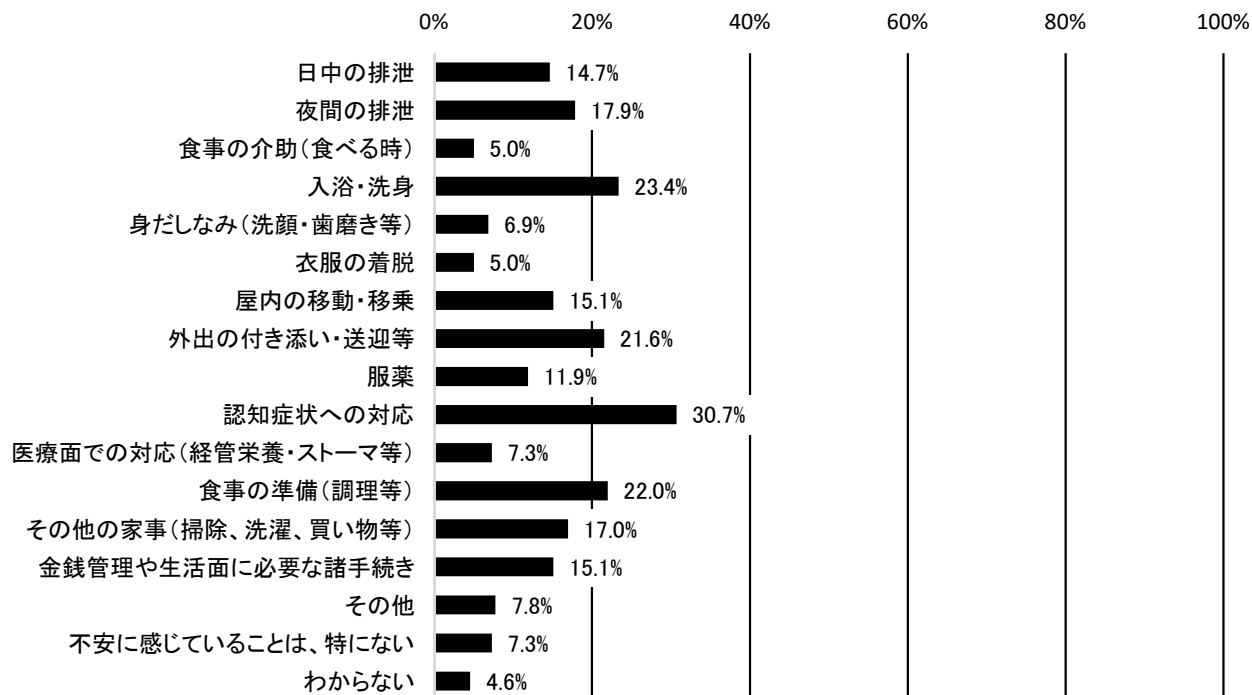
「同居」が72.5%と最も高く、次いで「別居(市内)」(15.1%)、「別居(市外)」(7.8%)と続いている。



n=218

B 問2 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(最大3つまで○)

「認知症状への対応」が 30.7%と最も高く、次いで「入浴・洗身」(23.4%)、「食事の準備(調理等)」(22.0%)と続いている。



n=218

	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	218	131	68	39	57	122
日中の排泄	14.7%	11.5%	23.5%	12.8%	10.5%	17.2%
夜間の排泄	17.9%	13.7%	30.9%	17.9%	14.0%	19.7%
食事の介助(食べる時)	5.0%	3.8%	7.4%	12.8%	1.8%	4.1%
入浴・洗身	23.4%	22.1%	25.0%	30.8%	22.8%	21.3%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6.9%	5.3%	11.8%	12.8%	5.3%	5.7%
衣服の着脱	5.0%	4.6%	7.4%	5.1%	5.3%	4.9%
屋内の移動・移乗	15.1%	16.0%	16.2%	17.9%	12.3%	15.6%
外出の付き添い・送迎等	21.6%	21.4%	16.2%	20.5%	22.8%	21.3%
服薬	11.9%	14.5%	8.8%	12.8%	12.3%	11.5%
認知症状への対応	30.7%	38.9%	23.5%	28.2%	33.3%	30.3%
医療面での対応(経管栄養・ストーマ等)	7.3%	6.1%	10.3%	5.1%	3.5%	9.8%
食事の準備(調理等)	22.0%	25.2%	16.2%	15.4%	22.8%	23.8%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	17.0%	18.3%	11.8%	20.5%	15.8%	16.4%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	15.1%	16.0%	14.7%	20.5%	14.0%	13.9%
その他	7.8%	9.2%	5.9%	7.7%	12.3%	5.7%
不安に感じていることは、特にない	7.3%	5.3%	8.8%	7.7%	10.5%	5.7%
わからない	4.6%	5.3%	4.4%	0.0%	1.8%	7.4%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	51	34	53	34	44
日中の排泄	27.5%	20.6%	28.3%	23.5%	25.0%
夜間の排泄	17.6%	8.8%	13.2%	20.6%	13.6%
食事の介助	13.7%	11.8%	9.4%	8.8%	9.1%
入浴・洗身	21.6%	23.5%	22.6%	26.5%	31.8%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	41.2%	29.4%	34.0%	32.4%	29.5%
衣服の着脱	43.1%	26.5%	35.8%	32.4%	27.3%
屋内の移乗・異動	23.5%	26.5%	32.1%	32.4%	27.3%
外出の付き添い、送迎等	62.7%	55.9%	67.9%	61.8%	63.6%
服薬	47.1%	41.2%	49.1%	47.1%	43.2%
認知症状への対応	33.3%	29.4%	35.8%	38.2%	25.0%
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	3.9%	0.0%	7.5%	8.8%	6.8%
食事の準備(調理等)	64.7%	85.3%	79.2%	76.5%	56.8%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	82.4%	88.2%	88.7%	82.4%	72.7%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	60.8%	70.6%	71.7%	70.6%	84.1%
その他	3.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
わからない	2.0%	0.0%	1.9%	2.9%	2.3%

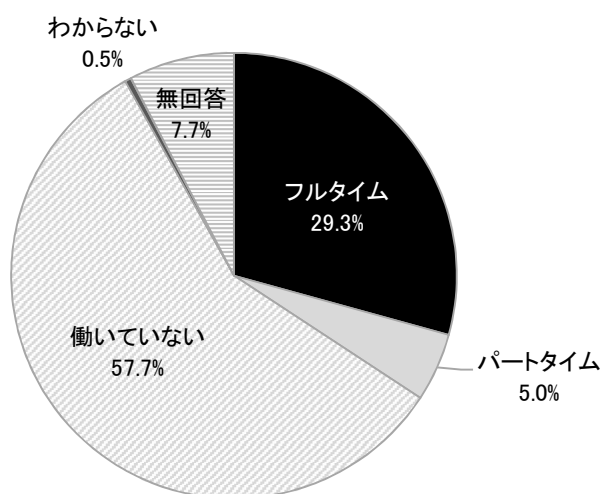
B 問3

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つに○)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い」場合が該当し、いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等も含む

※自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択

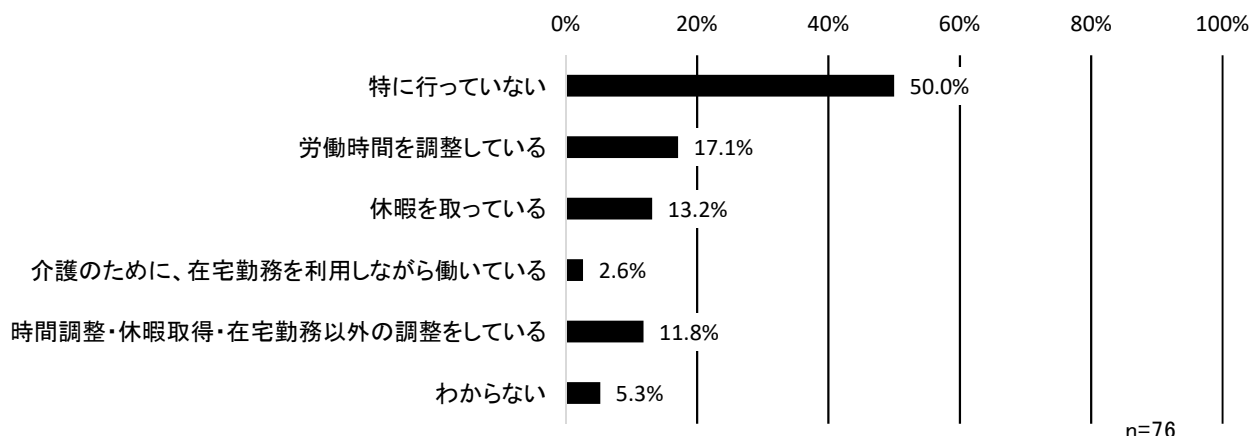
「働いていない」が 57.7%と最も高く、次いで「フルタイム」(29.3%)、「無回答」(7.7%)と続いている。



n=218

B 問4 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(あてはまるものすべてに○)
 ※「フルタイム」、「パートタイム」の人

「特に行っていない」が 50.0%と最も高く、次いで「労働時間を調整している」(17.1%)、「休暇を取っている」(13.2%)と続いている。

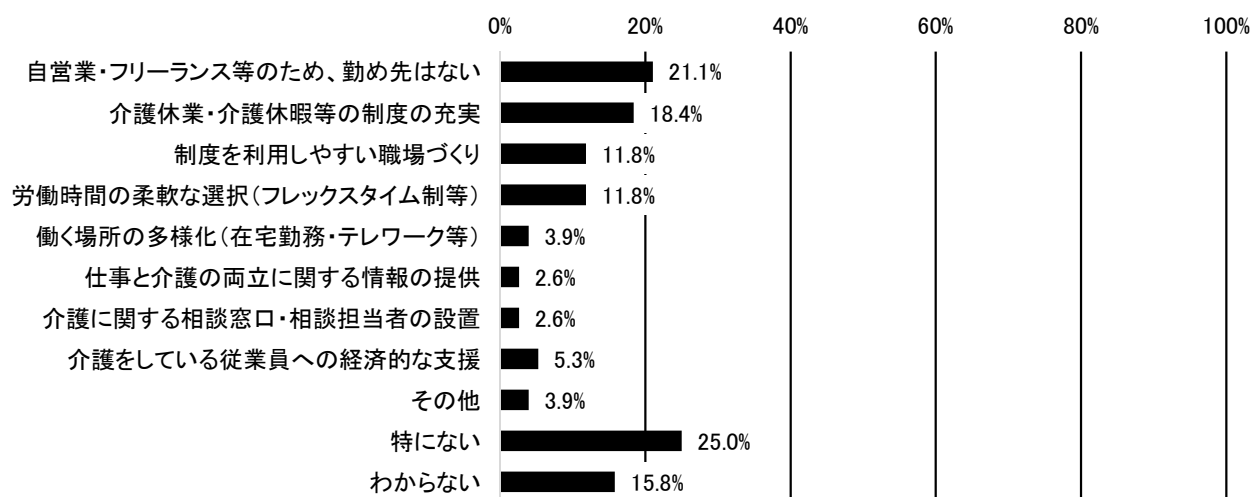


	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	76	49	18	25	7	46
特に行っていない	50.0%	49.0%	38.9%	68.0%	42.9%	39.1%
労働時間を調整している	17.1%	18.4%	11.1%	20.0%	14.3%	15.2%
休暇を取っている	13.2%	12.2%	16.7%	8.0%	14.3%	15.2%
介護のために、在宅勤務をしながら働いている	2.6%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
時間調整・休暇取得・在宅勤務以外の調整をしている	11.8%	12.2%	22.2%	4.0%	28.6%	17.4%
わからない	5.3%	4.1%	11.1%	0.0%	0.0%	8.7%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	14	13	23	14	14
特に行っていない	64.3%	23.1%	43.5%	42.9%	71.4%
労働時間を調整している	14.3%	15.4%	8.7%	35.7%	14.3%
休暇を取っている	14.3%	15.4%	17.4%	7.1%	7.1%
介護のために、在宅勤務をしながら働いている	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	7.1%
時間調整・休暇取得・在宅勤務以外の調整をしている	7.1%	30.8%	21.7%	7.1%	0.0%
わからない	0.0%	15.4%	4.3%	7.1%	0.0%

B 問5 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(最大3つまで○)
 ※「フルタイム」、「パートタイム」の人

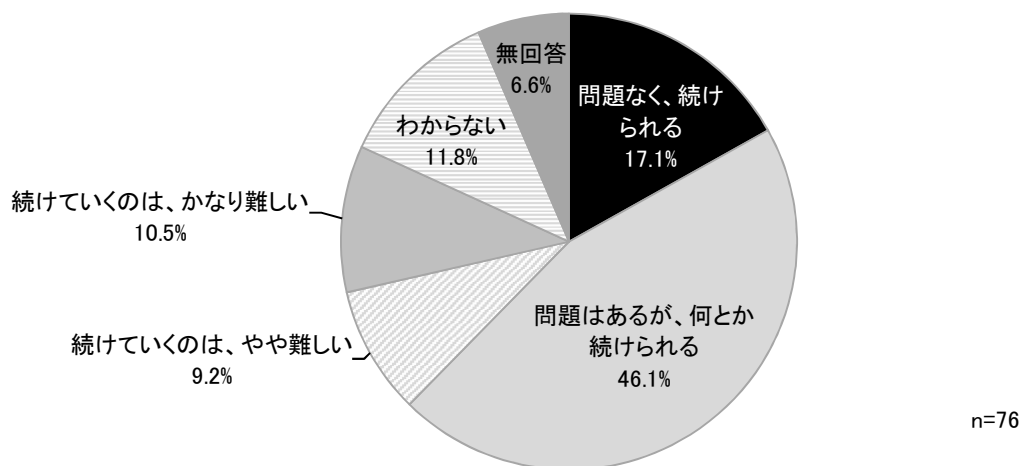
「特にない」が 25.0%と最も高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(21.1%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(18.4%)、「わからない」(15.8%)と続いている。



n=76

B 問6 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つに○)
 ※「フルタイム」、「パートタイム」の人

「問題はあるが、何とか続けられる」が 46.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けられる」(17.1%)、「わからない」(11.8%)、「続けていくのは、かなり難しい」(10.5%)、「続けていくのは、やや難しい」(9.2%)と続いている。



	全体	要介護度		家族構成		
		要介護 1・2	要介護 3以上	単身世帯	夫婦のみ 世帯	その他
<回答者数>	76	45	18	22	8	42
問題なく、続けられる	17.1%	24.4%	0.0%	22.7%	12.5%	16.7%
問題はあるが、何とか続けられる	46.1%	40.0%	66.7%	45.5%	75.0%	45.2%
続けていくのは、やや難しい	9.2%	11.1%	11.1%	13.6%	0.0%	9.5%
続けていくのは、かなり難しい	10.5%	11.1%	16.7%	9.1%	0.0%	14.3%
わからない	11.8%	13.3%	5.6%	9.1%	12.5%	14.3%
無回答	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	居住地域				
	東地区	西地区	南地区	北地区	中央地区
<回答者数>	13	12	21	12	14
問題なく、続けられる	15.4%	8.3%	28.6%	0.0%	28.6%
問題はあるが、何とか続けられる	61.5%	33.3%	38.1%	66.7%	50.0%
続けていくのは、やや難しい	7.7%	8.3%	9.5%	8.3%	14.3%
続けていくのは、かなり難しい	15.4%	8.3%	19.0%	8.3%	0.0%
わからない	0.0%	41.7%	4.8%	16.7%	7.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

第4章

介護人材確保に関する調査 集計結果

4-1 調査対象事業所の状況について

① サービス種別ごと回答事業所数

「認知症対応型共同生活介護」が 21.3%と最も多く、次いで「通所介護」(20.0%)、「訪問介護」及び「地域密着型通所介護」(13.3%)と続いている。

●居宅サービス

サービス種別	事業所数	割合
訪問介護	10	13.3%
訪問入浴介護	0	0.0%
訪問看護	4	5.3%
通所介護	15	20.0%
通所リハビリテーション	3	4.0%
短期入所生活介護	0	0.0%
特定施設入居者生活介護	4	5.3%

●地域密着型サービス

サービス種別	事業所数	割合
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0%
地域密着型通所介護	10	13.3%
認知症対応型通所介護	-	-
小規模多機能型居宅介護	2	2.7%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
認知症対応型共同生活介護	16	21.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	2.7%

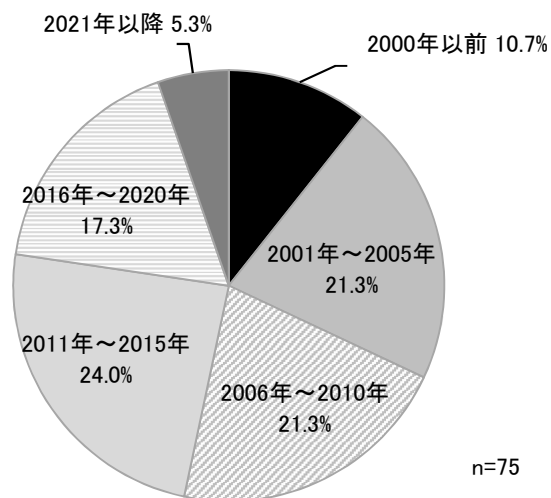
●施設サービス

サービス種別	事業所数	割合
介護老人福祉施設	5	6.7%
介護老人保健施設	1	1.3%
介護療養型医療施設・介護医療院	-	-
住宅型有料老人ホーム	2	2.7%
サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0%
軽費老人ホーム	0	0.0%
無回答	1	1.3%

② 開設年

「2011年～2015年開設」が24.0%と最も多く、次いで「2001年～2005年開設」及び「2006年～2010年開設」が21.3%と続いている。

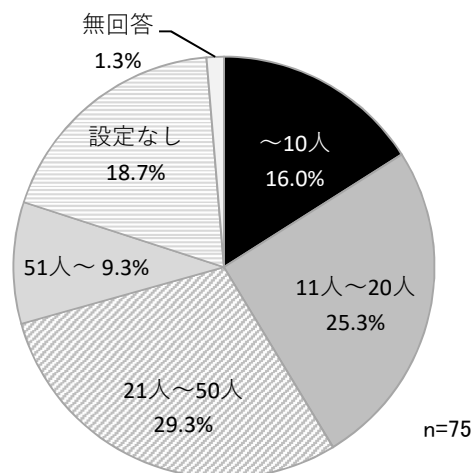
開設年	事業所数	割合
2000年以前	8	10.7%
2001年～2005年	16	21.3%
2006年～2010年	16	21.3%
2011年～2015年	18	24.0%
2016年～2020年	13	17.3%
2021年以降	4	5.3%



③ 定員数

「21人～50人」が29.3%と最も多く、次いで「11人～20人」が25.3%となっている。

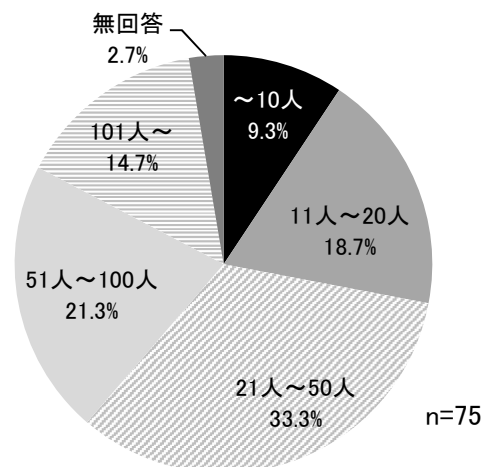
定員数	事業所数	割合
～10人	12	16.0%
11人～20人	19	25.3%
21人～50人	22	29.3%
51人～	7	9.3%
設定なし	14	18.7%
無回答	1	1.3%



④ 実利用者数(1週間の平均的な実利用者数)

「21人～50人」が33.3%と最も多く、次いで「51人～100人」が21.3%となっている。

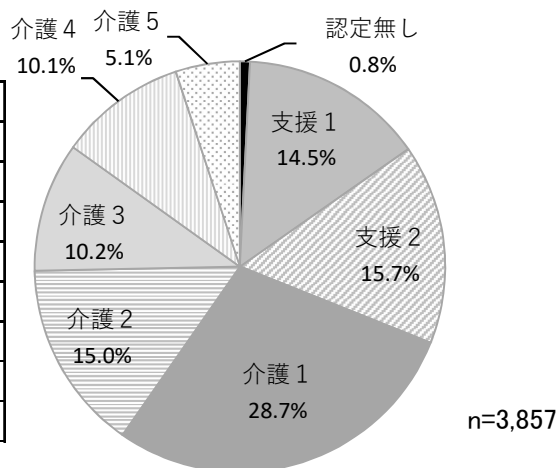
実利用者数	事業所数	割合
～10人	7	9.3%
11人～20人	14	18.7%
21人～50人	25	33.3%
51人～100人	16	21.3%
101人～	11	14.7%
無回答	2	2.7%



⑤ 実利用者の要介護度

「要介護1」の利用者が28.7%と最も多く、次いで「要支援2」(15.7%)、「要介護2」(15.0%)、「要支援1」(14.5%)と続いている。

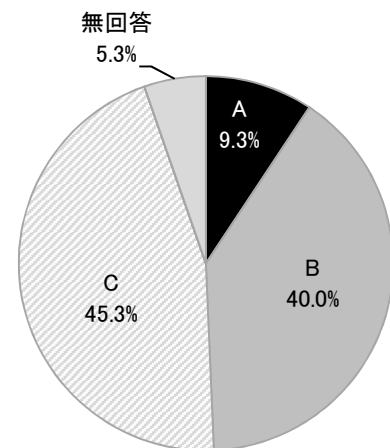
実利用者の要介護度	人数	割合
認定無し	30	0.8%
要支援1	560	14.5%
要支援2	607	15.7%
要介護1	1,106	28.7%
要介護2	577	15.0%
要介護3	394	10.2%
要介護4	388	10.1%
要介護5	195	5.1%



⑥ 介護職員の過不足状況

C:「人員配置基準は満たしているが、十分ではない」(45.3%)、B:「人員配置基準の職員を雇用しており、不足は感じていない」(40.0%)が多く、A「人員配置基準以上の職員を雇用し、余裕をもった運営をしている」は9.3%に留まっている。

介護職員の過不足状況	事業所数	割合
A: 人員配置基準以上の職員を雇用し 余裕をもった運営をしている	7	9.3%
B: 人員配置基準の職員を雇用しており 不足は感じていない	30	40.0%
C: 人員配置基準は満たしているが 十分ではない	34	45.3%
D: 人員配置基準を満たしていないため 開所日数や利用定員数を制限している	0	0.0%
E: その他	0	0.0%
無回答	4	5.3%

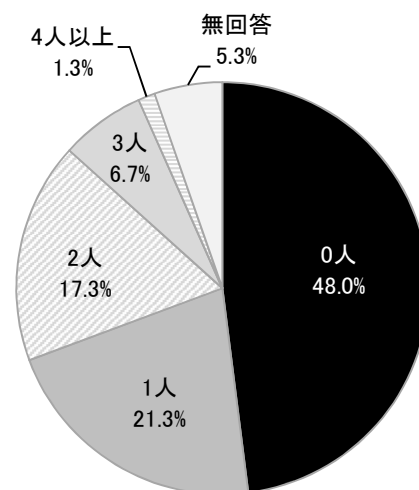


n=75

⑦ 追加すべき介護職員数

「0人」が48.0%と最も多く、次いで「1人」(21.3%)、「2人」(17.3%)と続いている。

追加すべき介護職員数	事業所数	割合
0人	36	48.0%
1人	16	21.3%
2人	13	17.3%
3人	5	6.7%
4人以上	1	1.3%
無回答	4	5.3%



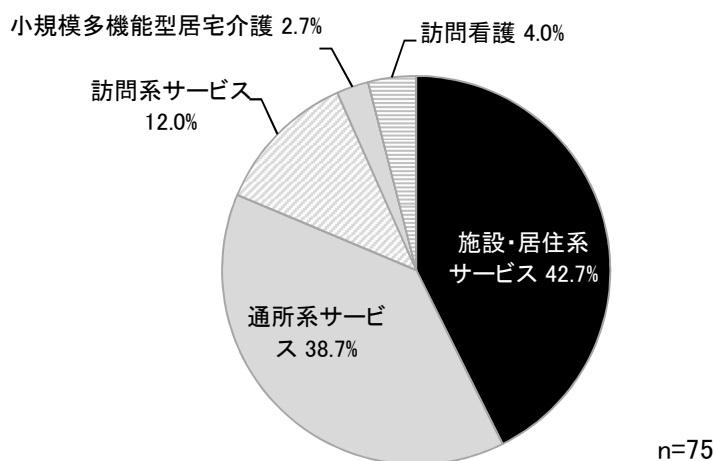
n=75

4-2 介護人材の実態について

問1 該当するサービス種別(介護予防も含む)、をご回答ください。

回答事業所のうち、「施設・居住系サービス」が42.7%、「通所系サービス」が38.7%となっている。

サービス種別	事業所数	割合
施設・居住系サービス	32	42.7%
通所系サービス	29	38.7%
訪問系サービス	9	12.0%
小規模多機能型居宅介護	2	2.7%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
訪問看護	3	4.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0%



※【施設・居住系サービス】

特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設(地域密着型含む)、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム

【通所系サービス】

通所介護(地域密着型含む)、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス(総合事業)

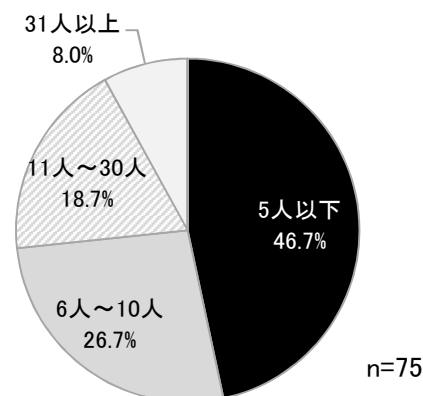
【訪問系サービス】

訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業)

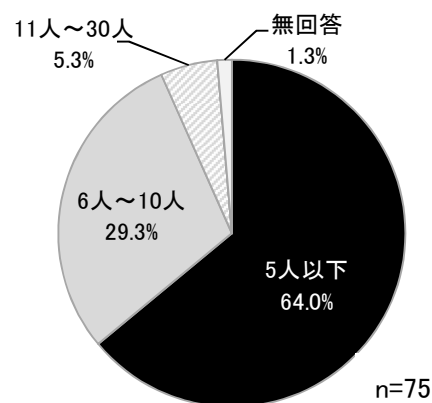
問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。

正規職員・非正規職員共に「5人以下」の事業所・施設が最も多い。

正規職員	事業所数	割合
5人以下	35	46.7%
6人～10人	20	26.7%
11人～30人	14	18.7%
31人以上	6	8.0%
無回答	0	0.0%

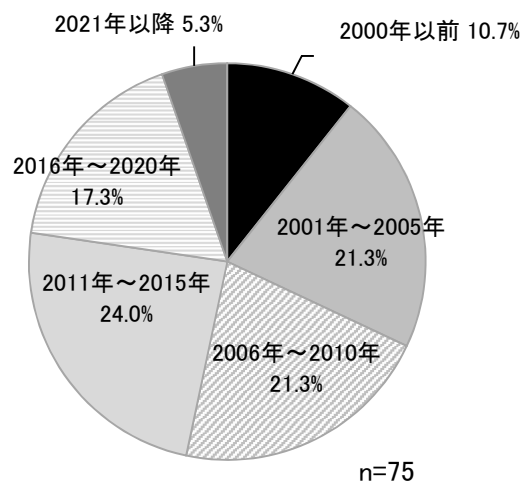


非正規職員	事業所数	割合
5人以下	48	64.0%
6人～10人	22	29.3%
11人～30人	4	5.3%
31人以上	0	0.0%
無回答	1	1.3%



問2-2 事業所・施設の開設時期について、ご記入ください。

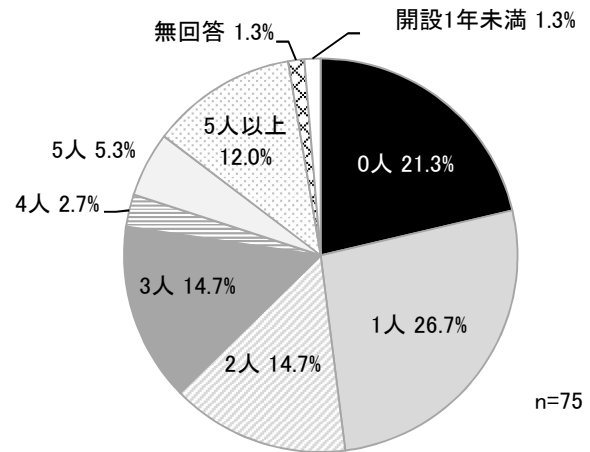
開設年	事業所数	割合
2000年以前	8	10.7%
2001年～2005年	16	21.3%
2006年～2010年	16	21.3%
2011年～2015年	18	24.0%
2016年～2020年	13	17.3%
2021年以降	4	5.3%



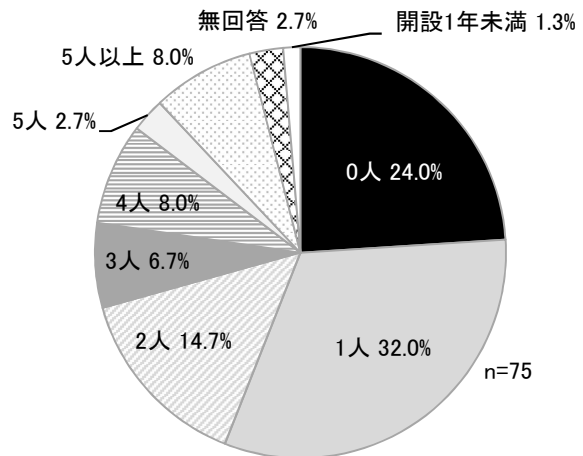
問2-3 過去1年間(令和4年2月1日～令和5年1月31日)の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。※令和5年2月1日時点で開設1年以上の事業所・施設のみ

採用者数・離職者共に「1人」が最も多く(採用者 26.7%、離職者 32.0%)、次いで「0人」(採用者 21.3%、離職者 24.0%)となっている。また、年齢層別に見ると、正規職員については採用者・離職者ともに「40代～50代」が多い。非正規職員については、採用者・離職者ともに「60代」が最も多い。

採用者数	事業所数	割合
0人	16	21.3%
1人	20	26.7%
2人	11	14.7%
3人	11	14.7%
4人	2	2.7%
5人	4	5.3%
5人以上	9	12.0%
無回答	1	1.3%
開設1年未満	1	1.3%



離職者数	事業所数	割合
0人	18	24.0%
1人	24	32.0%
2人	11	14.7%
3人	5	6.7%
4人	6	8.0%
5人	2	2.7%
5人以上	6	8.0%
無回答	2	2.7%
開設1年未満	1	1.3%



【採用者・離職者年齢層別内訳】

採用者	人数	
	正規職員	非正規職員
20歳未満	6	2
20～29歳	19	8
30～39歳	19	6
40～49歳	28	14
50～59歳	28	9
60～69歳	13	16
70～79歳	1	1
年齢不明	0	0

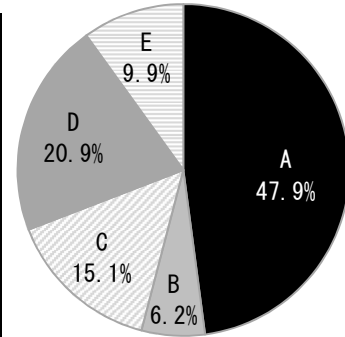
離職者	人数	
	正規職員	非正規職員
20歳未満	1	2
20～29歳	15	7
30～39歳	17	4
40～49歳	21	6
50～59歳	26	11
60～69歳	13	15
70～79歳	2	4
年齢不明	0	0

問3 事業所・施設に所属している介護職員全員(非常勤含む。ボランティアの方を除く)について、お答えください。

(1) 資格の取得、研修の終了の状況

「介護福祉士(認定介護福祉士を含む)」が47.9%人と最も多い。

資格・研修	人数	割合
A:介護福祉士(認定介護福祉士を含む)	506	47.9%
B:介護職員実務者研修終了 または(旧)介護職員基礎研修終了 または(旧)ヘルパー1級	65	6.2%
C:介護職員初任者研修終了 または(旧)ヘルパー2級	159	15.1%
D:上記のいずれも該当しない	221	20.9%
E:無回答	105	9.9%

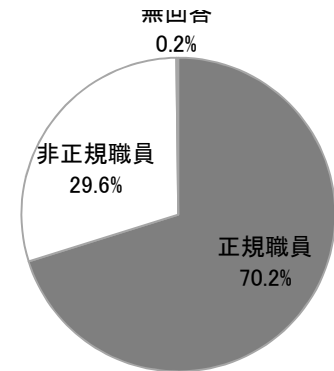


n=1,056

(2) 雇用の形態

「正規職員」が約7割、「非正規職員」が約3割となっている。

雇用の形態	人数	割合
正規職員	741	70.2%
非正規職員	313	29.6%
無回答	2	0.2%

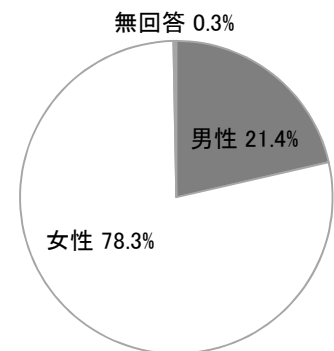


n=1,056

(3) 性別

「男性」が約2割、「女性」が約8割となっている

性別	人数	割合
男性	226	21.4%
女性	827	78.3%
無回答	3	0.3%

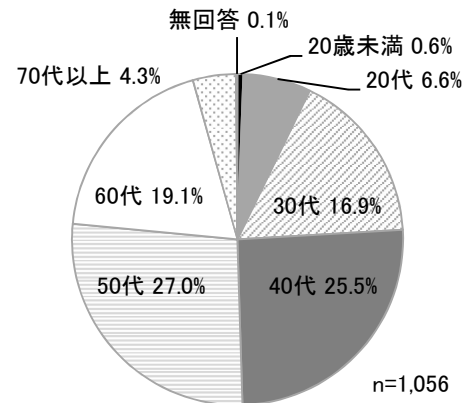


n=1,056

(4) 年齢

「50代」が27.0%と最も多く、次いで「40代」(25.5%)、「60代」(19.1%)と続いている。

年齢	人数	割合
20歳未満	6	0.6%
20代	70	6.6%
30代	178	16.9%
40代	269	25.5%
50代	285	27.0%
60代	202	19.1%
70代以上	45	4.3%
年齢不明	0	0.0%
無回答	1	0.1%

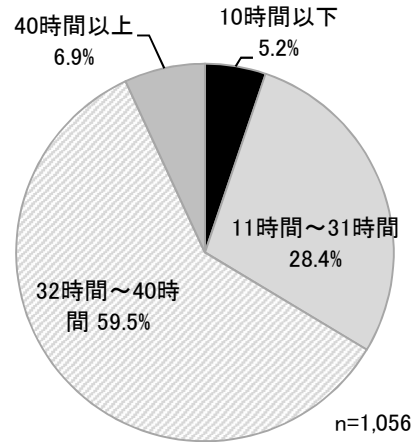


n=1,056

(5) 過去1週間の勤務時間

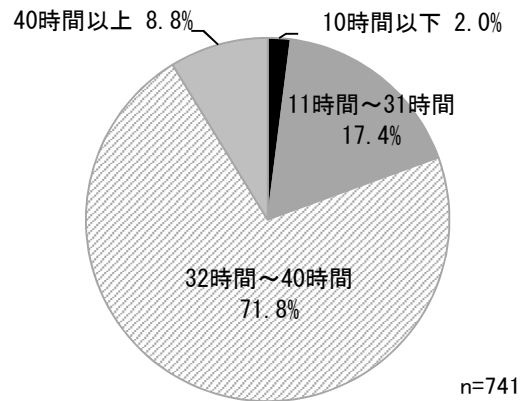
約6割が「32時間～40時間」の勤務となっている。また、雇用形態別にみると、正規雇用は「32時間～40時間」の勤務が最も多いのに対し、非正規雇用は「11時間～31時間」の勤務が最も多くなっている。

1週間の勤務時間	人数	割合
10時間以下	55	5.2%
11時間～31時間	300	28.4%
32時間～40時間	628	59.5%
40時間以上	73	6.9%



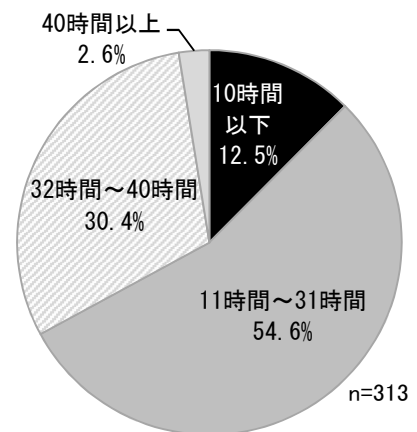
【正規職員】

1週間の勤務時間	人数	割合
10時間以下	15	2.0%
11時間～31時間	129	17.4%
32時間～40時間	532	71.8%
40時間以上	65	8.8%



【非正規職員】

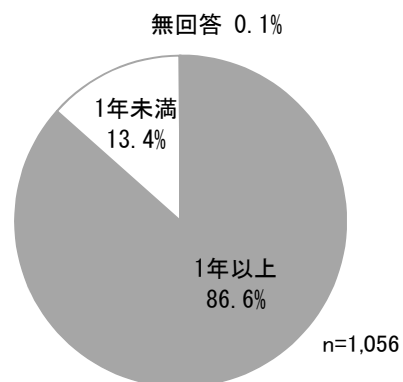
1週間の勤務時間	人数	割合
10時間以下	39	12.5%
11時間～31時間	171	54.6%
32時間～40時間	95	30.4%
40時間以上	8	2.6%



(6) 現在の事業所・施設での勤務年数

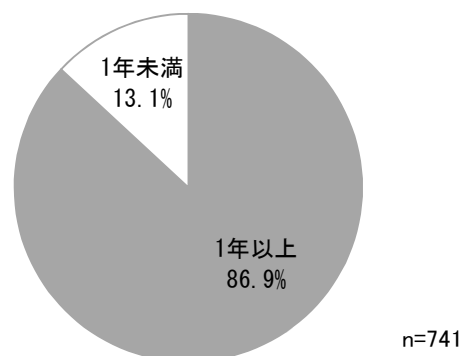
85%以上の職員が現在の事業所・施設で1年以上勤務を継続している。雇用形態による勤務年数の差は見られない。

勤務年数	人数	割合
1年以上	914	86.6%
1年未満	141	13.4%
無回答	1	0.1%



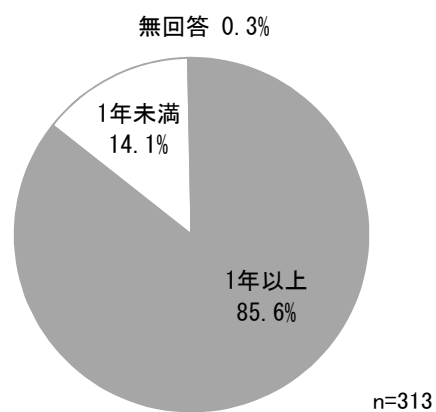
【正規職員】

勤務年数	人数	割合
1年以上	644	86.9%
1年未満	97	13.1%
無回答	0	0.0%



【非正規職員】

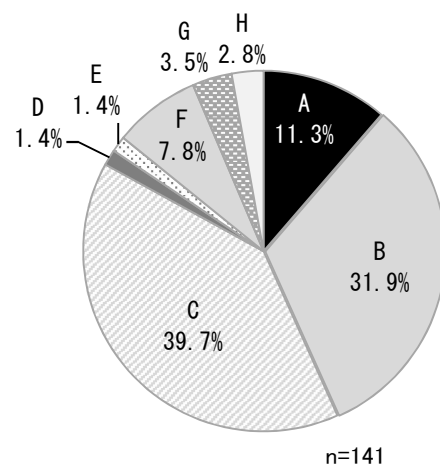
勤務年数	人数	割合
1年以上	268	85.6%
1年未満	44	14.1%
無回答	1	0.3%



(7) 現在の事業所・施設に勤務する直前の職場(地域密着型を含む)

「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の介護施設」で就労していた職員が 39.7%と最も多く、次いで「介護以外の職場」で就労していた職員(31.9%)が多い。

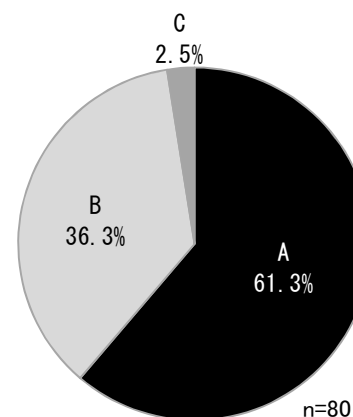
直前の職場	人数	割合
A:現在の職場が初めての勤務先	16	11.3%
B:介護以外の職場	45	31.9%
C:特養、老健、療養型、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	56	39.7%
D:訪問介護・入浴、夜間対応型	2	1.4%
E:小多機、看多機、定期巡回	2	1.4%
F:通所介護、通所リハ、認知症デイ	11	7.8%
G:住宅型有料、サ高住(特定施設以外)	5	3.5%
H:その他の介護サービス	4	2.8%



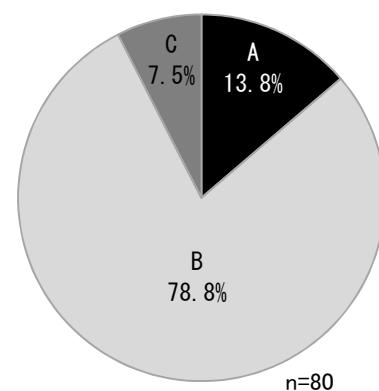
(8) 直前の職場について

設置市町村別で見ると、直前まで「同一市内での事業所・施設」で就労していた職員が 61.3%である。法人・グループ別で見ると、「現在の法人・グループとは別の事業所・施設」で就労していた職員が 78.8%である。

直前の職場	人数	割合
A:現在の事業所・施設と同一の市区町村内	49	61.3%
B:現在の事業所・施設と別の市区町村内	29	36.3%
C:無回答	2	2.5%



直前の職場	人数	割合
A:現在の事業所・施設と同一の法人・グループ	11	13.8%
B:現在の事業所・施設と別の法人・グループ	63	78.8%
C:無回答	6	7.5%



4-3 介護人材の確保について

問1 採用・離職の状況について

問1-1 現在の事業所・施設への応募者が重視した要素として想定されるものを、設問項目ごとに選択肢からあてはまるもの一つを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

1. 非常に重視したと思う
2. ある程度重視したと思う
3. あまり重視していなかったと思う
4. まったく重視していなかったと思う

「賃金水準と労働時間・休日等の労働条件」については、約90%が「非常に重視したと思う」もしくは「ある程度重視したと思う」と回答した。

「キャリアアップの機会」と「教育訓練・能力開発のあり方」、「事業所の理念・方針」については、いずれも36.5%が「あまり重視していなかったと思う」もしくは「まったく重視していなかったと思う」と回答した。

設問項目	1	2	3	4	無回答
①キャリアアップの機会	13 17.6%	32 43.2%	27 36.5%	0 0.0%	2 2.7%
②賃金水準	22 29.7%	44 59.5%	6 8.1%	0 0.0%	2 2.7%
③労働時間・休日等の労働条件	30 40.5%	39 52.7%	3 4.1%	0 0.0%	2 2.7%
④人事評価・処遇のあり方	11 14.9%	39 52.7%	21 28.4%	1 1.4%	2 2.7%
⑤立地条件(通勤利便性)	17 23.0%	35 47.3%	20 27.0%	0 0.0%	2 2.7%
⑥人間関係・雰囲気	26 35.1%	35 47.3%	10 13.5%	1 1.4%	2 2.7%
⑦雇用の安定性	22 29.7%	41 55.4%	9 12.2%	0 0.0%	2 2.7%
⑧福利厚生	10 13.5%	40 54.1%	18 24.3%	4 5.4%	2 2.7%
⑨教育訓練・能力開発のあり方	6 8.1%	39 52.7%	24 32.4%	3 4.1%	2 2.7%
⑩知識や経験の活用可能性	12 16.2%	44 59.5%	14 18.9%	2 2.7%	2 2.7%
⑪周囲(家族等)からの評判	12 16.2%	38 51.4%	21 28.4%	1 1.4%	2 2.7%
⑫事業所の理念・方針	13 17.6%	32 43.2%	22 29.7%	5 6.8%	2 2.7%

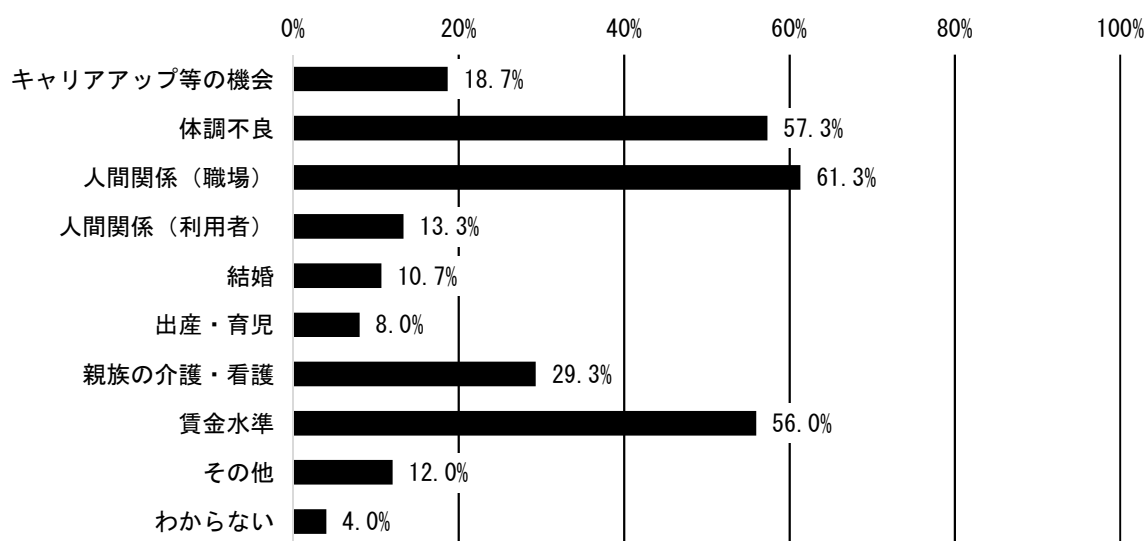
n=74

問1-2 事業所・施設において、介護職員が離職するケースの理由として想定されるもの(実際に離職があった場合の理由も含めて)、影響が大きいと考えられるものを選択肢から上位3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

[選択肢]

1. キャリアアップ等の機会
2. 体調不良
3. 職員・同僚との人間関係
4. 利用者やその家族との人間関係
5. 結婚
6. 出産・育児
7. 親族の介護・看護
8. 賃金水準
9. その他
10. わからない

「職場の人間関係」が61.3%と最も高く、次いで「体調不良」(57.3%)、「賃金水準」(56.0%)と続いている。



n=74

問1-3 事業所・施設が所在する地域において、介護人材の確保が困難になっている要因として想定されるものの影響度に対する認識について、設問項目ごとに選択肢からあてはまるもの一つを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

1. 非常に影響がある 2. 多少影響がある 3. あまり影響はない
4. まったく影響はない又はあてはまらない

地域や法人にかかる問題としては、「地域の労働人口が減少しているため」が「非常に影響がある」もしくは「多少影響がある」と回答した事業所・施設が82.4%にのぼる。「地域内の労働力が他の地域に流出しているため」は75.7%であった。

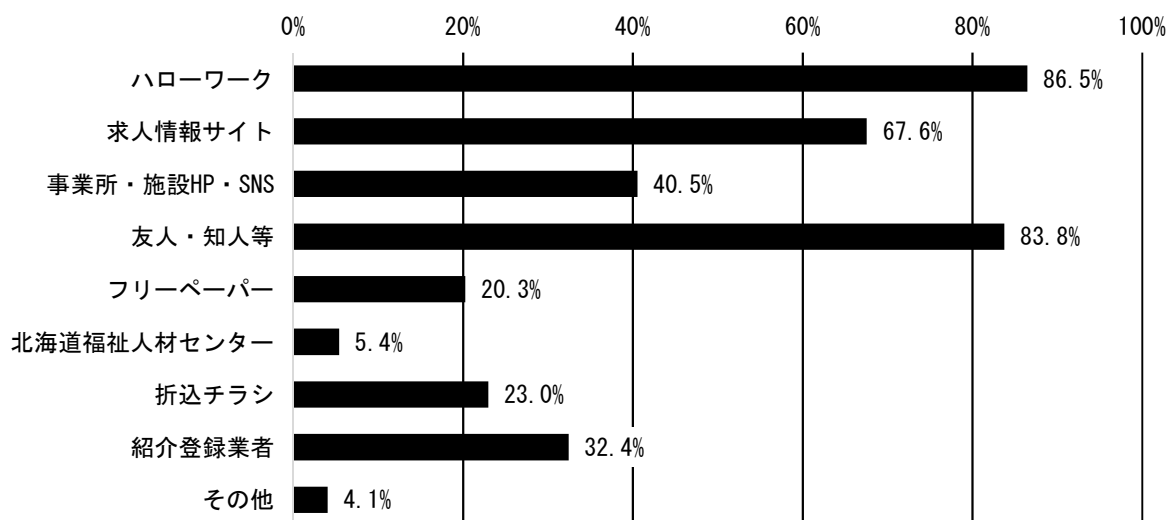
求職者にかかる問題としては「介護業界についてのマイナスイメージ」が「非常に影響がある」もしくは「多少影響がある」と回答した事業所・施設が79.8%にのぼり、「希望する人材要件に合致する人材が不足しているため」は75.7%であった。

設問項目	1	2	3	4	無回答
①地域の労働人口が減少しているため	25 33.8%	36 48.6%	10 13.5%	1 1.4%	2 2.7%
②地域内の労働力が他の地域(近隣市町村)に流出しているため	17 23.0%	39 52.7%	16 21.6%	0 0.0%	2 2.7%
③地域内に介護事業所・施設、事業者が増加しているため	14 18.9%	31 41.9%	23 31.1%	4 5.4%	2 2.7%
④新設の事業所・施設(他の法人)への転職者が増加しているため	4 5.4%	27 36.5%	37 50.0%	4 5.4%	2 2.7%
⑤介護業界以外への転職者が増加しているため	6 8.1%	34 45.9%	30 40.5%	2 2.7%	2 2.7%
⑥事業所・施設の立地条件がよくないため	0 0.0%	17 23.0%	45 60.8%	9 12.2%	3 4.1%
⑦事業所・施設のPR不足のため	2 2.7%	23 31.1%	45 60.8%	1 1.4%	3 4.1%
⑧地域の評判が良くない、良好な人間関係が作れないため	3 4.1%	8 10.8%	47 63.5%	13 17.6%	3 4.1%
⑨運営体制、職員育成体制に課題があるため	4 5.4%	11 14.9%	48 64.9%	8 10.8%	3 4.1%
⑩希望する人材要件に合致する人材が不足しているため	16 21.6%	40 54.1%	15 20.3%	1 1.4%	2 2.7%
⑪介護業界についてのマイナスイメージ	21 28.4%	38 51.4%	12 16.2%	1 1.4%	2 2.7%
⑫定員割れで養成校からの採用が困難	11 14.9%	23 31.1%	32 43.2%	6 8.1%	2 2.7%
⑬シフト勤務や夜勤等の不規則勤務を敬遠(日勤施設を選ぶ傾向)	15 20.3%	26 35.1%	23 31.1%	8 10.8%	2 2.7%
⑭介護度の低い利用者が多い事業所・施設を選ぶ傾向	5 6.8%	28 37.8%	33 44.6%	6 8.1%	2 2.7%

n=742.7%

問1-4 採用に関する情報発信ルートとして活用されているものを選択肢からあてはまるもの全てを選び、回答欄に番号を記入してください。
 [選択肢]
 1. ハローワーク 2. 求人情報サイト 3. 事業所・施設 HP や SNS(フェイスブック、ブログ)
 4. 友人・知人等 5. フリーペーパー 6. 北海道福祉人材センター 7. 折込チラシ
 8. 紹介登録業者 9. その他

「ハローワーク」が86.5%と最も多く、次いで「友人・知人等」が83.8%と続いている。



n=74

問1-5 事業所・施設における人材の活用への取組状況(雇用形態は問わない)について、設問項目ごとに選択肢からあてはまるもの一つを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

1. 積極的に取組んでいる 2. ある程度は取組んでいる
3. 取組んでいないが今後取組みたい 4. 取組んでおらず、今後も取組む予定はない

「高齢者(60歳以上)活用」、「子育て層の活用」については「積極的に取組んでいる」もしくは「ある程度は取組んでいる」と回答した事業所、施設がそれぞれ70%超にのぼる。また、「障がい者の雇用」については「取組んでいないが、今後取組みたい」と回答した事業所が41.9%だった。「外国人の活用」については52.7%が「取組んでおらず、今後も取組む予定はない」と回答した。

設問項目	1	2	3	4	無回答
①高齢者(60歳以上)の活用	33 44.6%	33 44.6%	3 4.1%	2 2.7%	3 4.1%
②外国人の活用	6 8.1%	2 2.7%	24 32.4%	39 52.7%	3 4.1%
③子育て層の活用	27 36.5%	28 37.8%	13 17.6%	3 4.1%	3 4.1%
④障がい者の活用	3 4.1%	16 21.6%	31 41.9%	20 27.0%	4 5.4%

n=74

問2 職員の「確保」と「定着・離職防止」に関する取組みについて

問2-1 職員の「確保」に関する独自の取組みについて、設問項目ごとに選択肢からあてはまるもの一つを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

実施しており、職員の確保に 1. 非常に効果があると思う 2. 効果があると思う
 3. あまり効果がないと思う 4. 効果がないと思う
 5. 実施していない

「非常に効果があると思う」、「効果があると思う」と回答した事業所が多かった取組みは「賃金・労働時間などの求人条件を明確にする」(81.1%)、「時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する」(78.4%)と賃金・待遇にかかる取組みに集中している。

設問項目	1	2	3	4	5	無回答
①事業所・施設HPやSNS(フェイスブック、ブログ)で事業所・施設の個性をアピールする	7 9.5%	37 50.0%	16 21.6%	1 1.4%	10 13.5%	3 4.1%
②事業所・施設の特徴を紹介するパンフレットやチラシを作成する	4 5.4%	38 51.4%	14 18.9%	4 5.4%	11 14.9%	3 4.1%
③インターンシップ(就業希望者に就業体験の機会を提供する制度)を導入する	3 4.1%	32 43.2%	9 12.2%	0 0.0%	27 36.5%	3 4.1%
④一般大学・高校にも訪問して求人活動を行う	5 6.8%	29 39.2%	9 12.2%	2 2.7%	26 35.1%	3 4.1%
⑤地域行事への参加や施設の地域住民への開放等、地域住民との交流を行う	6 8.1%	30 40.5%	14 18.9%	1 1.4%	20 27.0%	3 4.1%
⑥福祉系養成校の実習を積極的に受け入れる	7 9.5%	27 36.5%	9 12.2%	5 6.8%	23 31.1%	3 4.1%
⑦大学や養成校、高校において事業所の職員が講義や説明会を行う	5 6.8%	21 28.4%	12 16.2%	0 0.0%	33 44.6%	3 4.1%
⑧地域の事業所・施設間で職員確保に関する情報交換を行う	4 5.4%	28 37.8%	11 14.9%	0 0.0%	28 37.8%	3 4.1%
⑨賃金体系の見直しを行う	14 18.9%	39 52.7%	10 13.5%	0 0.0%	8 10.8%	3 4.1%
⑩時短勤務など、職員の勤務時間帯や時間数等の求職者の希望を反映できる制度を導入する	11 14.9%	47 63.5%	3 4.1%	0 0.0%	10 13.5%	3 4.1%
⑪賃金、労働時間などの求人条件を明確にする	10 13.5%	50 67.6%	8 10.8%	1 1.4%	2 2.7%	3 4.1%
⑫職員による紹介謝礼金制度を導入する	8 10.8%	33 44.6%	12 16.2%	3 4.1%	15 20.3%	3 4.1%
⑬未経験者・無資格者の採用も積極的に行う	21 28.4%	34 45.9%	9 12.2%	1 1.4%	6 8.1%	3 4.1%
⑭夜勤専従職員を採用する	11 14.9%	18 24.3%	10 13.5%	2 2.7%	30 40.5%	3 4.1%
⑮職場体験や見学を実施する	10 13.5%	34 45.9%	11 14.9%	1 1.4%	15 20.3%	3 4.1%
⑯元職員に働きかけを行う	4 5.4%	27 36.5%	20 27.0%	1 1.4%	19 25.7%	3 4.1%
⑰採用面接時に入職後のキャリアパスの説明をする	6 8.1%	32 43.2%	18 24.3%	1 1.4%	14 18.9%	3 4.1%

n=74

問2-2 職員の「定着・離職防止」に関する独自の取組みについて、設問項目ごとに選択肢からあてはまるもの一つを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

実施しており、職員の確保に 1. 非常に効果があると思う 2. 効果があると思う
 3. あまり効果がないと思う 4. 効果がないと思う
 5. 実施していない

「非常に効果があると思う」、「効果があると思う」と回答した事業所が多かった取組みは「賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする」(75.7%)、「非正規職員から正規職員への転換機会を設ける」(75.7%)と賃金・待遇にかかる取組みに集中している。

そのほか、「資格取得支援を奨励する(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)」(73.0%)や「場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設ける」(73.0%)が効果を感じている事業所が多い。

設問項目	1	2	3	4	5	無回答
①離職防止・モチベーション維持のために定期的に法人内での配置転換を行う	3 4.1%	29 39.2%	15 20.3%	4 5.4%	20 27.0%	3 4.1%
②長期勤続に対して手当支給・報償・メッセージカードの手交を行う	6 8.1%	37 50.0%	10 13.5%	1 1.4%	17 23.0%	3 4.1%
③人事評価制度を明確化し、評価結果のフィードバックを行う	10 13.5%	31 41.9%	14 18.9%	3 4.1%	13 17.6%	3 4.1%
④昇進・昇格に必要な能力を明確にする	8 10.8%	40 54.1%	9 12.2%	1 1.4%	13 17.6%	3 4.1%
⑤従業員に対してキャリアパスを周知する	5 6.8%	38 51.4%	18 24.3%	2 2.7%	8 10.8%	3 4.1%
⑥新人の指導担当者やアドバイザーを置く	7 9.5%	39 52.7%	11 14.9%	1 1.4%	13 17.6%	3 4.1%
⑦経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備する	4 5.4%	38 51.4%	11 14.9%	2 2.7%	16 21.6%	3 4.1%
⑧「介護キャリア段位制度」を活用し、職員の実践的スキルの評価を行う	5 6.8%	26 35.1%	12 16.2%	2 2.7%	26 35.1%	3 4.1%
⑨資格取得支援を奨励する(実習日等の勤務調整や取得費用の助成など)	7 9.5%	47 63.5%	9 12.2%	1 1.4%	7 9.5%	3 4.1%
⑩賃金水準を相場や業務負荷などからみて納得感のあるものとする	15 20.3%	41 55.4%	4 5.4%	1 1.4%	10 13.5%	3 4.1%
⑪勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入する	12 16.2%	37 50.0%	9 12.2%	1 1.4%	12 16.2%	3 4.1%
⑫非正規職員から正規職員への転換機会を設ける	15 20.3%	41 55.4%	9 12.2%	1 1.4%	5 6.8%	3 4.1%
⑬年次有給休暇取得を計画的・組織的に行う	18 24.3%	37 50.0%	8 10.8%	1 1.4%	7 9.5%	3 4.1%
⑭ICTや介護ロボットを導入する	4 5.4%	27 36.5%	19 25.7%	0 0.0%	21 28.4%	3 4.1%
⑮心身の不調でも安心して休職・復帰できる制度を導入する	9 12.2%	46 62.2%	10 13.5%	1 1.4%	5 6.8%	3 4.1%
⑯子育ての場合でも安心して働ける環境(保育費補助や事業所内保育所の設置等)を整備する	6 8.1%	35 47.3%	6 8.1%	1 1.4%	23 31.1%	3 4.1%
⑰悩み・不安などの相談窓口を設ける	8 10.8%	38 51.4%	13 17.6%	1 1.4%	11 14.9%	3 4.1%
⑱職場内のコミュニケーションを図る機会(意見交換会、社内レクリエーション等)を設ける	5 6.8%	49 66.2%	15 20.3%	0 0.0%	2 2.7%	3 4.1%
⑲近隣の介護事業所・施設の職員と交流や情報交換を行う機会を設ける	3 4.1%	29 39.2%	14 18.9%	2 2.7%	23 31.1%	3 4.1%
⑳経営者・管理者と従業員が理念や運営方針を共有する機会を設ける	6 8.1%	41 55.4%	14 18.9%	1 1.4%	9 12.2%	3 4.1%

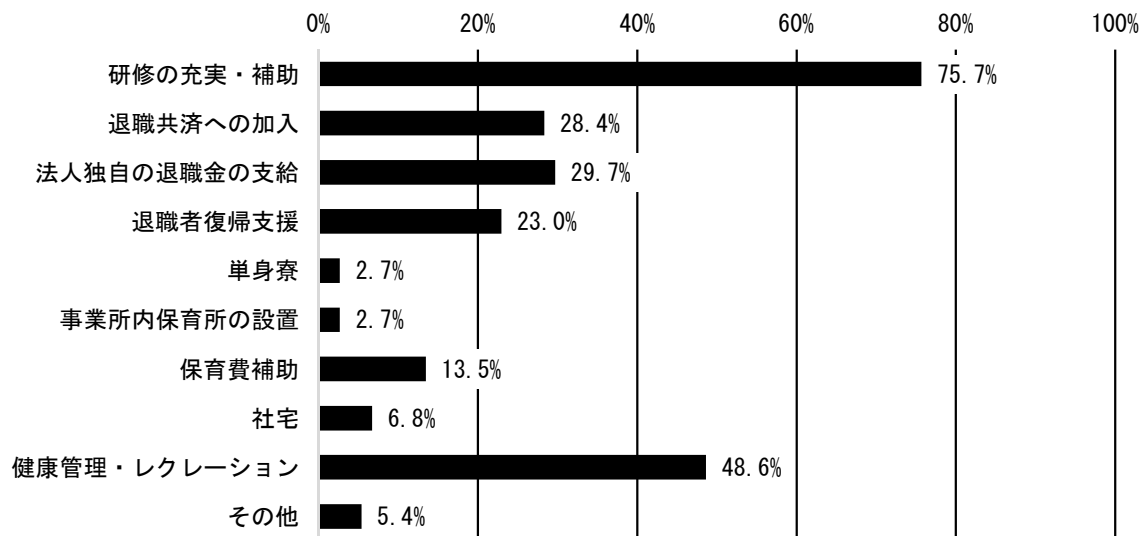
n=74

問2-3 事業所・施設の職員向けの福利厚生の一環として、実施しているものについて、選択肢からあてはまるもの全てを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

- 1. 研修の充実・補助をしている
- 2. 退職共済への加入
- 3. 法人独自の退職金の支給
- 4. 退職者復帰支援
- 5. 単身寮
- 6. 事業所内保育所の設置
- 7. 保育費補助
- 8. 社宅
- 9. 健康管理・レクリエーション
- 10. その他

「研修の充実・補助」が75.7%と最も多く、次いで「健康管理・レクリエーション」(48.6%)が多い。



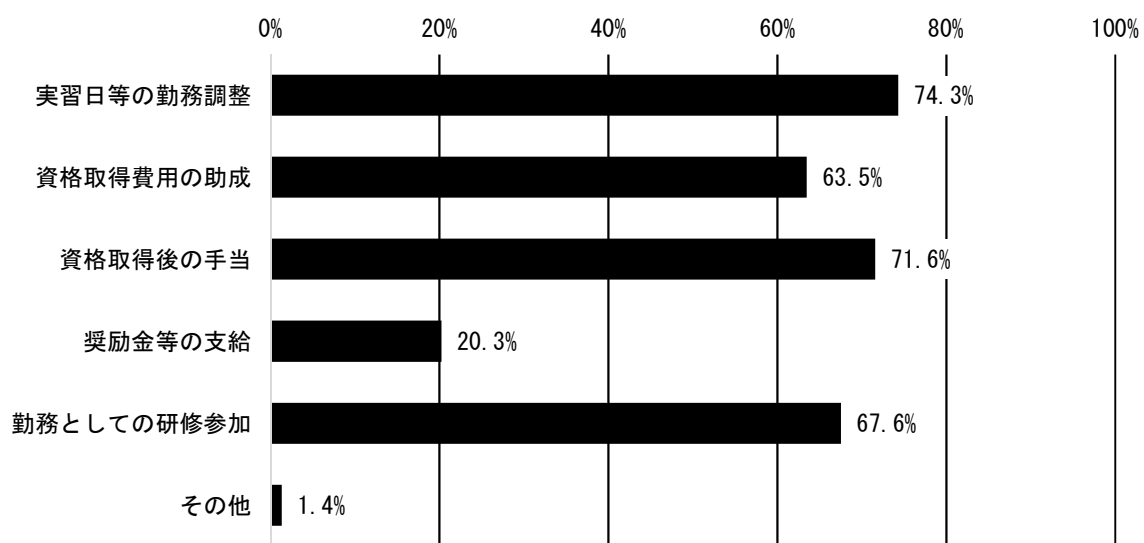
n=74

問2-4 事業所・施設の職員向けの資格取得支援の取組として、実施しているものについて、選択肢からあてはまるもの全てを選び、回答欄に番号を記入してください。

〔選択肢〕

1. 実習日等の勤務調整
2. 資格取得費用の助成
3. 資格取得後の手当(月例賃金に上乘せ)
4. 奨励金等の支給(資格取得祝金等の一時金)
5. 勤務としての研修参加
6. その他

「実習日等の勤務調整」が 74.3%最も多く、次いで「資格取得後の手当(月例賃金に上乘せ)」(71.6%)と続いている。



n=74

問2-5 職員の「確保」に関する取組に対する行政の支援策として有効なものについて、ご意見ご提案があればご記入ください。

- ・同一の事業所で10年勤続した者には国から報酬が出る(現在グループホーム業界では表彰される制度があるが賞状だけなら要らないという職員が多い)。
- ・入職後6か月、1年、3年間、退職せず継続勤務すれば国から報酬が出る。
- ・経営の大規模化、協働化によるネームバリューや安心感。
- ・知識と経験のある指導者が必要。人材育成に関しての時間を確保しなければ、職業に対する自信や楽しみが持てず離職につながる。
- ・有資格者と無資格者の業務内容の線引きが介護業界では不十分。事業所によって(ケアマネの仕事内容等も含めて)大きな差がある為、国が業務内容を厳しく整備する。業務差別化が確立すれば60代や70代でも働けるようになる。
- ・高齢者は多種多様な疾患をかかえているため、各介護事業所が医療との連携やサポートを充足していなくては単なる介護の仕事を目指して入職してきた新人にとっては医療ケア対応や相談などは抱えきれない。
- ・医療、介護職に就く職員自身の医療費や介護費、もしくは税金を安くする。
- ・高齢者と共に過ごす事を職業とする介護の仕事だが、核家族化が進み、若い世代は高齢者への関わりや扱いに慣れていない現状が浮彫りとなっている。介護職への定着や離職防止について根底から考えるのであれば、義務教育での取組みや幼少期からの地域高齢者と触れ合う場を提供するなど意識改革する必要がある。
- ・生活保護受給者で短時間でも働けそうな人材を職業訓練の場として人材の紹介する仕組みがほしい。3カ月等の期間を限定しても構わないので賃金の一部を補助してくれるとなお良い。
- ・市内介護事業所に就職した人に、資格取得の支援・助成金制度。
外国人労働者を地域として受け入れるべき。外国人のコミュニティを作ることで、その地域への労働者定着を図ることができると同時に、個々の施設の人材確保のための負担軽減となる。
- ・現在高齢化社会が進む中で、介護や福祉というものに「ふれる、知る」機会が限られてしまっているのかなと思います。ちょっとしたふれ合いの時間であったり、人と人とが共存するための社会作りというくらい、大切な仕事であるという意義であったり、そういった知る機会が多くなれば各事業所それぞれ人員の確保に繋がるのではと思います。
- ・給与の底上げ。コロナ禍において介護職員や医療従事者に制限があり、負担の軽減が必要。
- ・医療・福祉介護分野における人材の確保に関する包括連携協定。
- ・外国人材の受入れ支援。
- ・小さな事業所で人材を確保するのは難しく広報等で情報を集め事業者と共有する。岩見沢市で介護学校、資格取得費等を助成し岩見沢市で働く力を他市に移さない。
- ・職場体験や、就職説明会などのイベントを企画するのはどうでしょうか？

問2-6 職員の「定着・離職防止」に関する取組に対する行政の支援策として有効なものについて、ご意見・ご提案があればご記入ください。

- ・介護職のイメージが良くないと思います。賃金が安い、重労働的なイメージが大きいように思います。
- ・離職を防ぐ必要はない。地域から出ないような政策が必要。
- ・事業所ごとに働く上での良さ、メリットを明らかにする事が大切だと思います。イメージとの乖離が一番離職に繋がるからです。また、その上で事業主は自施設での状況を鑑みて職員のニーズを捉え、実現させていく事が大切だと思います。
- ・ICT や介護ロボットの1年間無料貸出し。
- ・開業し6年たちますが離職者は体調の問題で1名が離職しました。支援策、補助金等、制度として使えるものが各方面で多く、複雑です。独自で企業向け、事業者向けガイドブックがあればと思います。
- ・物価上昇、電気代、水道代高騰の為、事業を継続していくのが大変で今後は従業員の賃金(特に賞与)に影響が出てきて小規模事業所は経営が厳しくなり離職につながるため、支援金を事業所に出してほしい。

※最後にどのようなことでも結構ですのでご意見・ご提案があればご記入ください。

- ・医療と同等とはいかなくとも、介護事業所やそこに務める介護従事者を国がどれだけ必要としていて、どれだけ大切に思っているか。その大きさや形に相当した対価を与えて頂けるような日本になることを心から願っています。そこに答えがあると個人的に思っています。
- ・行政が音頭を取って、社会福祉連携法人等の制度を活用した地域人材確保のための組織を作るのはいかがか。高齢者などが住まなくなった住宅を借り上げて、外国人の宿舍化するなど、地域の高齢者、施設、施設利用者の三方よしを目指す。
- ・介護や福祉を知る機会、そういった仕事は共存社会の担い手であるということ。一般の事業の様に入職したら叶えられるメリット、自分にしか出来ない仕事があるという自信がつく職場であるということ。それらが今後更に高齢化社会を迎える上でより良い環境で人と人が暮らしていけるカギだと思います。
- ・職員の確保、定着について、年収 350 万円から 450 万円以上を希望する求職者、職員が多数います。通勤に使う車や、家電製品の更新維持費が出来るような収入。
- ・高齢者と子どもが交流できる機会を増やしてほしい。幼稚園、小学校、中学校、高校と繋げていくことで、介護職の魅力を経験できる場、感じられる場があればいいと思う。
- ・介護業界の人材不足は深刻な状況です。もっと働きやすく、賃金を上げていければと考えていますが、介護報酬が上がらなければなかなか難しい状況です。
- ・面接をしても、結局は賃金に左右される部分が多い。仕事内容は賃金の次。昨年からベースアップ加算も支給されるようになったが、国が言うほど貰えてもない。
- ・経営者としては賃金水準を上げ、徐々に福利厚生等も充実させてはいますが余裕がありません。社会福祉法人、医療法人であれば倒産等考えずにいられるかもしれませんが。小さな事業所が利用できる相談窓口があればと思います。
- ・若い世代(中・高校生)等に介護の仕事の魅力や、市内の施設事業所の案内など行うなど PR により知ってもらう取組みは出来ないでしょうか。
- ・ライフワークバランスを重視し、家庭でのイベントに関して、家庭重視と可能な限り有給で対応しています。

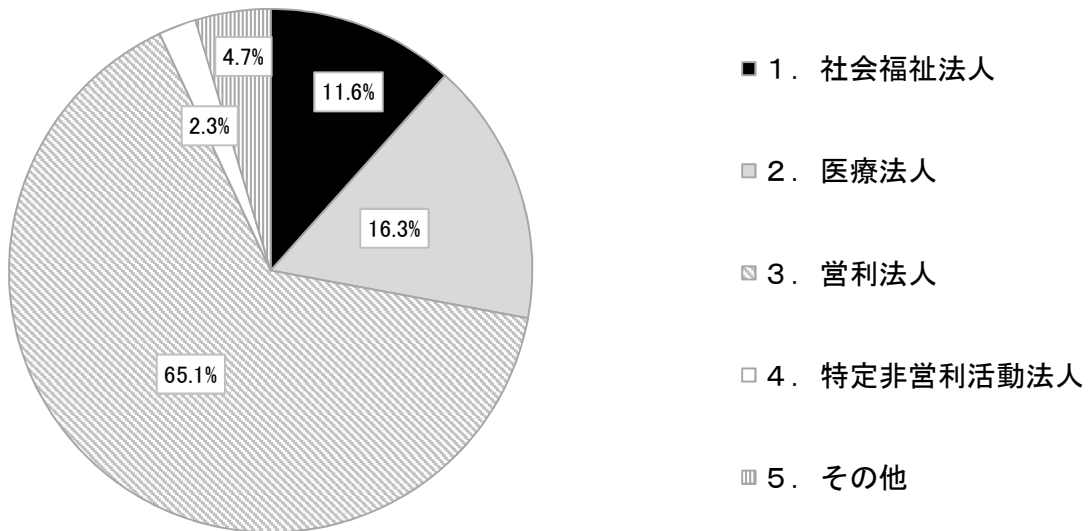
第5章

介護サービス事業者施設等アンケート 集計結果

5-1 事業所概要及び介護保険関係施設の整備意向について

問1 貴事業所の経営主体は以下のどれに該当しますか。(〇は1つ)

1. 社会福祉法人	5
2. 医療法人（社団・財団）	7
3. 営利法人（有限会社・株式会社等）	28
4. 特定非営利活動法人（NPO）	1
5. その他	2
計	43



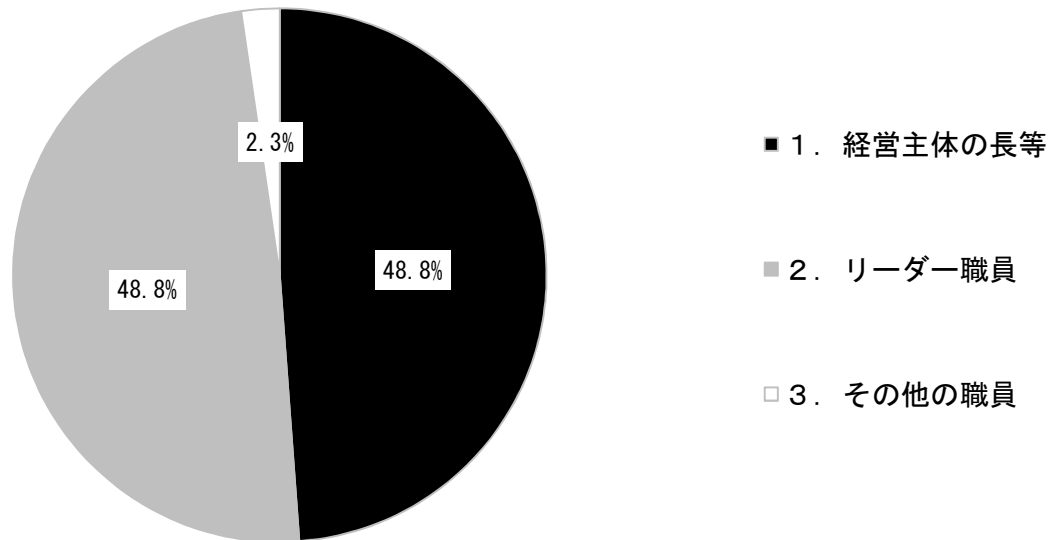
全体では「営利法人（有限会社・株式会社等）」が65.1%と最も高く、次いで「医療法人（社団・財団）」が16.3%となっています。

問2 法人の名称をご記入ください。

省略

問3	この調査票はどなたが記入していますか。(〇は1つ)
-----------	---------------------------

1. 経営主体の長等（理事長・理事・取締役等）	21
2. リーダー職員（施設長・管理者・事務長・介護看護長等）	21
3. その他の職員	1
計	43

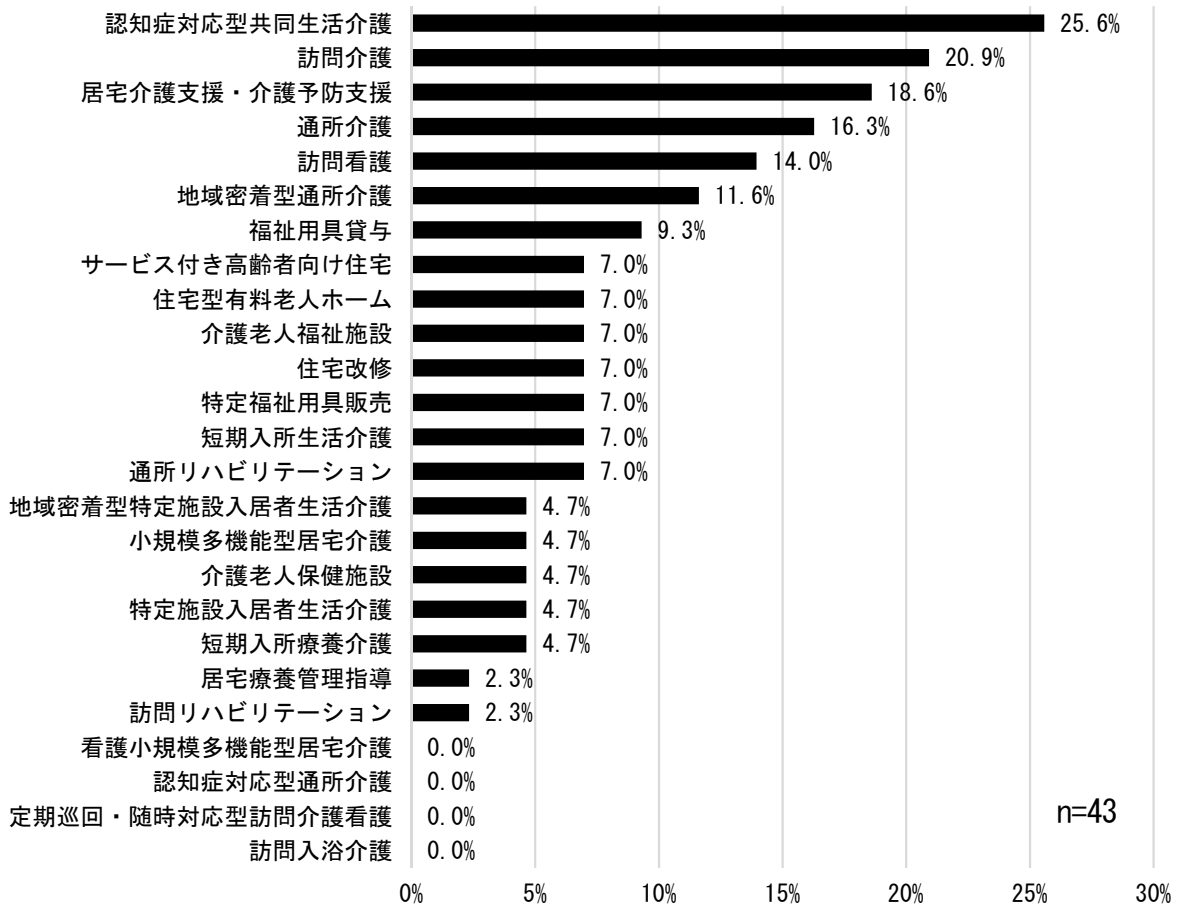


※パーセンテージは小数点以下を四捨五入しているため、その合計が100%にならない場合があります

「経営主体の長等（理事長・理事・取締役等）」、「リーダー職員」が97.6%と全体のほぼ全てを占めています。

問4 貴経営主体では、岩見沢市内で、どの介護保険サービス等を提供していますか。
(当てはまるもの全てに○)

1. 居宅介護支援・介護予防支援	8	14. 住宅改修	3
2. 訪問介護	9	15. 介護老人福祉施設	3
3. 訪問入浴介護	0	16. 介護老人保健施設	2
4. 訪問看護	6	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
5. 訪問リハビリテーション	1	18. 認知症対応型通所介護	—
6. 居宅療養管理指導	1	19. 地域密着型通所介護	5
7. 通所介護	7	20. 小規模多機能型居宅介護	2
8. 通所リハビリテーション	3	21. 認知症対応型共同生活介護	11
9. 短期入所生活介護	3	22. 地域密着型特定施設入居者生活介護	2
10. 短期入所療養介護	2	23. 看護小規模多機能型居宅介護	0
11. 特定施設入居者生活介護	2	24. 住宅型有料老人ホーム	3
12. 福祉用具貸与	4	25. サービス付き高齢者向け住宅	3
13. 特定福祉用具販売	3		



全体では「認知症対応型共同生活介護」が 25.6%と最も高く、次いで「訪問介護」(20.9%)、「居宅介護支援・介護予防支援」(18.6%)が続いています。

問5 貴経営主体では、令和6年度から令和8年度までの間に、岩見沢市内に、介護保険関係施設を新規（増床含む）に整備したい意向はありますか。

1. あり	2
2. なし	40
無回答	1
計	43

問6 問5において、1. ありを選択した場合、整備希望数や開設希望時期、候補の場所が具体的にあれば、記入してください。

【施設（令和6～8年度）】：整備希望なし

【施設外（令和6～8年度）】

サービスの種類	整備希望数	開設希望時期	候補の場所
地域密着型通所介護	18人	令和6年度	北地区

※計画期間外（令和9年度以降）での整備希望はなし

問7 施設整備や介護サービス事業を実施するに当たって、ご意見等がございましたらご記入ください。

- ・ 今後の介護サービス費の増加に伴う介護保険料への影響を考慮した際、極力ハード面の整備を抑え、在宅サービス（通所・訪問介護等）の充実（マンパワーの確保等）に重点を置いていただきたい。
- ・ 私共のような小さな法人は大きな箱ものを造るには補助金等なければ難しく、整備にあたっての書類も当事業所に適応するのか理解が難しく、期間が非常に短く毎回断念せざるを得ない状況です。
整備希望をすると補助金等について計画的に助言して頂ければと思います。市としても受け入れ先の減少を考えると小さな法人に対し、アドバイスを頂けると助かります。
また介護を提供できる人材が少なく小さな法人だとあらゆる手段を講じても人材の確保が難しい状況です。民間事業所対象の合同求人セミナー等を岩見沢独自で開催して頂きたいと考えております。
- ・ 昨今の物価高等により、コスト増により、施設の老朽化や設備投資する財源確保は厳しい状況です。
- ・ サービス付き高齢者向け住宅（介護サービスの指定なし）の運営にあたり、近年の物価高騰等に伴う、支援金及び補助金の該当外であること。それに伴う、今季夏季の猛暑における、入居者の熱中症予防対策が厳しいこと。また、今後における夏季熱中症予防対策として、各居室にエアコン設置希望者がいる中で、補助金支援等が利用できれば、入居者の体調・維持管理を保ち、また増設の検討も考えられるとも思います。

5-2 共生型サービス整備の意向について

問8

貴経営主体で介護保険と障害福祉のサービスを同一の事業所で一体的に提供できる共生型サービスの整備の意向はありますか。

1. ある	1
2. ない	41
3. 検討中	0
4. 無回答	1
計	43

問9

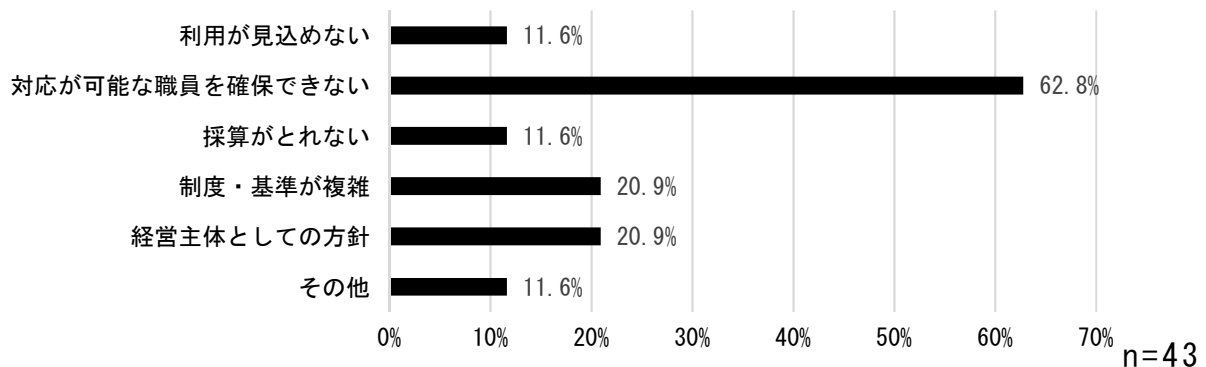
問8で1. ある、2. 検討中を選択した場合、希望サービス種別、開設希望時期があればご記入ください。

サービス種別	開設時期
通所介護	令和6年度

問10

問8で3. ないを選択した場合、整備に至らない理由をお伺いします（当てはまるもの全てに○）。

1. 利用が見込めない	5
2. 対応が可能な職員を確保できない	27
3. 採算がとれない	5
4. 制度・基準が複雑	9
5. 経営主体としての方針	9
6. その他	5



「対応が可能な職員を確保できない」が62.8%と最も多く、次いで「制度・基準が複雑」、「経営主体としての方針」がそれぞれ20.9%と続いています。

問11

共生型サービス事業所の整備にあたり市に要望すること、共生型サービスに関するご意見がありましたらご記入ください。

- ・ 介護施設は充実しているが、介護従事者不足あり。

5-3 ショートステイの保険外利用について

問12

問12 問4で9. 短期入所生活介護、10. 短期入所療養介護を選択した方にお伺いします。

要介護・要支援の認定がない高齢者がショートステイの利用を希望した場合、保険外での利用（生活支援ショートステイ）として受け入れることは可能ですか。（「要支援1」の認定者と同様のサービス及び同様の報酬であると仮定してお答えください）

1. 可能	4
2. 不可能	1
3. 無回答	1
計	6

問13

問12で2. 不可能を選択した場合、不可能である理由をお伺いします。

1. 受け入れるベッド・部屋がない	0
2. 対応する職員がいない	1
3. 採算が取れない	0
4. 経営主体としての方針	0
5. その他	0
計	1

問14

問4で24. 住宅型有料老人ホーム、25. サービス付き高齢者向け住宅を選択した方にお伺いします。

通常の入居の他に、要介護・要支援の認定がない高齢者を対象とした1か月以内の入居サービス（有料ショートステイ）を実施していますか。

1. 実施している	1
2. 実施していない	5
3. 無回答	0
計	6

問15

問14で2. 実施していないを選択した場合、実施に至らない理由をお伺いします。

1. 受け入れるベッド・部屋がない	2
2. 対応する職員がいない	2
3. 利用が見込めない	0
4. 採算が取れない	0
5. 経営主体としての方針	1
6. その他	0
計	5

問16

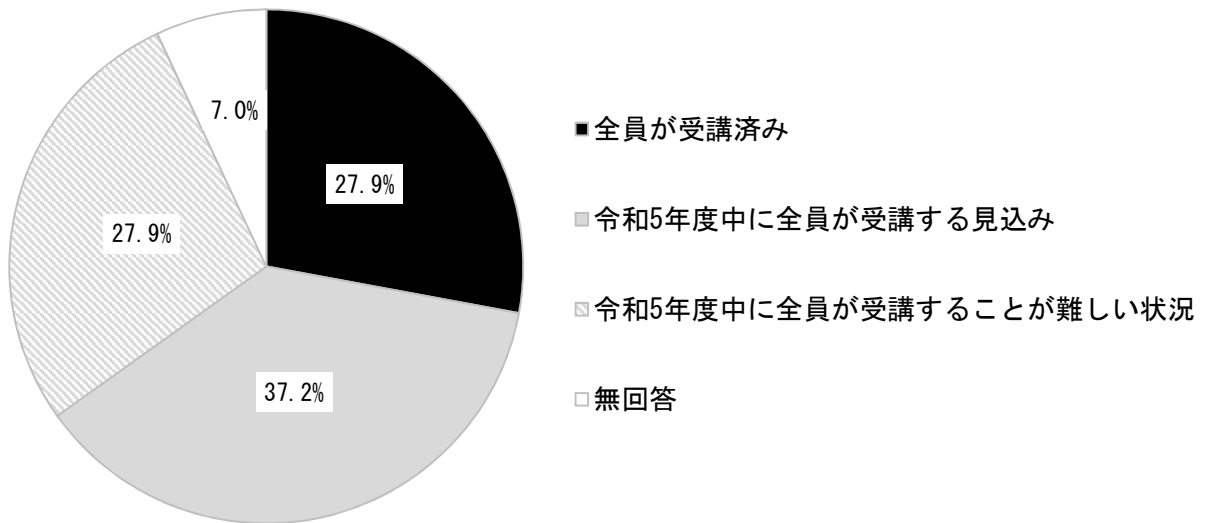
ショートステイの保険外利用についてご意見がありましたらご記入ください。

- ・ 受入可能ではあるが実績がないため、届出の有無等の手続き内容をご教授いただきたい。
- ・ 介護保険サービスでは居宅介護支援事業所（地域包括含む）のケアマネが施設と利用調整を行うが、保険外での利用調整は市直営又は委託による対応が想定され、施設側との調整方法等はどのように行うのか。

5-4 認知症介護基礎研修の受講状況について

問17 貴経営主体で受講が必要な職員の受講状況についてお伺いします。

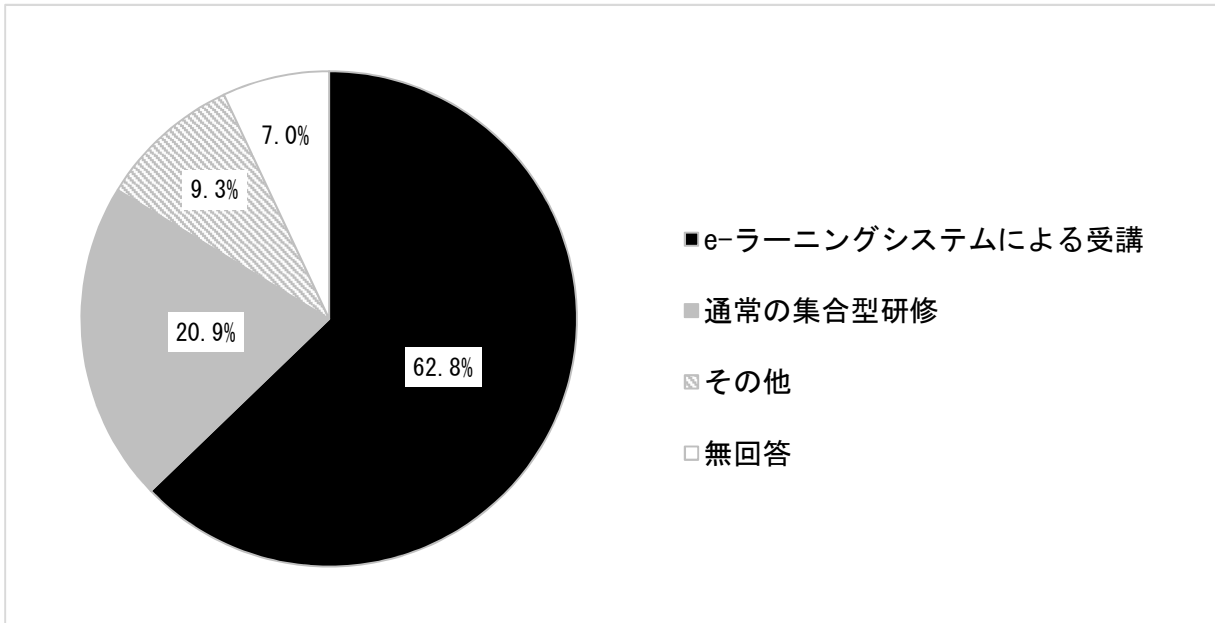
1. 全員が受講済み	12
2. 令和5年度中に全員が受講する見込み	16
3. 令和5年度中に全員が受講することが難しい状況	12
4. 無回答	3
5 計	43



「令和5年度中に全員が受講する見込み」が37.2%と最も多く、次いで「全員が受講済み」、「令和5年度中に全員が受講することが難しい状況」がそれぞれ27.9%と続いています。

問18	職員の主な受講方法についてお伺いします。
------------	-----------------------------

1. e-ラーニングシステムによる受講	27
2. 通常の集合型研修	9
3. その他	4
4. 無回答	3
計	43



「e-ラーニングシステムによる受講」が全体の62.8%を占めており、「通常の集合型研修」は20.9%となっています。

問19	その他、事業所として負担が大きいと感じる資格・研修があればご記入ください。
------------	--

- ・ 介護支援専門員や主任介護支援専門員の更新研修について、研修は大変学べる内容であると考えますが、研修費が高いことがとても負担です。
- ・ 虐待、身体拘束などの研修。
- ・ 人員に余裕がないため平日の営業時間帯の研修等の参加や出席は難しいと感じています。
- ・ 人材不足、人材確保が困難なご時世で無資格で協力頂いていた定年超えの職員には基礎研修受講の義務化は離職を招く要因にもなりかねない事が懸念されます。実際に無資格で数十年間介護に携わってきた60代のパート職員からも「この歳になって勉強やテストは難しい」と言う声もありました。年齢等によってはスタッフへの負担となると感じています。